令和５年度

江東区長期計画区民アンケート調査

報　告　書

令和６年３月

スポーツと人情が熱いまち
江東区

目　次

Ⅰ．調査の概要 …… 1

Ⅱ．サンプル（調査回答者）特性 …… 4

Ⅲ．江東区長期計画における成果指標 …… 8

Ⅳ．調査結果 …… 21

【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】 …… 21
【地球温暖化対策と環境保全】 …… 23
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】 …… 26
【多様なニーズに応じた教育環境の充実】 …… 32
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】 …… 34
【次代を担う青少年の健全育成の推進】 …… 36
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】 …… 38
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】 …… 42
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】 …… 46
【生涯にわたり学習できる環境の充実】 …… 53
【スポーツを楽しめる環境の充実】 …… 57
【文化・歴史の継承と観光振興】 …… 59
【切れ目のない支援による母子保健の充実】 …… 62
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】 …… 63
【感染症対策と生活衛生の確保】 …… 70
【高齢者支援と活躍の推進】 …… 73
【障害者支援と共生社会の実現】 …… 79
【地域福祉と生活支援の充実】 …… 81
【計画的なまちづくりの推進】 …… 87
【良好な住宅の形成と住環境の向上】 …… 93
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】 …… 95
【災害に強い都市の形成】 …… 97
【地域防災力の強化】 …… 101
【犯罪のないまちづくり】 …… 104

資料：調査票の見本 …… 106

Ⅰ．調査の概要

・ 調査の目的

本調査は令和２年度から11年度までを計画期間とする「江東区長期計画」において、各施策に設定する施策実現に関する指標のうち、区民の意識や生活実態に基づくものについて、その現状値を把握することを目的として実施した。

・ 調査の方法

① 調査対象　　区内在住の満18歳以上の人（令和６年１月１日時点での満年齢）
② 対象者数　　3,000人
③ 抽出方法　　住民基本台帳（令和６年１月１日現在）から無作為抽出
④ 調査方法　　郵送配布、郵送回収及びインターネット（電子申請）による回収
⑤ 調査期間　　令和６年１月18日送付、２月７日締切

・ 調査項目

・ みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現
・ 地球温暖化対策と環境保全
・ みんなで取り組む子育て家庭への支援
・ 多様なニーズに応じた教育環境の充実
・ こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり
・ 次代を担う青少年の健全育成の推進
・ 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成
・ 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化
・ 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現
・ 生涯にわたり学習できる環境の充実
・ スポーツを楽しめる環境の充実
・ 文化・歴史の継承と観光振興
・ 切れ目のない支援による母子保健の充実
・ 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実
・ 感染症対策と生活衛生の確保
・ 高齢者支援と活躍の推進
・ 障害者支援と共生社会の実現
・ 地域福祉と生活支援の充実
・ 計画的なまちづくりの推進
・ 良好な住宅の形成と住環境の向上
・ 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備
・ 災害に強い都市の形成
・ 地域防災力の強化
・ 犯罪のないまちづくり

・ 回収結果

① 標本数　　3,000票
② 有効回答数　1,240票（インターネット回答532票含む）
③ 有効回収率　41.3％

・ 報告書の見方

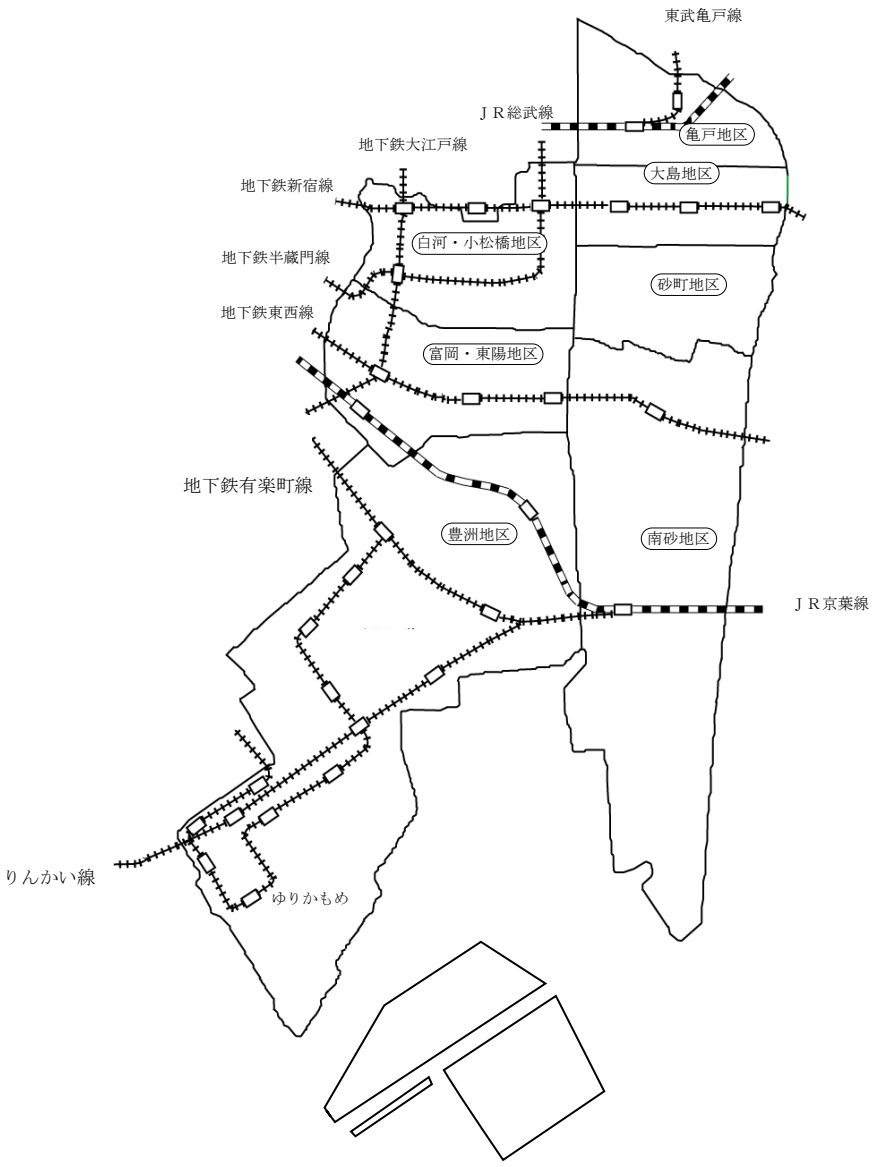
① 集計について

比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0％にならない場合がある。

② 設問ごとの集計の基数

全員が回答すべき設問では、1,240となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。なお、無回答・無効回答は基数から除いて算出している。

図表Ｉ－１　地区区分図



図表Ｉ－２　地区・町丁目対応表

地　　区	該　　当　　町　　丁　　目
白　　河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
小　松　橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富　　岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
東　　陽	木場、東陽、南砂２丁目(1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂１丁目１番、海の森
豊　　洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀　　戸	亀戸
大　　島	大島
砂　　町	北砂、南砂１丁目・５丁目、南砂２丁目(24 番～34 番)、 東砂１丁目～５丁目
南　　砂	東砂６丁目～８丁目、南砂２丁目(1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)・ ３・４・６・７丁目、新砂１丁目(1 番を除く)・２・３丁目、新木場、夢の島、若洲

・ 標本誤差（サンプル誤差）はおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（ｎ）、②回答比率（ｐ）によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p\,(100-p)}{n}}$$

Ｎ＝母集団
ｎ＝回収数
ｐ＝回答率

図表Ｉ－３　誤差率

回答比率（ｐ）／（ｎ）	90％または10％程度	80％または20％程度	70％または30％程度	60％または40％程度	50％程度
1,240	1.70％	2.27％	2.60％	2.78％	2.84％
1,100	1.81％	2.41％	2.76％	2.95％	3.02％
1,000	1.90％	2.53％	2.90％	3.10％	3.16％
500	2.68％	3.58％	4.10％	4.38％	4.47％
300	3.46％	4.62％	5.29％	5.66％	5.77％
100	6.00％	8.00％	9.17％	9.80％	10.00％

※母集団は令和６年１月１日時点の住民基本台帳上の満 18 歳以上（人口：460,890 人）

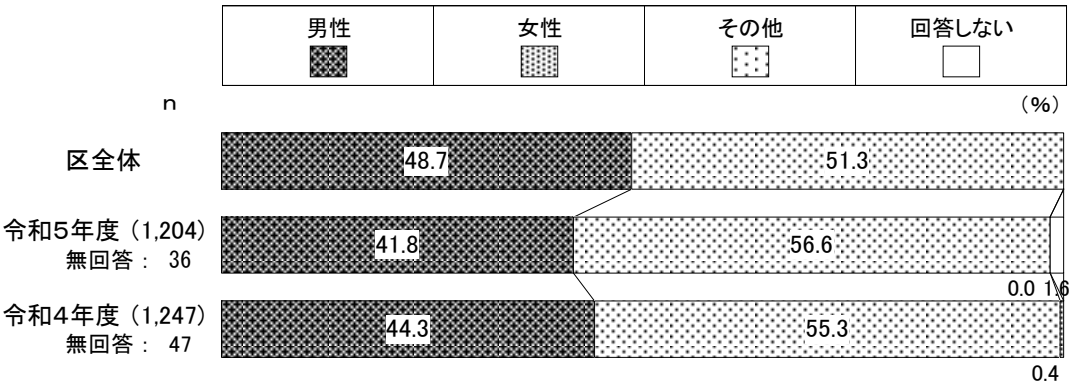
上表は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表している。本調査の場合は、回収数が1,240サンプルであったため、ある設問Ａの選択肢ａの回答率が50％であった場合（誤差が最も大きくなる場合）でも、その結果の誤差は±2.84％、すなわち、母集団（全区民）の回答率は47.16％～52.84％の範囲内に収まっていることを示している。

Ⅱ．サンプル（調査回答者）特性

Ｆ１　性別

・区全体では、男性、女性は概ね同じ割合であるが、回答者の性別では女性の割合が男性より14.8ポイント高くなっている。

図表Ⅱ－１　性別



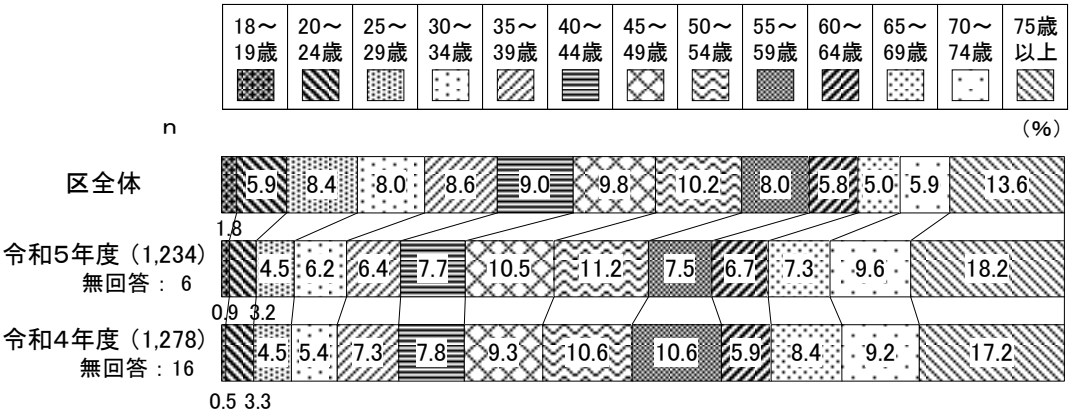
※区全体は令和６年１月１日時点の住民基本台帳上の満 18 歳以上（人口：460,890 人）

※「回答しない」は令和５年度から追加された選択肢

Ｆ２　年齢

・年齢別では、75歳以上が18.2%で最も高く、70歳以上の回答者は全体の27.8%となっている。年代別でみると、10歳代は0.9%、20歳代は7.7%、30歳代は12.6%、40歳代は18.2%、50歳代は18.7%、60歳代は14.0%となっている。

図表Ⅱ－２　年齢

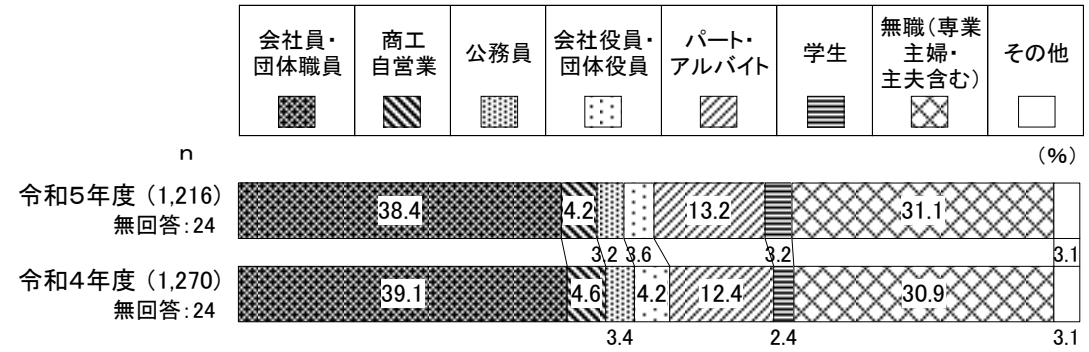


※区全体は令和６年１月１日時点の住民基本台帳上の満 18 歳以上（人口：460,890 人）

Ｆ３　職業

・職業別では、会社員・団体職員が38.4%で最も高く、次いで無職（専業主婦・主夫含む）が31.1%となっている。

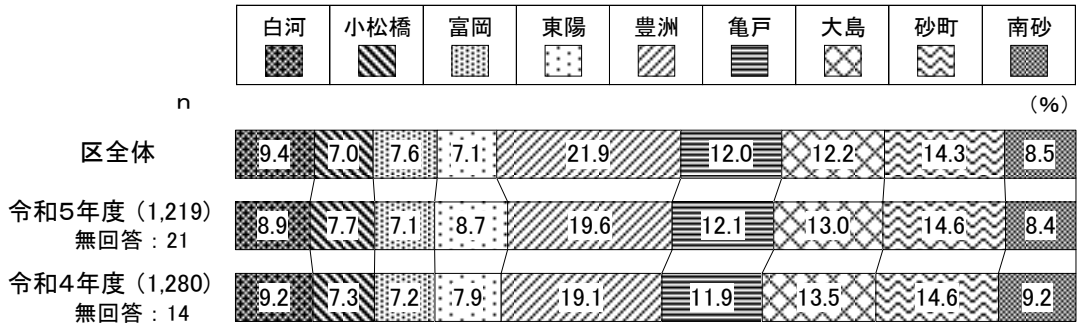
図表Ⅱ－３　職業



Ｆ４　居住地区

・居住地区別では、豊洲地区が19.6%で最も高く、次いで砂町地区が14.6%となっている。

図表Ⅱ－４　居住地区

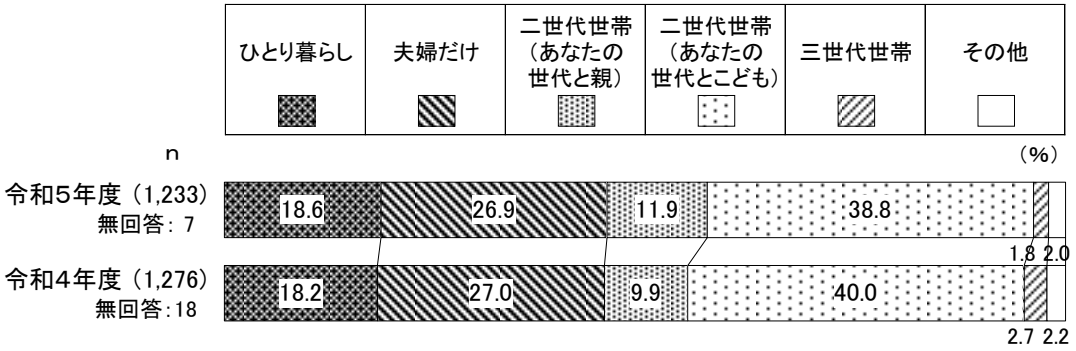


※区全体は令和６年１月１日時点の住民基本台帳上の満 18 歳以上（人口：460,890 人）

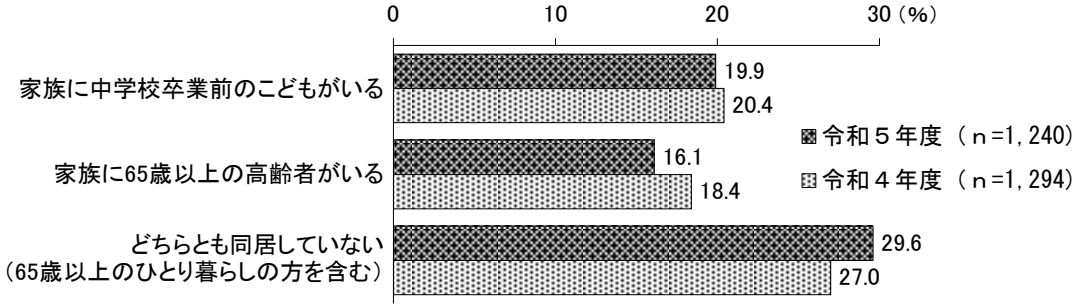
Ｆ５　世帯の構成

・世帯の構成別では、二世代世帯（あなたの世代とこども）が38.8％で最も高く、次いで夫婦だけが26.9％となっている。また、家族に中学校卒業前のこどもがいる回答者が19.9％、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者が16.1％となっている。

図表Ⅱ－５　世帯の構成



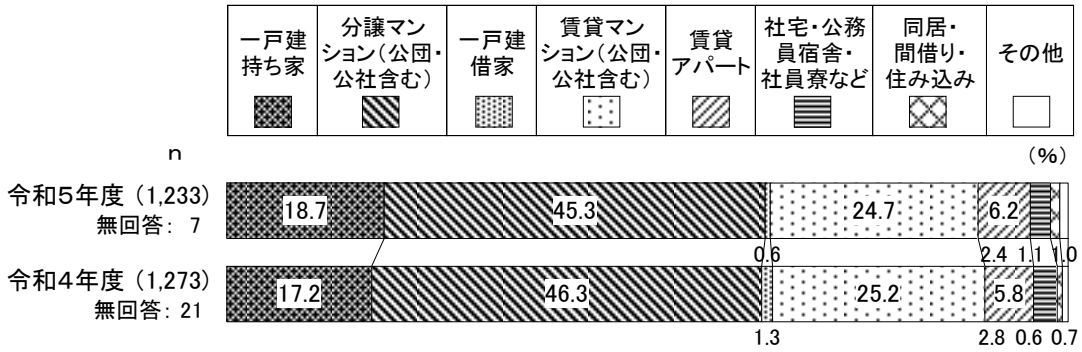
図表Ⅱ－６　世帯に中学校卒業前のこども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



Ｆ６　住宅の形態

・住宅の形態別では、分譲マンション（公団・公社含む）が45.3%で最も高く、次いで賃貸マンション（公団・公社含む）が24.7%となっている。

図表Ⅱ－７　住宅の形態



※公団とは「ＵＲ都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指す。

Ⅲ．江東区長期計画における成果指標

・本アンケートの結果を利用した長期計画の各施策の指標について整理した。なお、単位は全て「%」である。
・全ての集計は小数点以下第２位を四捨五入して算出した。そのため、２つ以上の項目を合計した割合は、各集計値を合計した数値とは異なる場合がある。
・割合については、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならない場合がある。
・成果指標の数値は母集団から無回答を除いて算出した。
・問３－１、４－１、15－１、19－１、23②③、26－１、26－２、29－１、29－２は、指標数値の取得とは直接関係がないため、本項では記載しない。これらの設問の結果は、「Ⅳ．調査結果」を参照のこと。

■問１　みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策１　（詳細はP21）	
指標名：	水辺と緑に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	71.9%

図表Ⅲ－１　みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策１　集計結果

n=1,230	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
回答数	313	571	210	68	30	38
割合	25.4	46.4	17.1	5.5	2.4	3.1

無回答：10

■問２　地球温暖化対策と環境保全：施策２　（詳細はP23）	
指標名：	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合
算出方法：	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	67.9%

図表Ⅲ－２　地球温暖化対策と環境保全：施策２　集計結果

n=1,238	１個選択	２個選択	３個選択	４個選択	５個選択	６個選択	７個選択	８個選択	９個選択	10個選択	11個選択	特に何もしていない
回答数	34	58	128	165	194	190	156	143	99	46	12	13
割合	2.7	4.7	10.3	13.3	15.7	15.3	12.6	11.6	8.0	3.7	1.0	1.1

無回答：2

■問３　みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策５　（詳細はP26）	
指標名：	地域に見守られて子育てしていると感じる保護者の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	62.8%

図表Ⅲ－３　みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策５　集計結果

n=266	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない
回答数	26	141	38	38	23
割合	9.8	53.0	14.3	14.3	8.6

■問４　みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策５　（詳細はP28）	
指標名：	必要な子育て情報が入手できる保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	70.6%

図表Ⅲ－４　みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策５　集計結果

n=262	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	32	153	40	11	26
割合	12.2	58.4	15.3	4.2	9.9

■問５　みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策５　（詳細はP30）	
指標名：	しつけであってもこどもに体罰を与えてはならないと理解している区民の割合
算出方法：	「1. しつけであっても体罰はすべきでない」の割合を算出
指標値：	61.2%

図表Ⅲ－５　みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策５　集計結果

n=995	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
回答数	609	260	18	108
割合	61.2	26.1	1.8	10.9

無回答：245

■問６　多様なニーズに応じた教育環境の充実：施策７　（詳細はP32）	
指標名：	一人一人を大切にした教育が行われていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	23.6%

図表Ⅲ－６　多様なニーズに応じた教育環境の充実：施策７　集計結果

n=1,122	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	54	211	201	53	49	554
割合	4.8	18.8	17.9	4.7	4.4	49.4

無回答：118

■問７　こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策８　（詳細はP34）	
指標名：	行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	48.4%

図表Ⅲ－７　こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策８　集計結果

n=1,135	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	160	389	167	53	50	316
割合	14.1	34.3	14.7	4.7	4.4	27.8

無回答：105

■問８　次代を担う青少年の健全育成の推進：施策９　（詳細はP36）	
指標名：	青少年が健全に育つことができる環境が整っていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	21.7%

図表Ⅲ－８　次代を担う青少年の健全育成の推進：施策９　集計結果

n=1,140	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	38	209	202	77	46	568
割合	3.3	18.3	17.7	6.8	4.0	49.8

無回答：100

■問９　魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10　（詳細はP38）	
指標名：	区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	46.4%

図表Ⅲ－９　魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10　集計結果

n=1,220	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	128	438	303	161	87	103
割合	10.5	35.9	24.8	13.2	7.1	8.4

無回答：20

■問10　魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10　（詳細はP40）	
指標名：	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	58.5%

図表Ⅲ－10　魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10　集計結果

n=1,221	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	244	470	270	149	88
割合	20.0	38.5	22.1	12.2	7.2

無回答：19

■問11　人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11　（詳細はP42）	
指標名：	この1年間に地域活動に参加した区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	19.5%

図表Ⅲ－11　人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11　集計結果

n=1,223	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
回答数	75	164	290	694
割合	6.1	13.4	23.7	56.7

無回答：17

■問12　人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11　（詳細はP44）	
指標名：	気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	37.8%

図表Ⅲ－12　人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11　集計結果

n=1,225	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	136	327	192	94	91	385
割合	11.1	26.7	15.7	7.7	7.4	31.4

無回答：15

■問13　多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12　（詳細はP46）	
指標名：	江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	40.3%

図表Ⅲ－13　多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12　集計結果

n=1,225	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	97	397	284	68	62	317
割合	7.9	32.4	23.2	5.6	5.1	25.9

無回答：15

■問14　多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12　（詳細はP48）	
指標名：	仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することが出来ていると答えた区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	52.0%

図表Ⅲ－14　多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12　集計結果

n=1,213	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	179	452	208	135	149	90
割合	14.8	37.3	17.1	11.1	12.3	7.4

無回答：27

■問15　多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12　（詳細はP50）	
指標名：	DV相談窓口を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	31.5%

図表Ⅲ－15　多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12　集計結果

n=1,189	知っている	知らない
回答数	375	814
割合	31.5	68.5

無回答：51

■問16　生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13　（詳細はP53）	
指標名：	趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	10.0%

図表Ⅲ－16　生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13　集計結果

n=1,205	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことがない
回答数	39	82	232	852
割合	3.2	6.8	19.3	70.7

無回答：35

■問17　生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13　（詳細はP55）	
指標名：	図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	70.3%

図表Ⅲ－17　生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13　集計結果

n=1,224	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
回答数	398	462	89	79	196
割合	32.5	37.7	7.3	6.5	16.0

無回答：16

■問18　スポーツを楽しめる環境の充実：施策14　（詳細はP57）	
指標名：	週1回以上スポーツ･運動を行う区民の割合
算出方法：	週1日以上を選んだ区民の割合を算出
指標値：	62.0%

図表Ⅲ－18　スポーツを楽しめる環境の充実：施策14　集計結果

n=1,222	週１日	週２日	週３日以上 週６日以下	毎日	スポーツ・ 運動をしない
回答数	250	175	215	118	464
割合	20.5	14.3	17.6	9.7	38.0

無回答：18

■問19　文化・歴史の継承と観光振興：施策15　（詳細はP59）	
指標名：	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	68.9%

図表Ⅲ－19　文化・歴史の継承と観光振興：施策15　集計結果

n=1,199	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	297	529	135	73	165
割合	24.8	44.1	11.3	6.1	13.8

無回答：41

■問20　切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16　（詳細はP62）	
指標名：	母子保健サービスが充実していると思う保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	56.9%

図表Ⅲ－20　切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16　集計結果

n=269	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかと いえばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	45	108	52	13	11	40
割合	16.7	40.1	19.3	4.8	4.1	14.9

■問21　健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17　（詳細はP63）	
指標名：	自分は健康だと思う区民の割合
算出方法：	「1．そう思う」及び「2．どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	67.4%

図表Ⅲ－21　健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17　集計結果

n=1,213	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	307	510	179	98	112	7
割合	25.3	42.0	14.8	8.1	9.2	0.6

無回答：27

■問22　健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17　（詳細はP65）	
指標名：	この1年間でがん検診を受診した区民の割合
算出方法：	「5．がん検診は受けていない」と回答した区民を除く割合を算出 （n－「がん検診を受けていない」）／n
指標値：	52.9%

図表Ⅲ－22　健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17　集計結果

n=1,194	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
回答数	258	183	189	62	562
割合	21.6	15.3	15.8	5.2	47.1

無回答：46

■問23　健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17　（詳細はP67）	
指標名：	かかりつけ医を持つ区民の割合
算出方法：	「1．もっている」の割合を算出
指標値：	66.3%

図表Ⅲ－23　健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17　集計結果

n=1,211	もっている	もっていない
回答数	803	408
割合	66.3	33.7

無回答：29

■問24　感染症対策と生活衛生の確保：施策18　（詳細はP70）	
指標名：	感染症予防のため「手洗い」「咳エチケット」を実施している区民の割合
算出方法：	「手洗い」「咳エチケット」全てについて「行っている」と回答した区民の割合を算出
指標値：	94.8%

図表Ⅲ－24　感染症対策と生活衛生の確保：施策18　集計結果

n=1,213	全てを行っている	それ以外
回答数	1,150	63
割合	94.8	5.2

無回答：27

■問25　高齢者支援と活躍の推進：施策19　（詳細はP73）	
指標名：	生きがいや幸せを感じている高齢者の割合
算出方法：	「1．そう思う」及び「2．どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	68.9%

図表Ⅲ－25　高齢者支援と活躍の推進：施策19　集計結果

n=424	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	115	177	67	26	29	10
割合	27.1	41.7	15.8	6.1	6.8	2.4

無回答：9

■問26　高齢者支援と活躍の推進：施策19　（詳細はP74）	
指標名：	地域活動や就労をしている高齢者の割合
算出方法：	「1．就労をしている」及び「2．地域活動をしている」の割合を算出
指標値：	30.3%

図表Ⅲ－26　高齢者支援と活躍の推進：施策19　集計結果

n=416	就労をしている	地域活動をしている	就労も地域活動もしている	何もしていない
回答数	45	74	7	290
割合	10.8	17.8	1.7	69.7

無回答：17

■問27　高齢者支援と活躍の推進：施策19　（詳細はP77）	
指標名：	地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動内容を知っている区民の割合
算出方法：	「1．内容を知っている」及び「2．ある程度の内容は知っている」の割合を算出
指標値：	29.2%

図表Ⅲ－27　高齢者支援と活躍の推進：施策19　集計結果

n=1,197	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
回答数	112	237	278	570
割合	9.4	19.8	23.2	47.6

無回答：43

■問28　障害者支援と共生社会の実現：施策20　（詳細はP79）	
指標名：	障害者が社会参加しやすいまちだと思う区民の割合
算出方法：	「1．そう思う」及び「2．どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	25.4%

図表Ⅲ－28　障害者支援と共生社会の実現：施策20　集計結果

n=1,220	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	57	253	174	53	44	639
割合	4.7	20.7	14.3	4.3	3.6	52.4

無回答：20

■問29　地域福祉と生活支援の充実：施策21　（詳細はP81）	
指標名：	身近に生活の相談をすることができる人がいる区民の割合
算出方法：	「1．いる」の割合を算出
指標値：	74.1%

図表Ⅲ－29　地域福祉と生活支援の充実：施策21　集計結果

n=1,230	いる	いない	どちらともいえない
回答数	911	200	119
割合	74.1	16.3	9.7

無回答：10

■問30　計画的なまちづくりの推進：施策22　（詳細はP87）	
指標名：	地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1．そう思う」及び「2．どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	48.2%

図表Ⅲ－30　計画的なまちづくりの推進：施策22　集計結果

n=1,230	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	114	479	221	71	64	281
割合	9.3	38.9	18.0	5.8	5.2	22.8

無回答：10

■問31　計画的なまちづくりの推進：施策22　（詳細はP89）	
指標名：	江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合
算出方法：	「1．そう思う」及び「2．どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	56.3%

図表Ⅲ－31　計画的なまちづくりの推進：施策22　集計結果

n=1,232	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	174	520	321	124	93
割合	14.1	42.2	26.1	10.1	7.5

無回答：8

■問32　計画的なまちづくりの推進：施策22　（詳細はP91）	
指標名：	ユニバーサルデザインの理念を理解している区民の割合
算出方法：	「1．内容を知っている」の割合を算出
指標値：	40.5%

図表Ⅲ－32　計画的なまちづくりの推進：施策22　集計結果

n=1,232	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
回答数	499	326	407
割合	40.5	26.5	33.0

無回答：8

■問33　良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23　（詳細はP93）	
指標名：	住環境に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	76.4%

図表Ⅲ－33　良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23　集計結果

n=1,236	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
回答数	317	627	139	103	50
割合	25.6	50.7	11.2	8.3	4.0

無回答：4

■問34　便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24　（詳細はP95）	
指標名：	区内の移動環境に対する区民の満足度
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	59.7%

図表Ⅲ－34　便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24　集計結果

n=1,236	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	273	465	168	187	116	27
割合	22.1	37.6	13.6	15.1	9.4	2.2

無回答：4

■問35　災害に強い都市の形成：施策25　（詳細はP97）	
指標名：	災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	32.5%

図表Ⅲ－35　災害に強い都市の形成：施策25　集計結果

n=1,235	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	93	308	284	157	153	240
割合	7.5	24.9	23.0	12.7	12.4	19.4

無回答：5

■問36　災害に強い都市の形成：施策25　（詳細はP99）	
指標名：	江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している区民の割合
算出方法：	「1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合を算出
指標値：	63.8%

図表Ⅲ－36　災害に強い都市の形成：施策25　集計結果

n=1,237	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
回答数	789	352	78	18
割合	63.8	28.5	6.3	1.5

無回答：3

■問37　地域防災力の強化：施策26　（詳細はP101）	
指標名：	家具などの転倒防止策を行っている区民の割合
算出方法：	「1. 家具などの転倒防止対策」の割合を算出
指標値：	44.9%

図表Ⅲ－37　地域防災力の強化：施策26　集計結果

n=1,238	家具などの転倒防止対策	1.　を未選択
回答数	556	682
割合	44.9	55.1

無回答：2

■問38　犯罪のないまちづくり：施策27　（詳細はP104）	
指標名：	治安が良いと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	65.1%

図表Ⅲ－38　犯罪のないまちづくり：施策27　集計結果

n=1,235	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	188	616	298	93	40
割合	15.2	49.9	24.1	7.5	3.2

無回答：5

Ⅳ．調査結果

・各設問について、分析を行った。なお、分析にあたっては、成果指標同様に無回答は割合に含めない。また、各設問の無回答数は記載していない。
・全ての集計は小数点以下第２位を四捨五入して算出しており、２つ以上の項目を合計した割合は、それぞれの四捨五入した数値を合計したものである。そのため、「Ⅲ.江東区長期計画における成果指標」で表示されている指標値の合計値と数値が異なる場合がある。
・回答者が限定される設問は標本数が少なくなるため、単純集計のみとなっている。
・属性別の集計において塗りつぶしをしている項目は、その区分の上位２つまでの項目を示している。

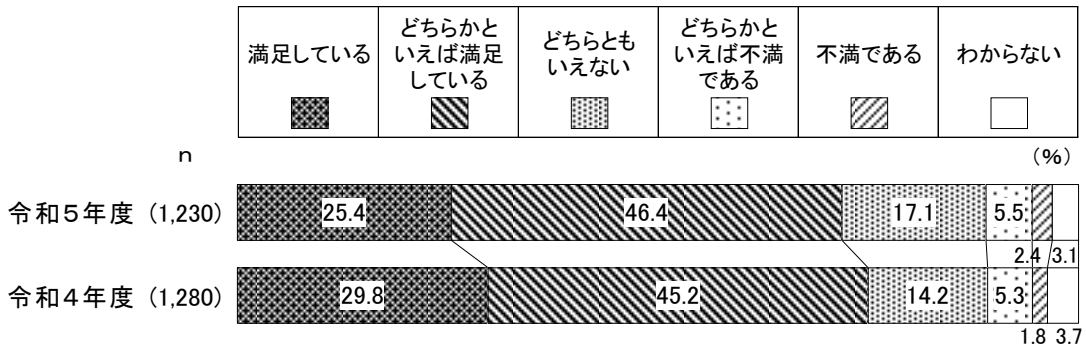
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問１　あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえば満足している」が46.4％で最も高く、次いで「満足している」（25.4％）となっている。
・これらを合わせた『満足している（計）』の割合は71.8％となっている。
・前回調査と比較すると、『満足している（計）』が3.2ポイント減少している。

図表Ⅳ－１　水辺と緑に対する満足度



① 地区別

・地区別では、『満足している（計）』の割合は、豊洲地区（77.2％）、白河地区（74.7％）、小松橋地区（74.5％）、東陽地区（72.7％）、砂町地区（72.2％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－２　水辺と緑に対する満足度（地区別）

（%）

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全　体	1,230	25.4	46.4	17.1	5.5	2.4	3.1
白河	107	25.2	49.5	19.6	1.9	0.9	2.8
小松橋	94	26.6	47.9	19.1	1.1	3.2	2.1
富岡	85	23.5	48.2	15.3	4.7	4.7	3.5
東陽	106	27.4	45.3	15.1	9.4	1.9	0.9
豊洲	237	26.6	50.6	11.8	6.3	3.0	1.7
亀戸	147	23.8	38.8	20.4	6.8	4.1	6.1
大島	158	25.3	43.0	20.3	6.3	2.5	2.5
砂町	176	23.3	48.9	18.2	4.0	1.7	4.0
南砂	101	25.7	45.5	15.8	8.9	0.0	4.0
居住地区不詳	19	36.8	36.8	21.1	0.0	0.0	5.3

② 性年齢別

・男女別にみると、『満足している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では18～19歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では25～29歳、35～39歳、45～54歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－３　水辺と緑に対する満足度（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全　体	500	29.0	43.8	16.6	5.0	3.4	2.2
18～19歳	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	5.9	52.9	17.6	17.6	0.0	5.9
25～29歳	25	32.0	28.0	24.0	8.0	8.0	0.0
30～34歳	26	42.3	26.9	15.4	7.7	3.8	3.8
35～39歳	38	36.8	34.2	21.1	2.6	5.3	0.0
40～44歳	36	19.4	52.8	16.7	2.8	0.0	8.3
45～49歳	49	20.4	44.9	22.4	10.2	2.0	0.0
50～54歳	60	18.3	53.3	15.0	8.3	5.0	0.0
55～59歳	39	30.8	38.5	15.4	2.6	5.1	7.7
60～64歳	34	20.6	50.0	17.6	5.9	2.9	2.9
65～69歳	42	33.3	45.2	19.0	0.0	2.4	0.0
70～74歳	49	32.7	40.8	16.3	2.0	4.1	4.1
75歳以上	79	38.0	46.8	10.1	2.5	2.5	0.0

＜女　性＞　（%）

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全　体	677	23.2	48.4	17.0	5.9	1.6	3.8
18～19歳	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	19	15.8	52.6	10.5	5.3	5.3	10.5
25～29歳	29	34.5	48.3	6.9	3.4	0.0	6.9
30～34歳	49	20.4	51.0	8.2	8.2	6.1	6.1
35～39歳	40	20.0	52.5	20.0	7.5	0.0	0.0
40～44歳	56	21.4	50.0	16.1	10.7	1.8	0.0
45～49歳	78	17.9	56.4	12.8	5.1	1.3	6.4
50～54歳	75	29.3	54.7	12.0	2.7	1.3	0.0
55～59歳	52	21.2	44.2	21.2	5.8	0.0	7.7
60～64歳	45	20.0	40.0	26.7	11.1	0.0	2.2
65～69歳	47	17.0	51.1	23.4	6.4	2.1	0.0
70～74歳	62	19.4	43.5	25.8	3.2	3.2	4.8
75歳以上	118	31.4	42.4	16.1	4.2	0.8	5.1
年齢不詳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

【地球温暖化対策と環境保全】

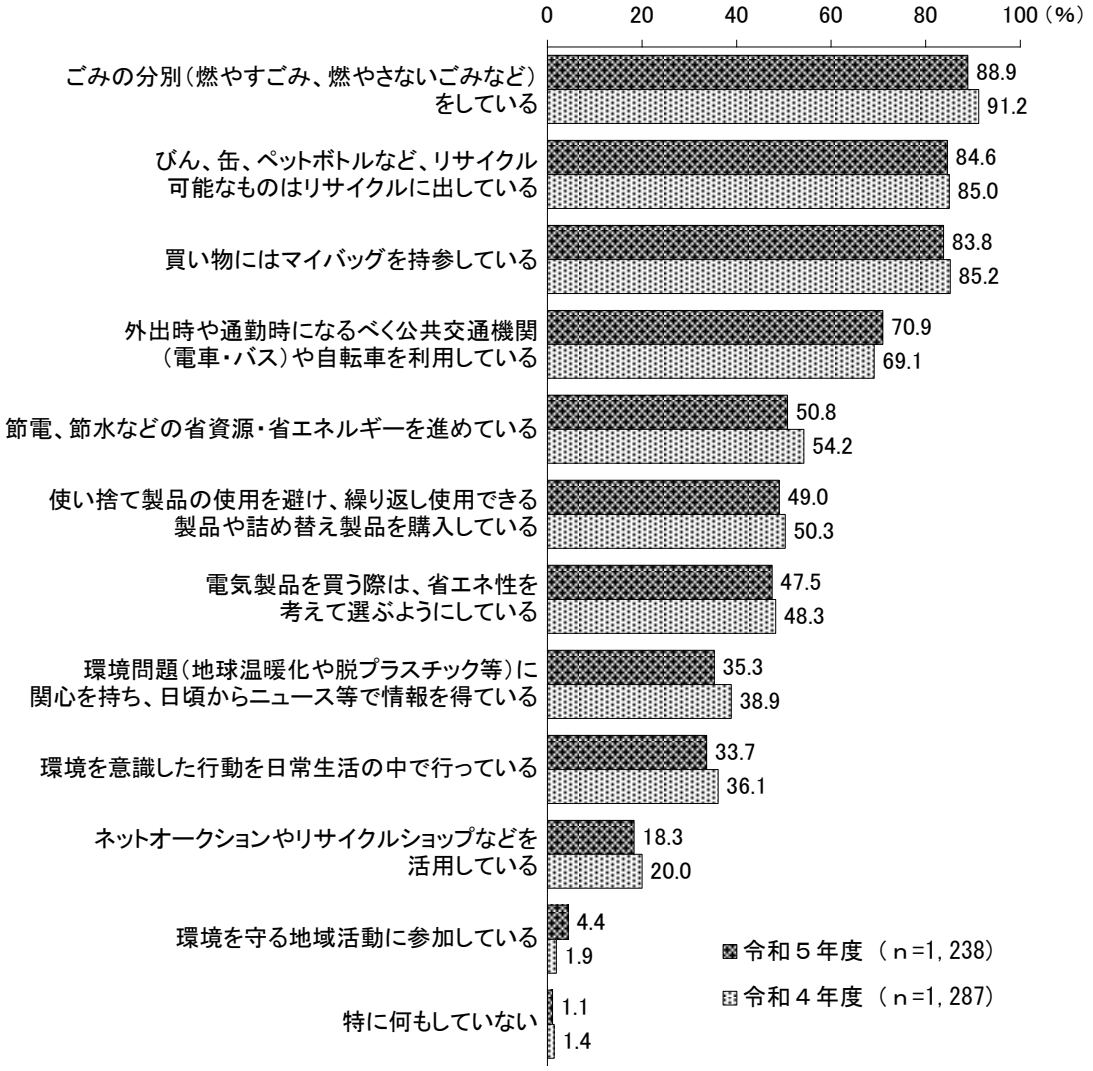
問２　あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が88.9％で最も高く、次いで「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」(84.6％)、「買い物にはマイバッグを持参している」（83.8％）となっている。

・前回調査と比較すると、「環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている」が3.6ポイント減少、「節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている」が3.4ポイント減少している。

図表Ⅳ－４　環境に配慮した行動



① 地区別

・地区別では、南砂地区を除くすべての地区で１位は「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」となっている。南砂地区では「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」が１位となっている。

図表Ⅳ－５　環境に配慮した行動（地区別）

（%）

	n	環境を意識した行動を日常生活の中で行っている	外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している	節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている	電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている	使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している	ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している	ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている	びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している	買い物にはマイバッグを持参している	環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている	環境を守る地域活動に参加している	特に何もしていない
全　体	1,238	33.7	70.9	50.8	47.5	49.0	18.3	88.9	84.6	83.8	35.3	4.4	1.1
白河	108	27.8	70.4	45.4	39.8	46.3	14.8	92.6	79.6	82.4	29.6	1.9	0.9
小松橋	94	26.6	73.4	42.6	45.7	45.7	23.4	81.9	73.4	77.7	31.9	3.2	1.1
富岡	86	26.7	76.7	41.9	48.8	43.0	18.6	84.9	72.1	79.1	20.9	4.7	2.3
東陽	106	39.6	69.8	56.6	43.4	46.2	20.8	85.8	84.9	84.0	30.2	1.9	0.0
豊洲	239	36.0	70.3	48.1	46.4	53.1	20.9	87.9	86.2	82.8	34.7	5.4	1.7
亀戸	147	36.1	74.1	59.2	53.1	49.7	15.0	89.1	84.4	86.4	37.4	6.1	0.7
大島	159	33.3	73.0	54.1	53.5	53.5	17.6	93.1	92.5	88.7	39.0	3.8	0.0
砂町	177	31.1	62.7	50.8	45.2	45.2	15.3	93.2	87.6	81.9	41.8	4.0	1.7
南砂	102	42.2	75.5	54.9	50.0	52.0	18.6	86.3	89.2	87.3	39.2	7.8	0.0
居住地区不詳	20	35.0	60.0	50.0	45.0	50.0	20.0	90.0	85.0	95.0	55.0	5.0	5.0

② 性年齢別

・男女別にみると、ほとんどの項目において、割合は女性の方が男性よりポイントが高くなっている。男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が１位となっている。女性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」と「買い物にはマイバッグを持参している」が同率で１位となっている。

・年齢別にみると、男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、40歳以上で男性全体を上回っている。女性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、40～59歳、65歳以上で女性全体を上回っており、「買い物にはマイバッグを持参している」の割合は、45～54歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－６　環境に配慮した行動（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	環境を意識した行動を日常生活の中で行っている	外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している	節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている	電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている	使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している	ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している	ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている	びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している	買い物にはマイバッグを持参している	環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている	環境を守る地域活動に参加している	特に何もしていない
全　体	503	33.6	62.0	46.5	41.7	36.4	16.3	86.1	80.9	73.8	31.4	5.0	1.8
18～19歳	6	50.0	83.3	50.0	33.3	33.3	16.7	66.7	66.7	33.3	50.0	33.3	0.0
20～24歳	17	23.5	82.4	47.1	0.0	41.2	29.4	70.6	70.6	64.7	29.4	0.0	0.0
25～29歳	25	28.0	48.0	36.0	24.0	20.0	12.0	56.0	40.0	44.0	12.0	0.0	8.0
30～34歳	26	15.4	69.2	26.9	30.8	19.2	15.4	69.2	73.1	61.5	3.8	0.0	3.8
35～39歳	38	26.3	47.4	28.9	36.8	28.9	18.4	81.6	76.3	71.1	10.5	0.0	2.6
40～44歳	36	47.2	69.4	52.8	38.9	33.3	13.9	94.4	75.0	75.0	22.2	2.8	0.0
45～49歳	49	30.6	59.2	51.0	57.1	38.8	32.7	87.8	83.7	75.5	26.5	10.2	2.0
50～54歳	60	40.0	66.7	38.3	41.7	46.7	28.3	88.3	93.3	75.0	28.3	5.0	0.0
55～59歳	39	38.5	56.4	53.8	38.5	41.0	20.5	92.3	76.9	74.4	23.1	10.3	2.6
60～64歳	35	42.9	45.7	45.7	40.0	40.0	14.3	94.3	85.7	85.7	28.6	0.0	2.9
65～69歳	42	33.3	64.3	61.9	61.9	38.1	2.4	95.2	88.1	85.7	38.1	4.8	0.0
70～74歳	49	34.7	71.4	57.1	55.1	38.8	12.2	91.8	87.8	79.6	51.0	10.2	0.0
75歳以上	81	29.6	63.0	46.9	38.3	35.8	4.9	86.4	85.2	75.3	54.3	3.7	2.5

＜女　性＞　（%）

	n	環境を意識した行動を日常生活の中で行っている	外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している	節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている	電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている	使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している	ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している	ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている	びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している	買い物にはマイバッグを持参している	環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている	環境を守る地域活動に参加している	特に何もしていない
全　体	682	35.0	77.3	54.3	51.9	58.5	19.9	91.2	87.8	91.2	37.5	4.3	0.4
18～19歳	5	40.0	60.0	40.0	0.0	40.0	20.0	80.0	80.0	80.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	19	10.5	68.4	21.1	5.3	31.6	21.1	73.7	52.6	73.7	21.1	5.3	5.3
25～29歳	29	17.2	93.1	48.3	20.7	37.9	24.1	82.8	72.4	82.8	13.8	0.0	3.4
30～34歳	49	20.4	73.5	40.8	38.8	46.9	38.8	81.6	77.6	83.7	12.2	4.1	2.0
35～39歳	40	37.5	87.5	55.0	47.5	60.0	40.0	80.0	82.5	90.0	30.0	7.5	0.0
40～44歳	56	35.7	60.7	50.0	48.2	46.4	33.9	94.6	92.9	89.3	30.4	1.8	0.0
45～49歳	78	39.7	70.5	53.8	52.6	56.4	21.8	92.3	87.2	94.9	26.9	1.3	0.0
50～54歳	75	45.3	76.0	62.7	58.7	66.7	22.7	94.7	92.0	96.0	38.7	2.7	0.0
55～59歳	53	43.4	79.2	67.9	62.3	67.9	32.1	92.5	94.3	90.6	54.7	7.5	0.0
60～64歳	45	33.3	91.1	53.3	46.7	60.0	13.3	91.1	86.7	91.1	33.3	0.0	0.0
65～69歳	48	43.8	70.8	60.4	64.6	68.8	6.3	100.0	95.8	97.9	45.8	8.3	0.0
70～74歳	62	33.9	83.9	54.8	71.0	66.1	6.5	96.8	96.8	95.2	45.2	6.5	0.0
75歳以上	121	32.2	80.2	55.4	55.4	62.0	5.0	92.6	88.4	90.9	55.4	5.8	0.0
年齢不詳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0

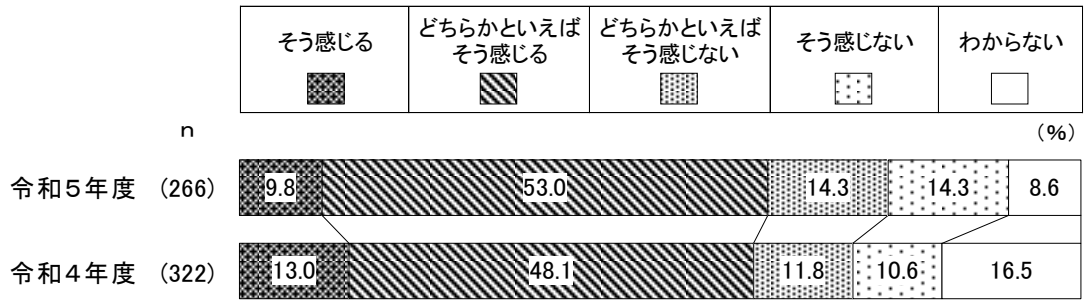
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問３　中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう感じる」が53.0％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じない」と「そう感じない」（ともに14.3％）となっている。
・「そう感じる」（9.8％）と「どちらかといえばそう感じる」（53.0％）を合わせた『そう感じる（計）』の割合は62.8％となっている。
・前回調査と比較すると、「わからない」が7.9ポイント減少している。

図表Ⅳ－７　地域に見守られた子育てに対する評価



問３－１　問３で「３．どちらかといえばそう感じない」「４．そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

・問３の質問において「どちらかといえばそう感じない」または「そう感じない」と回答された方に、その（地域に見守られて子育てしていると感じない）理由を自由記述でたずねたところ、60人から延べ61件の回答をいただいた。
・回答を分類した結果、「近所付き合い等、地域での接点がない」が30件で最も多く、次いで「実体験がないなど、具体的に思い当たらない」（14件）、「子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい」（６件）となっている。
・最も多かった「近所付き合い等、地域での接点がない」の具体的な内容をみると、「地域や近所との付き合いがほとんどない」といった意見がみられた。

図表Ⅳ－８　地域に見守られて子育てしていると感じない理由

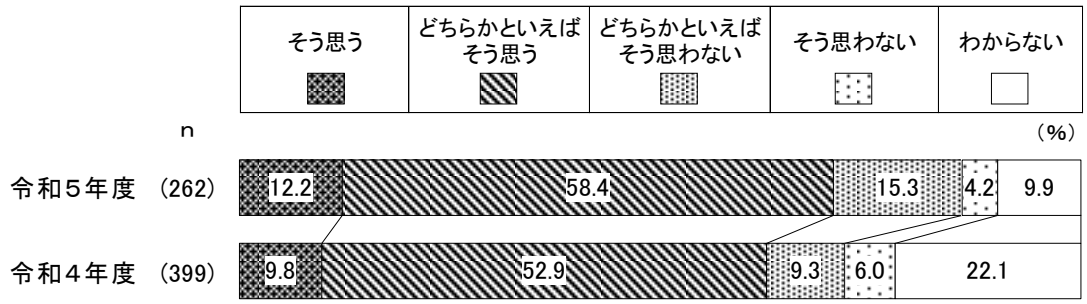
近所付き合い等、地域での接点がない	30件
実体験がないなど、具体的に思い当たらない	14件
子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい	6件
子育てやこどもに対する職場や地域の理解、配慮が乏しい	4件
安全面での不安	1件
その他	6件

問４　中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が58.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」（15.3％）となっている。
・「そう思う」（12.2％）と「どちらかといえばそう思う」（58.4％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は70.6％となっている。
・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が7.9ポイント増加している。

図表Ⅳ－９　子育て情報の入手の容易さ



問４－１	問４で「３．どちらかといえばそう思わない」「４．そう思わない」を選んだ方におたずねします。 必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

・問４の質問において「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方に、その（必要な子育て情報を入手しやすいと思わない）理由を自由記述でたずねたところ、42人から延べ45件の回答をいただいた。
・回答を分類した結果、「必要な情報が受動的だと届かない」が10件で最も多く、次いで「区の情報がわかりにくい」（９件）となっている。
・最も多かった「必要な情報が受動的だと届かない」の具体的な内容をみると、「自ら探さないと情報を得ることができない」といった意見がみられた。

図表Ⅳ－10　必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由

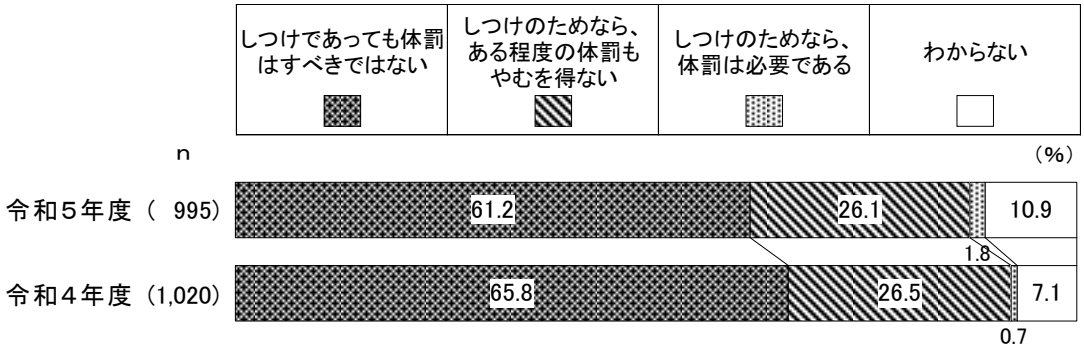
必要な情報が受動的だと届かない	10件
区の情報がわかりにくい	9件
区の情報発信が不足している	8件
情報の入手方法がわからない	7件
情報を入手していない	5件
その他	6件

問５　こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「しつけであっても体罰はすべきではない」が61.2％で最も高く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」（26.1％）となっている。
・前回調査と比較すると、「しつけであっても体罰はすべきではない」が4.6ポイント減少している。

図表Ⅳ－11　しつけと体罰の認識



① 地区別

・地区別では、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、東陽地区（71.7％）、豊洲地区（66.7％）、白河地区（63.5％）、亀戸地区（62.5％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－12　しつけと体罰の認識（地区別）

（%）

	n	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全　体	995	61.2	26.1	1.8	10.9
白河	85	63.5	20.0	2.4	14.1
小松橋	79	51.9	32.9	2.5	12.7
富岡	71	59.2	25.4	5.6	9.9
東陽	92	71.7	17.4	2.2	8.7
豊洲	204	66.7	23.5	0.0	9.8
亀戸	120	62.5	22.5	1.7	13.3
大島	123	57.7	30.9	3.3	8.1
砂町	122	58.2	31.1	0.8	9.8
南砂	82	51.2	34.1	1.2	13.4
居住地区不詳	17	64.7	23.5	0.0	11.8

② 性年齢別

・男女別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、女性（68.8%）の方が男性（52.5%）より16.3ポイント高くなっている。

・年齢別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、男性では20～34歳、40～49歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、40～49歳、55～59歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－13　しつけと体罰の認識（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全　体	425	52.5	32.7	3.5	11.3
18～19歳	6	50.0	33.3	0.0	16.7
20～24歳	17	58.8	29.4	0.0	11.8
25～29歳	24	62.5	20.8	0.0	16.7
30～34歳	24	54.2	37.5	4.2	4.2
35～39歳	38	50.0	36.8	2.6	10.5
40～44歳	35	62.9	22.9	0.0	14.3
45～49歳	47	53.2	31.9	4.3	10.6
50～54歳	54	51.9	31.5	3.7	13.0
55～59歳	37	43.2	24.3	5.4	27.0
60～64歳	31	38.7	48.4	6.5	6.5
65～69歳	32	50.0	40.6	0.0	9.4
70～74歳	31	61.3	32.3	3.2	3.2
75歳以上	49	51.0	34.7	8.2	6.1

＜女　性＞　(%)

	n	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全　体	544	68.8	20.4	0.6	10.3
18～19歳	5	80.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	18	83.3	11.1	0.0	5.6
25～29歳	28	82.1	3.6	0.0	14.3
30～34歳	48	72.9	18.8	0.0	8.3
35～39歳	39	66.7	20.5	0.0	12.8
40～44歳	52	78.8	13.5	0.0	7.7
45～49歳	72	75.0	18.1	0.0	6.9
50～54歳	68	52.9	36.8	0.0	10.3
55～59歳	42	69.0	21.4	0.0	9.5
60～64歳	35	60.0	25.7	0.0	14.3
65～69歳	37	73.0	16.2	2.7	8.1
70～74歳	39	66.7	17.9	0.0	15.4
75歳以上	60	60.0	23.3	3.3	13.3
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

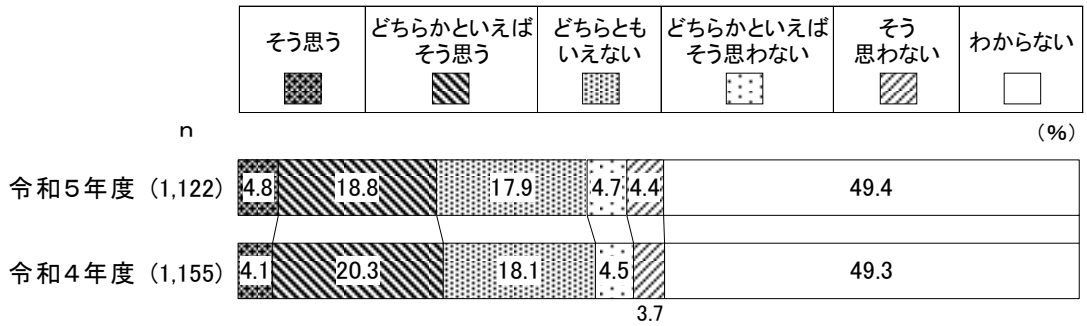
【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問６　江東区では、一人一人を大切にした教育が行われていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「わからない」が49.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（18.8％）となっている。
・「そう思う」（4.8％）と「どちらかといえばそう思う」（18.8％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は23.6％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－14　一人一人を大切にした教育への認知度



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、亀戸地区（28.5％）、南砂地区（28.5％）、東陽地区（27.8％）、砂町地区（24.1％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－15　一人一人を大切にした教育への認知度（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,122	4.8	18.8	17.9	4.7	4.4	49.4
白河	99	1.0	18.2	17.2	4.0	3.0	56.6
小松橋	86	4.7	16.3	18.6	7.0	2.3	51.2
富岡	82	3.7	13.4	14.6	6.1	3.7	58.5
東陽	97	3.1	24.7	11.3	6.2	5.2	49.5
豊洲	219	5.0	17.4	21.0	4.1	3.7	48.9
亀戸	137	5.1	23.4	15.3	4.4	5.1	46.7
大島	140	6.4	15.0	18.6	5.0	4.3	50.7
砂町	149	6.7	17.4	22.8	2.7	6.7	43.6
南砂	95	5.3	23.2	17.9	5.3	4.2	44.2
居住地区不詳	18	5.6	27.8	5.6	5.6	5.6	50.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、40～59歳、65～69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－16　一人一人を大切にした教育への認知度（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	461	5.9	19.1	16.5	4.6	5.4	48.6
18～19歳	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	5.9	41.2	5.9	5.9	5.9	35.3
25～29歳	25	4.0	16.0	4.0	8.0	4.0	64.0
30～34歳	26	0.0	7.7	23.1	7.7	3.8	57.7
35～39歳	38	2.6	21.1	15.8	13.2	7.9	39.5
40～44歳	36	8.3	19.4	19.4	0.0	0.0	52.8
45～49歳	49	10.2	18.4	24.5	4.1	10.2	32.7
50～54歳	58	0.0	27.6	17.2	3.4	10.3	41.4
55～59歳	39	5.1	23.1	17.9	5.1	2.6	46.2
60～64歳	33	0.0	12.1	15.2	3.0	3.0	66.7
65～69歳	36	8.3	19.4	16.7	2.8	2.8	50.0
70～74歳	40	0.0	17.5	7.5	5.0	7.5	62.5
75歳以上	58	13.8	12.1	17.2	1.7	3.4	51.7

＜女　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	623	3.7	19.3	19.4	5.0	3.4	49.3
18～19歳	5	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	19	0.0	26.3	10.5	10.5	0.0	52.6
25～29歳	29	0.0	27.6	20.7	6.9	0.0	44.8
30～34歳	48	0.0	14.6	14.6	0.0	0.0	70.8
35～39歳	39	7.7	17.9	17.9	5.1	5.1	46.2
40～44歳	56	1.8	30.4	23.2	8.9	7.1	28.6
45～49歳	77	6.5	27.3	27.3	7.8	2.6	28.6
50～54歳	75	5.3	28.0	13.3	9.3	2.7	41.3
55～59歳	49	2.0	18.4	16.3	6.1	0.0	57.1
60～64歳	43	2.3	11.6	23.3	0.0	9.3	53.5
65～69歳	47	4.3	6.4	17.0	6.4	4.3	61.7
70～74歳	54	3.7	16.7	16.7	0.0	3.7	59.3
75歳以上	81	3.7	7.4	22.2	1.2	3.7	61.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

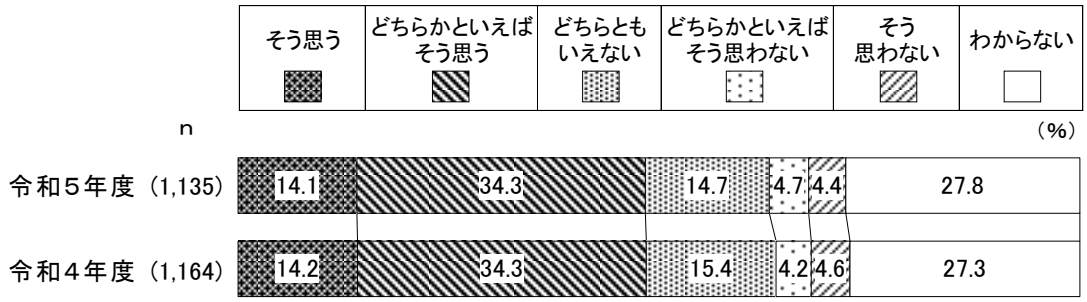
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問７　あなたは、行政や地域の活動（こども110番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が34.3％で最も高く、次いで「わからない」（27.8％）となっている。
・「そう思う」（14.1％）と「どちらかといえばそう思う」（34.3％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は48.4％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－17　行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、白河地区（55.9％）、小松橋地区（55.8％）、南砂地区（52.6％）、亀戸地区（52.2％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－18　行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,135	14.1	34.3	14.7	4.7	4.4	27.8
白河	102	14.7	41.2	9.8	3.9	1.0	29.4
小松橋	86	18.6	37.2	5.8	4.7	4.7	29.1
富岡	82	13.4	30.5	9.8	6.1	4.9	35.4
東陽	97	12.4	35.1	14.4	3.1	5.2	29.9
豊洲	225	12.0	32.0	16.4	2.7	5.3	31.6
亀戸	136	14.0	38.2	15.4	5.1	3.7	23.5
大島	140	16.4	30.0	14.3	6.4	6.4	26.4
砂町	154	14.9	28.6	21.4	7.1	3.2	24.7
南砂	95	12.6	40.0	16.8	4.2	3.2	23.2
居住地区不詳	18	11.1	44.4	16.7	0.0	11.1	16.7

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、35～49歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～29歳、40～54歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－19　行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	468	15.8	33.1	13.5	5.6	6.0	26.1
18～19歳	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
20～24歳	17	0.0	64.7	23.5	0.0	5.9	5.9
25～29歳	25	20.0	28.0	4.0	0.0	4.0	44.0
30～34歳	25	12.0	24.0	12.0	8.0	8.0	36.0
35～39歳	38	2.6	50.0	15.8	10.5	7.9	13.2
40～44歳	36	13.9	47.2	8.3	5.6	0.0	25.0
45～49歳	49	20.4	30.6	14.3	6.1	6.1	22.4
50～54歳	58	6.9	41.4	13.8	8.6	10.3	19.0
55～59歳	39	15.4	28.2	15.4	2.6	7.7	30.8
60～64歳	33	12.1	30.3	6.1	6.1	6.1	39.4
65～69歳	37	21.6	24.3	21.6	2.7	5.4	24.3
70～74歳	41	17.1	29.3	12.2	7.3	2.4	31.7
75歳以上	64	28.1	18.8	15.6	3.1	6.3	28.1

＜女　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	629	12.7	35.8	16.1	4.0	3.0	28.5
18～19歳	5	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	19	21.1	26.3	5.3	15.8	5.3	26.3
25～29歳	29	6.9	48.3	17.2	3.4	0.0	24.1
30～34歳	49	12.2	22.4	16.3	2.0	4.1	42.9
35～39歳	39	2.6	38.5	15.4	5.1	5.1	33.3
40～44歳	56	16.1	41.1	23.2	8.9	3.6	7.1
45～49歳	77	9.1	48.1	15.6	1.3	3.9	22.1
50～54歳	75	14.7	41.3	9.3	6.7	1.3	26.7
55～59歳	49	14.3	28.6	14.3	0.0	2.0	40.8
60～64歳	43	11.6	32.6	23.3	4.7	4.7	23.3
65～69歳	48	8.3	50.0	14.6	4.2	2.1	20.8
70～74歳	53	15.1	35.8	11.3	1.9	3.8	32.1
75歳以上	86	16.3	17.4	20.9	2.3	2.3	40.7
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

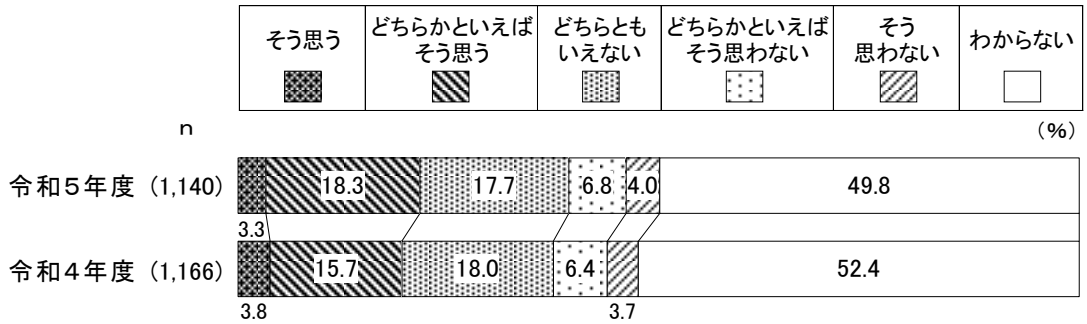
【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問８　江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「わからない」が49.8％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（18.3％）となっている。
・「そう思う」（3.3％）と「どちらかといえばそう思う」（18.3％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は21.6％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－20　青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、亀戸地区（26.5％）、小松橋地区（25.6％）、豊洲地区（24.4％）、南砂地区（24.0％）、白河地区（22.6％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－21　青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,140	3.3	18.3	17.7	6.8	4.0	49.8
白河	102	5.9	16.7	12.7	3.9	1.0	59.8
小松橋	86	3.5	22.1	11.6	9.3	1.2	52.3
富岡	82	2.4	9.8	14.6	8.5	4.9	59.8
東陽	99	1.0	15.2	15.2	10.1	6.1	52.5
豊洲	226	1.8	22.6	18.6	4.4	4.0	48.7
亀戸	136	4.4	22.1	15.4	4.4	4.4	49.3
大島	141	5.0	13.5	16.3	9.9	5.0	50.4
砂町	154	3.9	15.6	25.3	7.8	3.9	43.5
南砂	96	2.1	21.9	22.9	6.3	6.3	40.6
居住地区不詳	18	5.6	27.8	27.8	0.0	0.0	38.9

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（24.1%）の方が女性（20.5%）より3.6ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、40～49歳、55～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、40～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－22　青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	469	4.3	19.8	17.9	6.4	4.5	47.1
18～19歳	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
20～24歳	17	0.0	35.3	17.6	5.9	0.0	41.2
25～29歳	25	4.0	12.0	8.0	8.0	8.0	60.0
30～34歳	26	0.0	11.5	11.5	15.4	3.8	57.7
35～39歳	38	0.0	21.1	13.2	7.9	15.8	42.1
40～44歳	36	2.8	25.0	8.3	8.3	2.8	52.8
45～49歳	48	10.4	18.8	16.7	8.3	4.2	41.7
50～54歳	58	1.7	22.4	25.9	3.4	5.2	41.4
55～59歳	39	0.0	30.8	17.9	2.6	2.6	46.2
60～64歳	33	3.0	9.1	27.3	6.1	6.1	48.5
65～69歳	39	0.0	23.1	17.9	5.1	5.1	48.7
70～74歳	41	2.4	12.2	22.0	4.9	0.0	58.5
75歳以上	63	11.1	17.5	20.6	4.8	1.6	44.4

＜女　性＞　(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	633	2.5	18.0	17.5	7.1	3.3	51.5
18～19歳	5	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	19	10.5	15.8	0.0	15.8	10.5	47.4
25～29歳	29	6.9	20.7	17.2	10.3	0.0	44.8
30～34歳	49	2.0	14.3	8.2	6.1	2.0	67.3
35～39歳	39	0.0	17.9	12.8	10.3	2.6	56.4
40～44歳	56	3.6	26.8	25.0	8.9	5.4	30.4
45～49歳	77	1.3	26.0	22.1	2.6	2.6	45.5
50～54歳	75	2.7	25.3	12.0	9.3	2.7	48.0
55～59歳	49	0.0	14.3	12.2	8.2	0.0	65.3
60～64歳	43	0.0	16.3	20.9	4.7	4.7	53.5
65～69歳	48	0.0	14.6	25.0	8.3	2.1	50.0
70～74歳	54	3.7	9.3	14.8	5.6	5.6	61.1
75歳以上	89	3.4	10.1	22.5	5.6	4.5	53.9
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

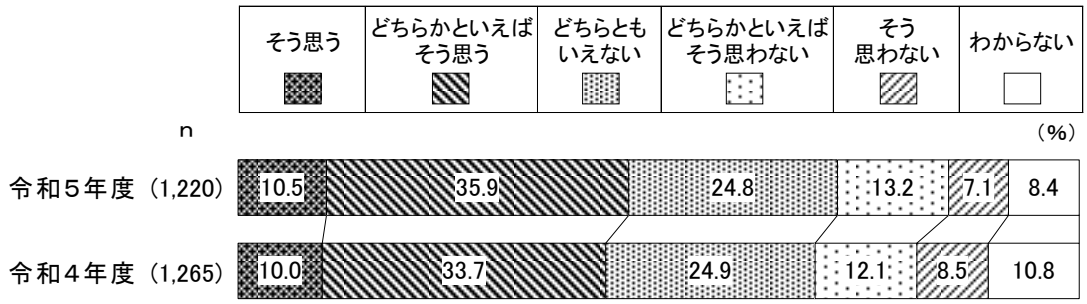
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問９　あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が35.9％で最も高く、次いで「どちらともいえない」（24.8％）となっている。
・「そう思う」（10.5％）と「どちらかといえばそう思う」（35.9％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は46.4％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－23　区内の産業やお店が元気に活動している認識



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、富岡地区（58.9％）、豊洲地区（54.8％）、東陽地区（51.9％）、白河地区（47.2％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－24　区内の産業やお店が元気に活動している認識（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,220	10.5	35.9	24.8	13.2	7.1	8.4
白河	106	10.4	36.8	28.3	9.4	4.7	10.4
小松橋	91	7.7	33.0	29.7	14.3	6.6	8.8
富岡	85	16.5	42.4	12.9	16.5	1.2	10.6
東陽	106	17.0	34.9	16.0	11.3	7.5	13.2
豊洲	237	9.7	45.1	26.2	6.3	4.6	8.0
亀戸	145	14.5	31.0	22.1	19.3	5.5	7.6
大島	157	5.1	31.2	28.0	15.3	12.7	7.6
砂町	172	9.9	32.6	27.3	14.0	9.9	6.4
南砂	101	7.9	29.7	26.7	17.8	9.9	7.9
居住地区不詳	20	5.0	45.0	30.0	15.0	5.0	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～44歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、50～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－25　区内の産業やお店が元気に活動している認識（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	493	11.0	34.9	24.1	13.8	9.1	7.1
18～19歳	6	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7
20～24歳	17	17.6	47.1	17.6	17.6	0.0	0.0
25～29歳	25	28.0	36.0	8.0	8.0	8.0	12.0
30～34歳	26	26.9	26.9	15.4	23.1	3.8	3.8
35～39歳	38	5.3	50.0	28.9	5.3	10.5	0.0
40～44歳	36	11.1	44.4	16.7	19.4	2.8	5.6
45～49歳	49	12.2	32.7	28.6	6.1	14.3	6.1
50～54歳	60	6.7	38.3	30.0	15.0	3.3	6.7
55～59歳	39	2.6	46.2	28.2	12.8	2.6	7.7
60～64歳	35	0.0	37.1	31.4	17.1	11.4	2.9
65～69歳	41	2.4	31.7	26.8	14.6	19.5	4.9
70～74歳	47	8.5	25.5	23.4	17.0	17.0	8.5
75歳以上	74	16.2	24.3	21.6	13.5	9.5	14.9

＜女　性＞　（%）

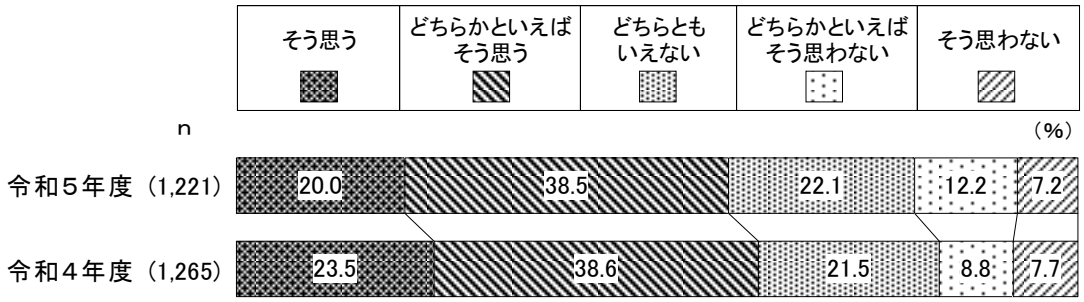
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	677	10.5	36.9	25.1	12.1	6.1	9.3
18～19歳	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	19	15.8	42.1	21.1	15.8	0.0	5.3
25～29歳	29	20.7	65.5	6.9	3.4	0.0	3.4
30～34歳	49	18.4	51.0	10.2	10.2	4.1	6.1
35～39歳	40	10.0	42.5	15.0	12.5	7.5	12.5
40～44歳	56	17.9	42.9	25.0	7.1	1.8	5.4
45～49歳	78	6.4	38.5	26.9	11.5	3.8	12.8
50～54歳	75	10.7	40.0	32.0	6.7	2.7	8.0
55～59歳	53	7.5	30.2	32.1	20.8	3.8	5.7
60～64歳	45	4.4	40.0	26.7	15.6	6.7	6.7
65～69歳	48	6.3	29.2	25.0	16.7	12.5	10.4
70～74歳	60	1.7	26.7	28.3	13.3	11.7	18.3
75歳以上	118	11.0	25.4	29.7	13.6	10.2	10.2
年齢不詳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問10　あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が38.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(22.1%)となっている。
・「そう思う」(20.0%) と「どちらかといえばそう思う」(38.5%) を合わせた『そう思う（計)』の割合は58.5%となっている。
・前回調査と比較すると、『そう思う（計)』が3.6ポイント減少している。

図表Ⅳ－26　魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計)』の割合は、富岡地区（64.7%)、東陽地区（62.3%)、亀戸地区（61.6%)、砂町地区（60.3%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－27　魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合（地区別）

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	1,221	20.0	38.5	22.1	12.2	7.2
白河	106	20.8	37.7	17.9	15.1	8.5
小松橋	92	15.2	42.4	20.7	13.0	8.7
富岡	85	20.0	44.7	18.8	9.4	7.1
東陽	106	23.6	38.7	18.9	8.5	10.4
豊洲	237	17.3	38.8	26.2	12.2	5.5
亀戸	146	25.3	36.3	19.9	12.3	6.2
大島	157	17.2	34.4	24.2	13.4	10.8
砂町	171	21.1	39.2	21.6	11.1	7.0
南砂	101	18.8	35.6	26.7	15.8	3.0
居住地区不詳	20	30.0	50.0	15.0	5.0	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～44歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－28　魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	494	20.0	39.3	19.8	12.3	8.5
18～19歳	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	29.4	29.4	5.9	23.5	11.8
25～29歳	25	36.0	52.0	8.0	0.0	4.0
30～34歳	26	30.8	42.3	15.4	11.5	0.0
35～39歳	38	21.1	44.7	13.2	10.5	10.5
40～44歳	36	22.2	50.0	16.7	5.6	5.6
45～49歳	49	18.4	32.7	24.5	20.4	4.1
50～54歳	60	15.0	41.7	21.7	16.7	5.0
55～59歳	39	25.6	41.0	10.3	12.8	10.3
60～64歳	35	8.6	42.9	28.6	11.4	8.6
65～69歳	41	19.5	39.0	19.5	14.6	7.3
70～74歳	47	8.5	40.4	21.3	6.4	23.4
75歳以上	75	18.7	28.0	30.7	13.3	9.3

＜女　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	676	20.3	39.3	22.0	11.8	6.5
18～19歳	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
20～24歳	19	36.8	36.8	5.3	15.8	5.3
25～29歳	29	44.8	44.8	6.9	3.4	0.0
30～34歳	49	30.6	42.9	10.2	10.2	6.1
35～39歳	40	20.0	40.0	20.0	15.0	5.0
40～44歳	56	30.4	35.7	21.4	7.1	5.4
45～49歳	78	9.0	55.1	24.4	9.0	2.6
50～54歳	75	22.7	44.0	26.7	5.3	1.3
55～59歳	53	22.6	30.2	15.1	28.3	3.8
60～64歳	45	17.8	33.3	31.1	8.9	8.9
65～69歳	48	8.3	39.6	22.9	18.8	10.4
70～74歳	60	10.0	31.7	35.0	15.0	8.3
75歳以上	117	17.9	35.0	23.1	10.3	13.7
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

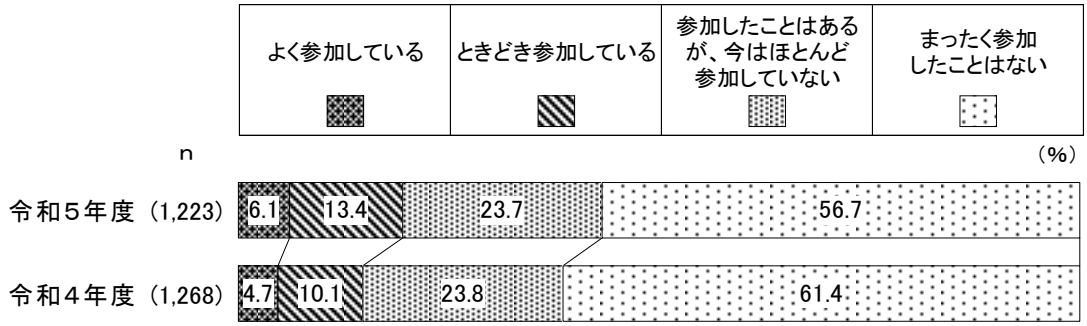
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問11　町会・自治会、NPO、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「まったく参加したことはない」が56.7%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」（23.7%）となっている。
・「よく参加している」（6.1%）と「ときどき参加している」（13.4%）を合わせた『参加している（計）』の割合は19.5%となっている。
・前回調査と比較すると、『参加している（計）』が4.7ポイント増加している。

図表Ⅳ－29　地域活動に参加したことがある区民の割合



① 地区別

・地区別では、『参加している（計）』の割合は、富岡地区（25.6%）、白河地区（23.6%）、東陽地区（23.6%）、大島地区（20.2%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－30　地域活動に参加したことがある区民の割合（地区別）

（%）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全　体	1,223	6.1	13.4	23.7	56.7
白河	106	4.7	18.9	17.0	59.4
小松橋	92	4.3	15.2	22.8	57.6
富岡	86	9.3	16.3	15.1	59.3
東陽	106	4.7	18.9	22.6	53.8
豊洲	236	7.6	11.4	20.3	60.6
亀戸	146	4.1	11.0	22.6	62.3
大島	158	6.3	13.9	28.5	51.3
砂町	172	4.7	11.0	35.5	48.8
南砂	101	9.9	8.9	23.8	57.4
居住地区不詳	20	5.0	15.0	15.0	65.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『参加している（計）』の割合は、女性（21.2%）の方が男性（17.2%）より4.0ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では45～49歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では35～44歳、50～54歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－31　地域活動に参加したことがある区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全　体	493	6.7	10.5	19.5	63.3
18～19歳	6	0.0	16.7	33.3	50.0
20～24歳	17	0.0	11.8	5.9	82.4
25～29歳	25	0.0	12.0	8.0	80.0
30～34歳	26	0.0	7.7	23.1	69.2
35～39歳	38	0.0	15.8	5.3	78.9
40～44歳	36	0.0	13.9	13.9	72.2
45～49歳	49	6.1	14.3	18.4	61.2
50～54歳	60	5.0	8.3	13.3	73.3
55～59歳	39	7.7	7.7	17.9	66.7
60～64歳	35	5.7	8.6	22.9	62.9
65～69歳	41	12.2	9.8	19.5	58.5
70～74歳	46	17.4	8.7	26.1	47.8
75歳以上	75	12.0	9.3	34.7	44.0

＜女　性＞　(%)

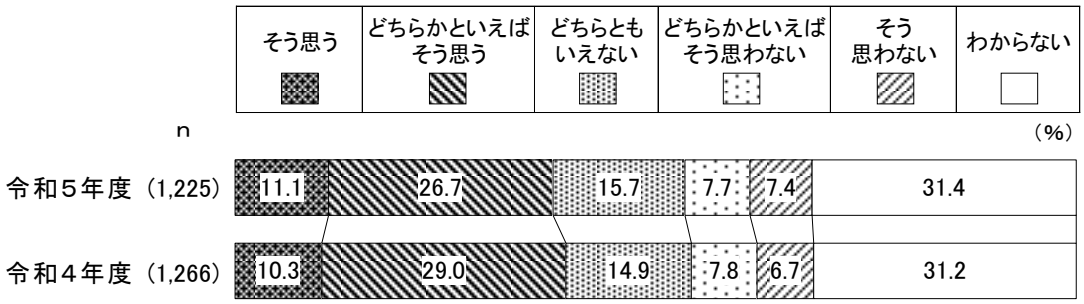
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全　体	678	6.0	15.2	26.8	51.9
18～19歳	5	0.0	0.0	60.0	40.0
20～24歳	19	5.3	0.0	26.3	68.4
25～29歳	29	0.0	6.9	17.2	75.9
30～34歳	49	2.0	8.2	8.2	81.6
35～39歳	40	7.5	15.0	12.5	65.0
40～44歳	56	0.0	26.8	26.8	46.4
45～49歳	78	1.3	17.9	24.4	56.4
50～54歳	75	5.3	20.0	26.7	48.0
55～59歳	53	3.8	15.1	28.3	52.8
60～64歳	45	4.4	6.7	33.3	55.6
65～69歳	48	8.3	20.8	25.0	45.8
70～74歳	61	23.0	13.1	26.2	37.7
75歳以上	118	7.6	15.3	40.7	36.4
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	100.0

問12　江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「わからない」が31.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（26.7%）となっている。
・「そう思う」（11.1%）と「どちらかといえばそう思う」（26.7%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は37.8%となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－32　気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、東陽地区（42.4%）、砂町地区（41.3%）、豊洲地区（39.2%）、小松橋地区（39.1%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－33　気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,225	11.1	26.7	15.7	7.7	7.4	31.4
白河	106	9.4	27.4	10.4	7.5	5.7	39.6
小松橋	92	7.6	31.5	12.0	8.7	5.4	34.8
富岡	86	12.8	22.1	11.6	10.5	7.0	36.0
東陽	106	9.4	33.0	8.5	8.5	11.3	29.2
豊洲	237	11.4	27.8	18.6	8.0	6.8	27.4
亀戸	146	9.6	26.0	18.5	4.8	9.6	31.5
大島	158	12.7	22.2	17.7	10.8	8.9	27.8
砂町	172	14.0	27.3	16.3	4.7	4.7	33.1
南砂	101	10.9	22.8	19.8	7.9	9.9	28.7
居住地区不詳	21	9.5	28.6	19.0	4.8	0.0	38.1

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（40.2%）の方が男性（35.7%）より4.5ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、35～44歳、65～69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～54歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－34　気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	496	11.5	24.2	17.9	7.7	7.3	31.5
18～19歳	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	17.6	47.1	11.8	11.8	0.0	11.8
25～29歳	25	8.0	16.0	16.0	16.0	12.0	32.0
30～34歳	26	11.5	15.4	19.2	0.0	11.5	42.3
35～39歳	38	5.3	44.7	10.5	13.2	5.3	21.1
40～44歳	36	8.3	38.9	13.9	2.8	2.8	33.3
45～49歳	49	12.2	22.4	14.3	10.2	8.2	32.7
50～54歳	60	10.0	18.3	18.3	13.3	8.3	31.7
55～59歳	39	10.3	15.4	25.6	0.0	10.3	38.5
60～64歳	35	0.0	20.0	17.1	14.3	8.6	40.0
65～69歳	41	12.2	26.8	29.3	4.9	7.3	19.5
70～74歳	47	8.5	23.4	21.3	4.3	4.3	38.3
75歳以上	77	20.8	16.9	16.9	5.2	7.8	32.5

＜女　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	676	11.1	29.1	13.8	7.7	7.1	31.2
18～19歳	5	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	19	26.3	5.3	10.5	5.3	5.3	47.4
25～29歳	29	10.3	24.1	17.2	13.8	0.0	34.5
30～34歳	49	18.4	20.4	6.1	6.1	6.1	42.9
35～39歳	40	7.5	32.5	15.0	7.5	12.5	25.0
40～44歳	56	8.9	41.1	16.1	10.7	3.6	19.6
45～49歳	78	3.8	39.7	20.5	3.8	6.4	25.6
50～54歳	75	18.7	30.7	6.7	9.3	9.3	25.3
55～59歳	53	5.7	9.4	13.2	7.5	9.4	54.7
60～64歳	45	6.7	31.1	13.3	8.9	2.2	37.8
65～69歳	48	6.3	33.3	18.8	8.3	2.1	31.3
70～74歳	60	11.7	35.0	10.0	3.3	13.3	26.7
75歳以上	117	14.5	24.8	15.4	9.4	8.5	27.4
年齢不詳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

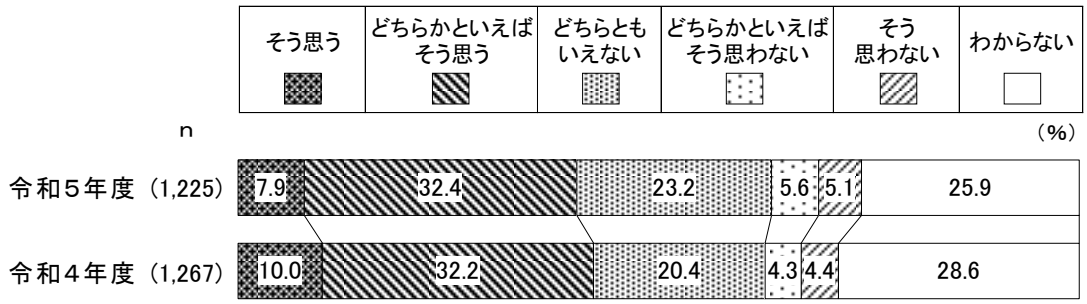
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問13　江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が32.4％で最も高く、次いで「わからない」（25.9％）となっている。
・「そう思う」（7.9％）と「どちらかといえばそう思う」（32.4％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は40.3％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－35　多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、豊洲地区（45.1％）、亀戸地区（43.1％）、小松橋地区（42.4％）、砂町地区（41.3％）、東陽地区（40.6％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－36　多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,225	7.9	32.4	23.2	5.6	5.1	25.9
白河	106	3.8	31.1	24.5	6.6	1.9	32.1
小松橋	92	8.7	33.7	20.7	5.4	3.3	28.3
富岡	86	10.5	25.6	14.0	7.0	4.7	38.4
東陽	106	10.4	30.2	19.8	5.7	5.7	28.3
豊洲	237	8.0	37.1	22.4	5.1	5.5	21.9
亀戸	146	6.8	36.3	22.6	4.1	6.2	24.0
大島	158	7.6	29.1	25.9	4.4	8.2	24.7
砂町	174	10.3	31.0	21.8	8.0	4.0	24.7
南砂	101	5.0	31.7	34.7	3.0	5.0	20.8
居住地区不詳	19	5.3	31.6	31.6	10.5	0.0	21.1

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～44歳、60～69歳で男性全体を上回っている。女性では25～34歳、45～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－37　多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	496	8.5	31.5	23.0	5.2	6.5	25.4
18～19歳	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
20～24歳	17	11.8	35.3	17.6	5.9	5.9	23.5
25～29歳	25	12.0	24.0	20.0	16.0	0.0	28.0
30～34歳	26	11.5	38.5	19.2	3.8	7.7	19.2
35～39歳	38	5.3	44.7	18.4	7.9	2.6	21.1
40～44歳	36	8.3	33.3	19.4	5.6	5.6	27.8
45～49歳	49	14.3	24.5	24.5	4.1	8.2	24.5
50～54歳	60	6.7	30.0	26.7	5.0	11.7	20.0
55～59歳	39	0.0	25.6	33.3	5.1	7.7	28.2
60～64歳	35	5.7	37.1	22.9	5.7	11.4	17.1
65～69歳	41	4.9	43.9	19.5	2.4	4.9	24.4
70～74歳	47	4.3	34.0	23.4	2.1	4.3	31.9
75歳以上	77	11.7	22.1	24.7	5.2	5.2	31.2

＜女　性＞　（%）

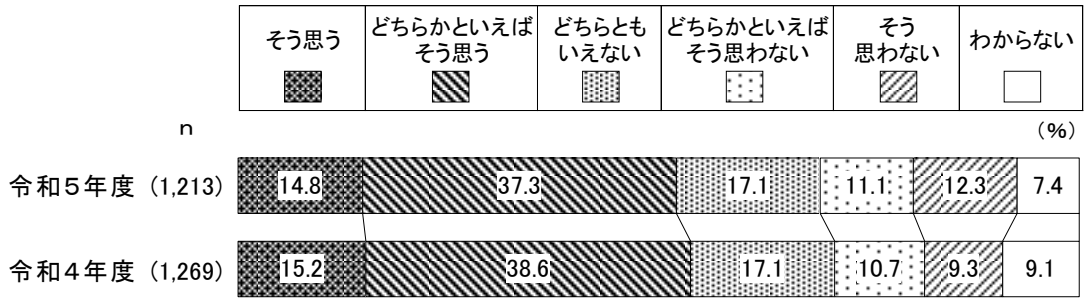
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	678	6.9	33.5	23.5	5.5	3.8	26.8
18～19歳	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0
20～24歳	19	5.3	31.6	21.1	10.5	0.0	31.6
25～29歳	29	3.4	44.8	20.7	0.0	0.0	31.0
30～34歳	49	10.2	49.0	10.2	6.1	0.0	24.5
35～39歳	40	12.5	25.0	27.5	10.0	7.5	17.5
40～44歳	56	3.6	32.1	44.6	5.4	0.0	14.3
45～49歳	78	2.6	42.3	20.5	5.1	7.7	21.8
50～54歳	75	12.0	37.3	12.0	6.7	4.0	28.0
55～59歳	53	1.9	28.3	24.5	3.8	5.7	35.8
60～64歳	45	8.9	22.2	22.2	11.1	4.4	31.1
65～69歳	48	6.3	29.2	35.4	8.3	0.0	20.8
70～74歳	61	3.3	34.4	18.0	4.9	4.9	34.4
75歳以上	118	9.3	28.8	25.4	1.7	5.1	29.7
年齢不詳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問14　あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が37.3％で最も高く、次いで「どちらともいえない」（17.1％）となっている。
・「そう思う」（14.8％）と「どちらかといえばそう思う」（37.3％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は52.1％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－38　仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、東陽地区（57.7％）、小松橋地区（56.4％）、白河地区（56.1％）、豊洲地区（52.4％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－39　仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,213	14.8	37.3	17.1	11.1	12.3	7.4
白河	107	15.0	41.1	10.3	12.1	13.1	8.4
小松橋	94	13.8	42.6	14.9	10.6	9.6	8.5
富岡	85	15.3	31.8	17.6	15.3	8.2	11.8
東陽	104	12.5	45.2	9.6	10.6	13.5	8.7
豊洲	235	16.2	36.2	18.7	11.1	10.6	7.2
亀戸	144	14.6	34.7	23.6	8.3	9.0	9.7
大島	156	12.8	39.1	19.2	11.5	14.1	3.2
砂町	170	17.6	31.2	15.3	11.2	17.6	7.1
南砂	99	10.1	39.4	19.2	11.1	14.1	6.1
居住地区不詳	19	26.3	31.6	26.3	10.5	5.3	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、55～59歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、40～44歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－40　仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	491	16.5	37.1	16.1	9.0	12.6	8.8
18～19歳	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	35.3	23.5	0.0	17.6	11.8	11.8
25～29歳	25	24.0	40.0	8.0	8.0	12.0	8.0
30～34歳	26	26.9	30.8	15.4	7.7	19.2	0.0
35～39歳	37	8.1	48.6	10.8	8.1	18.9	5.4
40～44歳	36	8.3	38.9	25.0	11.1	11.1	5.6
45～49歳	49	12.2	38.8	14.3	10.2	18.4	6.1
50～54歳	59	10.2	33.9	20.3	15.3	13.6	6.8
55～59歳	38	18.4	36.8	15.8	7.9	15.8	5.3
60～64歳	35	5.7	42.9	22.9	5.7	11.4	11.4
65～69歳	42	19.0	35.7	26.2	9.5	2.4	7.1
70～74歳	45	11.1	44.4	15.6	2.2	11.1	15.6
75歳以上	76	22.4	31.6	11.8	7.9	10.5	15.8

＜女　性＞　（%）

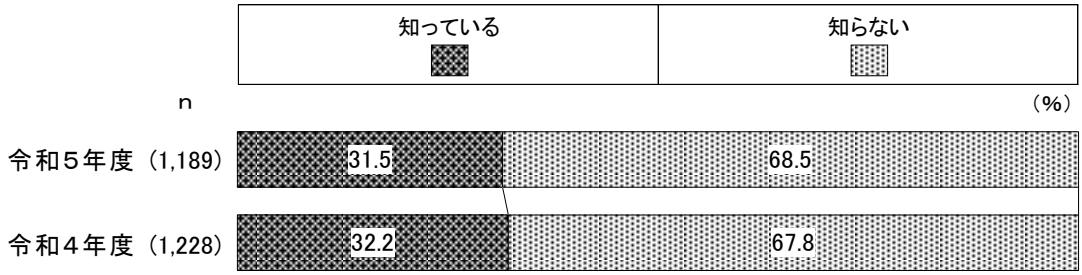
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	672	14.0	38.1	18.2	12.6	11.3	5.8
18～19歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	19	26.3	31.6	15.8	10.5	5.3	10.5
25～29歳	28	10.7	46.4	10.7	7.1	10.7	14.3
30～34歳	49	24.5	40.8	10.2	12.2	6.1	6.1
35～39歳	40	15.0	35.0	15.0	12.5	22.5	0.0
40～44歳	56	8.9	48.2	16.1	16.1	8.9	1.8
45～49歳	78	14.1	37.2	19.2	16.7	11.5	1.3
50～54歳	75	14.7	36.0	17.3	12.0	14.7	5.3
55～59歳	53	9.4	41.5	18.9	18.9	11.3	0.0
60～64歳	45	13.3	24.4	22.2	15.6	20.0	4.4
65～69歳	48	10.4	33.3	25.0	12.5	8.3	10.4
70～74歳	59	8.5	55.9	11.9	6.8	11.9	5.1
75歳以上	116	15.5	31.0	23.3	10.3	7.8	12.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問15　あなたは、「ドメスティックバイオレンス(DV=配偶者等からの暴力)」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は１つ)

＜全体／経年比較＞

・「知らない」が68.5%で、「知っている」(31.5%) を上回っている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－41　ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度



① 地区別

・地区別では、「知っている」の割合は、亀戸地区 (41.5%)、豊洲地区 (33.8%)、砂町地区 (32.3%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－42　ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度（地区別）

(%)

	n	知っている	知らない
全　体	1,189	31.5	68.5
白河	104	24.0	76.0
小松橋	92	28.3	71.7
富岡	83	22.9	77.1
東陽	104	30.8	69.2
豊洲	231	33.8	66.2
亀戸	142	41.5	58.5
大島	150	30.7	69.3
砂町	167	32.3	67.7
南砂	97	29.9	70.1
居住地区不詳	19	36.8	63.2

② 性年齢別

・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（37.0%）の方が男性（24.6%）より12.4ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では20～24歳、35～39歳、50～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、45～64歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－43　ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	知っている	知らない
全　体	483	24.6	75.4
18～19歳	6	16.7	83.3
20～24歳	17	35.3	64.7
25～29歳	25	20.0	80.0
30～34歳	26	23.1	76.9
35～39歳	37	29.7	70.3
40～44歳	36	11.1	88.9
45～49歳	48	22.9	77.1
50～54歳	59	28.8	71.2
55～59歳	38	34.2	65.8
60～64歳	35	22.9	77.1
65～69歳	40	20.0	80.0
70～74歳	46	19.6	80.4
75歳以上	70	28.6	71.4

＜女　性＞　(%)

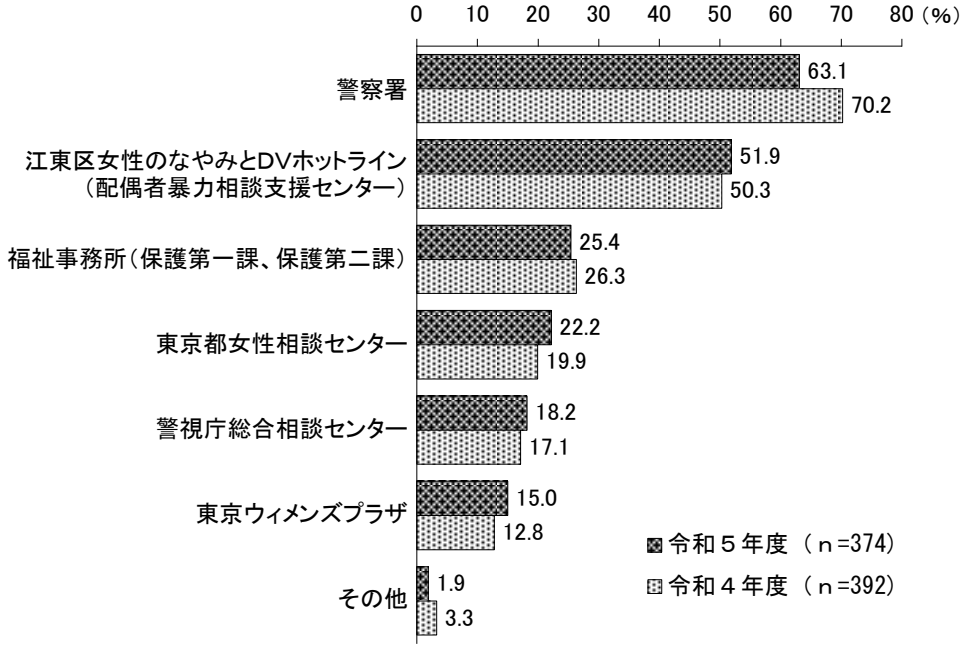
	n	知っている	知らない
全　体	657	37.0	63.0
18～19歳	5	20.0	80.0
20～24歳	19	42.1	57.9
25～29歳	29	20.7	79.3
30～34歳	49	36.7	63.3
35～39歳	39	30.8	69.2
40～44歳	56	35.7	64.3
45～49歳	78	42.3	57.7
50～54歳	75	44.0	56.0
55～59歳	53	37.7	62.3
60～64歳	44	43.2	56.8
65～69歳	47	29.8	70.2
70～74歳	55	47.3	52.7
75歳以上	106	31.1	68.9
年齢不詳	2	0.0	100.0

問15－１　問15で「１．知っている」を選んだ方におたずねします。
相談できると知っていた窓口（機関）を次の中から、あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・相談できると知っていた相談窓口では、「警察署」が63.1％で最も高く、次いで「江東区女性のなやみとＤＶホットライン（配偶者暴力相談支援センター）」（51.9％）となっている。
・前回調査と比較すると、「警察署」が7.1ポイント減少している。

図表Ⅳ－44　ドメスティックバイオレンスについての相談窓口



【生涯にわたり学習できる環境の充実】

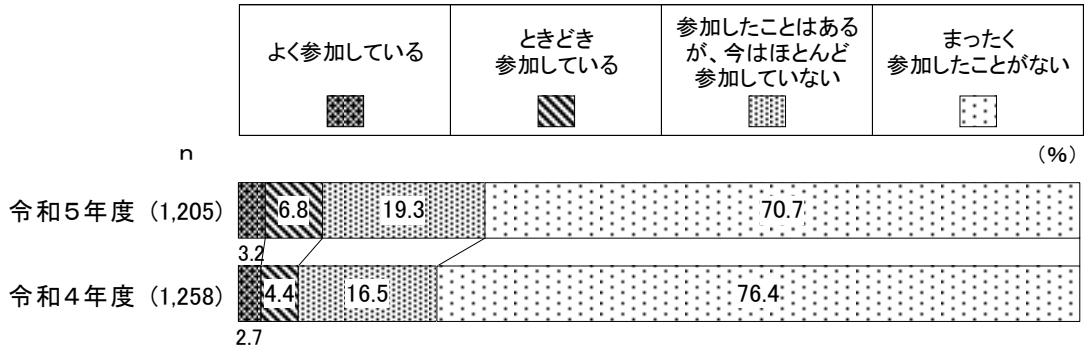
問16　あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

【学習講座や地域の集まりの例】
①趣味（茶道・生け花・囲碁・将棋など）、②教養（英会話など）、③芸術、④文化、⑤教室（料理など）

＜全体／経年比較＞

・「まったく参加したことがない」が70.7％で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」（19.3％）となっている。
・「よく参加している」（3.2％）と「ときどき参加している」（6.8％）を合わせた『参加している（計）』の割合は10.0％となっている。
・前回調査と比較すると、「まったく参加したことがない」が5.7ポイント減少している。

図表Ⅳ－45　生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合



① 地区別

・地区別では、『参加している（計）』の割合は、大島地区（14.2％）、亀戸地区（13.3％）、富岡地区（13.0％）、南砂地区（11.2％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－46　生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（地区別）

（%）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことがない
全　体	1,205	3.2	6.8	19.3	70.7
白河	106	1.9	4.7	14.2	79.2
小松橋	94	1.1	3.2	18.1	77.7
富岡	85	2.4	10.6	17.6	69.4
東陽	105	6.7	2.9	20.0	70.5
豊洲	233	1.7	6.9	19.7	71.7
亀戸	143	3.5	9.8	18.9	67.8
大島	154	4.5	9.7	24.7	61.0
砂町	167	5.4	4.2	18.0	72.5
南砂	98	2.0	9.2	18.4	70.4
居住地区不詳	20	0.0	5.0	25.0	70.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『参加している（計）』の割合は、女性（12.5%）の方が男性（6.5%）より6.0ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では30～34歳、55～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では50～54歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－47　生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことがない
全　体	489	2.2	4.3	11.2	82.2
18～19歳	6	0.0	0.0	50.0	50.0
20～24歳	16	0.0	0.0	25.0	75.0
25～29歳	25	0.0	0.0	4.0	96.0
30～34歳	26	3.8	3.8	3.8	88.5
35～39歳	38	0.0	5.3	7.9	86.8
40～44歳	36	0.0	0.0	11.1	88.9
45～49歳	48	0.0	0.0	10.4	89.6
50～54歳	60	1.7	1.7	11.7	85.0
55～59歳	38	7.9	10.5	7.9	73.7
60～64歳	35	2.9	0.0	5.7	91.4
65～69歳	42	0.0	2.4	14.3	83.3
70～74歳	47	0.0	4.3	12.8	83.0
75歳以上	72	6.9	13.9	13.9	65.3

＜女　性＞　（%）

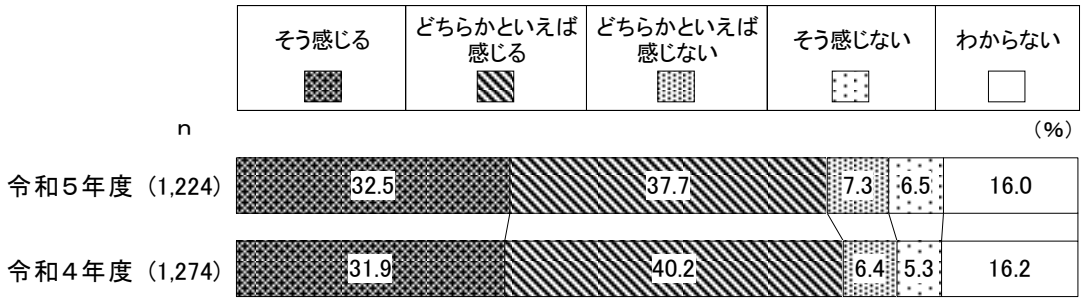
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことがない
全　体	665	3.9	8.6	25.3	62.3
18～19歳	5	0.0	0.0	40.0	60.0
20～24歳	19	0.0	0.0	36.8	63.2
25～29歳	29	3.4	6.9	13.8	75.9
30～34歳	49	2.0	6.1	6.1	85.7
35～39歳	40	0.0	12.5	15.0	72.5
40～44歳	56	1.8	5.4	25.0	67.9
45～49歳	78	2.6	6.4	25.6	65.4
50～54歳	74	4.1	14.9	25.7	55.4
55～59歳	53	5.7	5.7	22.6	66.0
60～64歳	45	2.2	2.2	42.2	53.3
65～69歳	48	4.2	10.4	41.7	43.8
70～74歳	57	8.8	12.3	17.5	61.4
75歳以上	110	6.4	10.9	29.1	53.6
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	100.0

問17　あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえば感じる」が37.7％で最も高く、次いで「そう感じる」（32.5％）となっている。
・これらを合わせた『そう感じる（計）』の割合は70.2％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－48　図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう感じる（計）』の割合は、南砂地区（75.8％）、砂町地区（75.3％）、豊洲地区（74.8％）、富岡地区（74.4％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－49　図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合（地区別）

（%）

	n	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全　体	1,224	32.5	37.7	7.3	6.5	16.0
白河	107	25.2	41.1	6.5	4.7	22.4
小松橋	94	31.9	35.1	6.4	5.3	21.3
富岡	86	30.2	44.2	4.7	9.3	11.6
東陽	106	33.0	31.1	4.7	9.4	21.7
豊洲	238	36.6	38.2	6.7	5.0	13.4
亀戸	146	24.7	36.3	13.7	8.9	16.4
大島	154	33.1	34.4	9.7	8.4	14.3
砂町	174	35.6	39.7	5.7	4.6	14.4
南砂	99	35.4	40.4	5.1	5.1	14.1
居住地区不詳	20	45.0	40.0	5.0	0.0	10.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～39歳、45～59歳、65～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、40～44歳、50～54歳、60～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－50　図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全　体	498	31.9	37.1	7.2	6.4	17.3
18～19歳	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0
20～24歳	17	52.9	29.4	5.9	11.8	0.0
25～29歳	25	24.0	36.0	4.0	8.0	28.0
30～34歳	26	26.9	46.2	7.7	7.7	11.5
35～39歳	38	28.9	42.1	5.3	7.9	15.8
40～44歳	36	27.8	30.6	11.1	0.0	30.6
45～49歳	49	30.6	38.8	8.2	10.2	12.2
50～54歳	60	28.3	43.3	8.3	6.7	13.3
55～59歳	38	34.2	36.8	13.2	2.6	13.2
60～64歳	35	20.0	34.3	2.9	17.1	25.7
65～69歳	42	31.0	45.2	11.9	0.0	11.9
70～74歳	47	34.0	40.4	4.3	4.3	17.0
75歳以上	79	39.2	27.8	3.8	6.3	22.8

＜女　性＞　（%）

	n	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全　体	674	33.5	37.4	7.3	6.8	15.0
18～19歳	5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	19	31.6	42.1	5.3	5.3	15.8
25～29歳	29	27.6	48.3	0.0	3.4	20.7
30～34歳	49	18.4	49.0	8.2	4.1	20.4
35～39歳	40	42.5	25.0	5.0	10.0	17.5
40～44歳	56	42.9	35.7	7.1	5.4	8.9
45～49歳	78	28.2	38.5	12.8	7.7	12.8
50～54歳	75	38.7	36.0	5.3	10.7	9.3
55～59歳	53	28.3	41.5	9.4	1.9	18.9
60～64歳	44	31.8	40.9	2.3	9.1	15.9
65～69歳	48	37.5	35.4	10.4	2.1	14.6
70～74歳	62	30.6	33.9	8.1	9.7	17.7
75歳以上	114	35.1	35.1	6.1	7.9	15.8
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

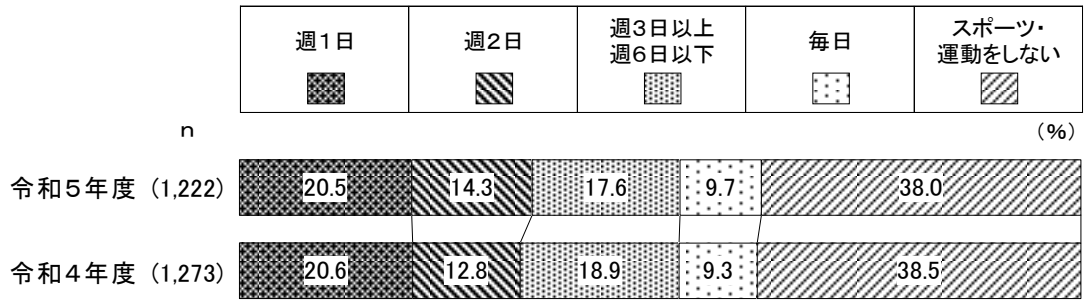
【スポーツを楽しめる環境の充実】

問18　あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「スポーツ・運動をしない」が38.0%で最も高く、次いで「週１日」（20.5%）となっている。
・「スポーツ・運動をしない」（38.0%）を除いた『週１日以上』スポーツ・運動を行う人の割合は62.1%となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－51　スポーツ・運動の頻度



① 地区別

・地区別では、『週１日以上』の割合は、東陽地区（66.6%）、南砂地区（65.3%）、富岡地区（65.2%）、豊洲地区（65.1%）、小松橋地区（62.7%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－52　スポーツ・運動の頻度（地区別）

（%）

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	スポーツ・ 運動をしない
全　体	1,222	20.5	14.3	17.6	9.7	38.0
白河	107	17.8	15.9	12.1	11.2	43.0
小松橋	94	26.6	11.7	19.1	5.3	37.2
富岡	86	29.1	16.3	10.5	9.3	34.9
東陽	105	24.8	13.3	17.1	11.4	33.3
豊洲	238	21.0	16.8	18.5	8.8	34.9
亀戸	146	14.4	12.3	21.2	10.3	41.8
大島	155	18.7	10.3	22.6	9.0	39.4
砂町	173	19.7	13.9	14.5	10.4	41.6
南砂	98	18.4	16.3	20.4	10.2	34.7
居住地区不詳	20	15.0	25.0	10.0	15.0	35.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『週１日以上』の割合は、男性（65.0%）の方が女性（60.2%）より4.8ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『週１日以上』の割合は、男性では18～19歳、35～49歳、55～59歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～29歳、55～59歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－53　スポーツ・運動の頻度（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	スポーツ・ 運動をしない
全　体	497	20.9	16.1	19.1	8.9	35.0
18～19歳	6	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3
20～24歳	17	41.2	11.8	5.9	0.0	41.2
25～29歳	25	12.0	20.0	20.0	4.0	44.0
30～34歳	26	19.2	19.2	19.2	0.0	42.3
35～39歳	38	36.8	10.5	21.1	2.6	28.9
40～44歳	36	25.0	19.4	16.7	11.1	27.8
45～49歳	49	26.5	18.4	20.4	8.2	26.5
50～54歳	60	18.3	21.7	18.3	6.7	35.0
55～59歳	38	31.6	21.1	2.6	10.5	34.2
60～64歳	35	22.9	11.4	20.0	8.6	37.1
65～69歳	42	16.7	11.9	16.7	11.9	42.9
70～74歳	48	10.4	18.8	31.3	8.3	31.3
75歳以上	77	11.7	11.7	22.1	16.9	37.7

＜女　性＞　(%)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	スポーツ・ 運動をしない
全　体	673	20.8	13.2	16.2	10.0	39.8
18～19歳	5	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0
20～24歳	19	15.8	0.0	5.3	10.5	68.4
25～29歳	29	24.1	20.7	24.1	0.0	31.0
30～34歳	49	28.6	10.2	8.2	6.1	46.9
35～39歳	40	25.0	10.0	2.5	7.5	55.0
40～44歳	56	26.8	7.1	12.5	7.1	46.4
45～49歳	78	26.9	9.0	12.8	6.4	44.9
50～54歳	75	24.0	12.0	10.7	9.3	44.0
55～59歳	53	26.4	15.1	18.9	9.4	30.2
60～64歳	45	13.3	17.8	15.6	8.9	44.4
65～69歳	48	14.6	18.8	22.9	8.3	35.4
70～74歳	61	16.4	6.6	31.1	18.0	27.9
75歳以上	113	12.4	21.2	19.5	15.9	31.0
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

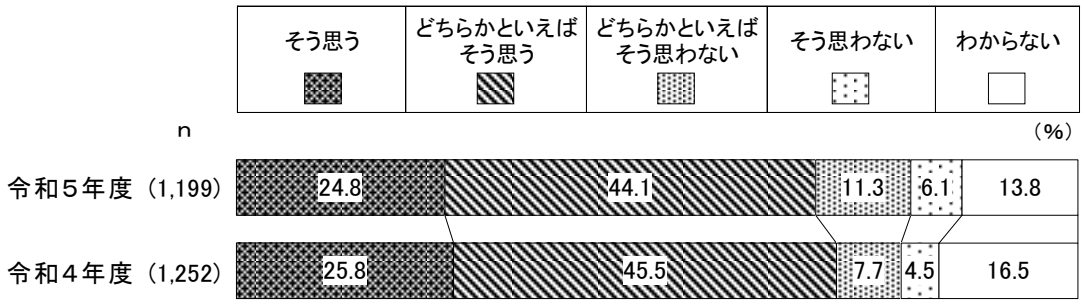
【文化・歴史の継承と観光振興】

問19　あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が44.1%で最も高く、次いで「そう思う」（24.8%）となっている。
・これらを合わせた『そう思う（計）』の割合は68.9%となっている。
・前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」が3.6ポイント増加している。

図表Ⅳ－54　江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、富岡地区（80.0%）、白河地区（78.9%）、砂町地区（69.4%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－55　江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,199	24.8	44.1	11.3	6.1	13.8
白河	104	23.1	55.8	6.7	2.9	11.5
小松橋	93	23.7	44.1	12.9	4.3	15.1
富岡	85	32.9	47.1	7.1	3.5	9.4
東陽	102	28.4	40.2	7.8	9.8	13.7
豊洲	233	21.5	44.6	14.2	6.0	13.7
亀戸	143	29.4	39.2	7.7	5.6	18.2
大島	155	21.9	43.9	11.6	7.1	15.5
砂町	167	25.1	44.3	10.8	7.8	12.0
南砂	97	21.6	38.1	18.6	7.2	14.4
居住地区不詳	20	25.0	50.0	20.0	0.0	5.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（70.2%）の方が男性（67.1%）より3.1ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～29歳、40～44歳、50～59歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、50歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－56　江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	489	26.0	41.1	12.7	7.2	13.1
18～19歳	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0
20～24歳	17	35.3	35.3	0.0	17.6	11.8
25～29歳	25	24.0	52.0	8.0	12.0	4.0
30～34歳	26	30.8	34.6	15.4	7.7	11.5
35～39歳	38	18.4	31.6	21.1	7.9	21.1
40～44歳	36	36.1	44.4	5.6	5.6	8.3
45～49歳	48	29.2	27.1	22.9	8.3	12.5
50～54歳	59	20.3	50.8	8.5	8.5	11.9
55～59歳	37	35.1	35.1	10.8	5.4	13.5
60～64歳	34	8.8	44.1	20.6	8.8	17.6
65～69歳	42	28.6	47.6	9.5	7.1	7.1
70～74歳	48	20.8	47.9	10.4	4.2	16.7
75歳以上	73	27.4	41.1	11.0	4.1	16.4

＜女　性＞　（%）

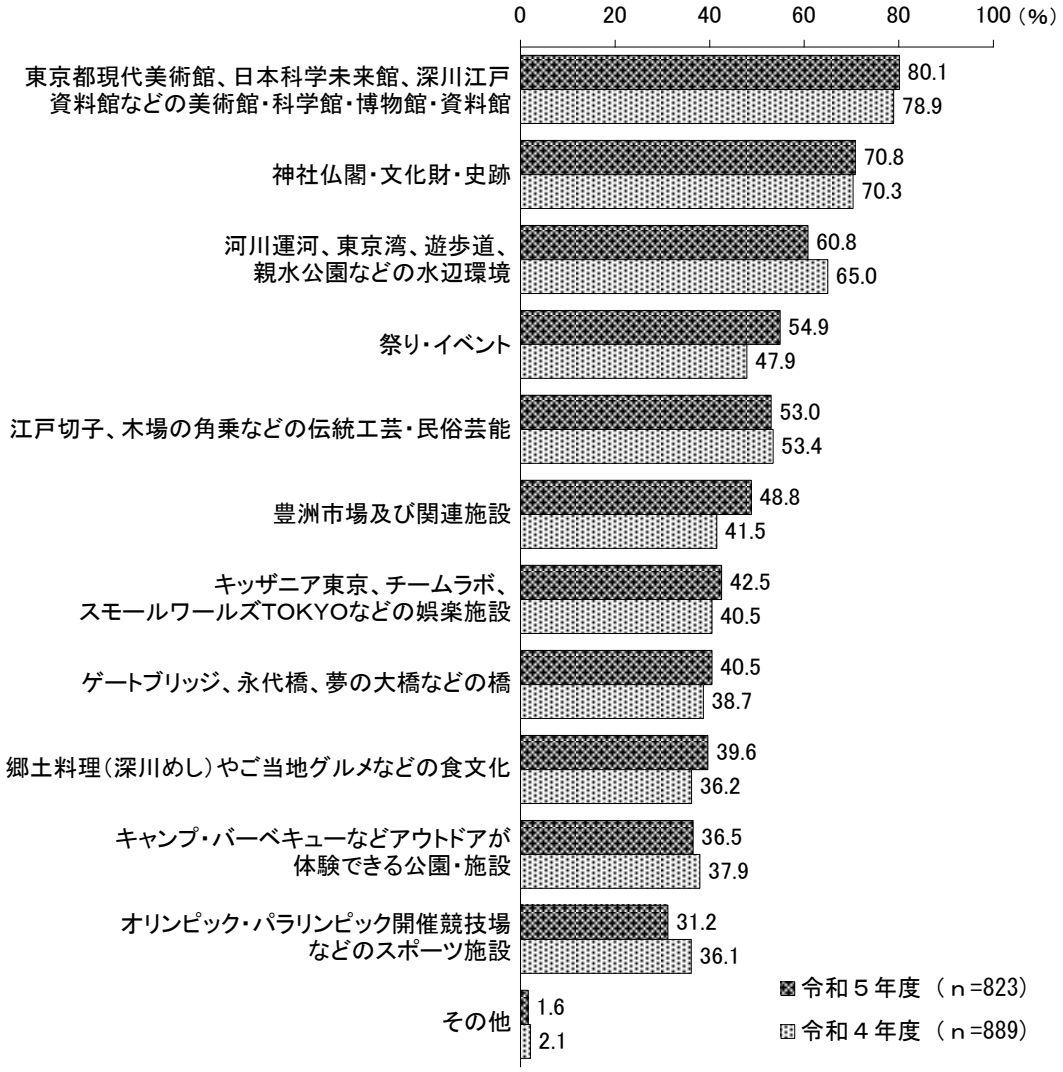
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	661	24.2	46.0	10.4	5.4	13.9
18～19歳	5	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	19	36.8	31.6	5.3	15.8	10.5
25～29歳	29	17.2	48.3	10.3	0.0	24.1
30～34歳	49	12.2	32.7	20.4	6.1	28.6
35～39歳	40	20.0	37.5	15.0	15.0	12.5
40～44歳	56	25.0	35.7	14.3	10.7	14.3
45～49歳	78	12.8	53.8	14.1	2.6	16.7
50～54歳	74	25.7	48.6	9.5	5.4	10.8
55～59歳	52	26.9	50.0	7.7	1.9	13.5
60～64歳	45	22.2	51.1	11.1	8.9	6.7
65～69歳	47	25.5	61.7	2.1	2.1	8.5
70～74歳	59	25.4	55.9	10.2	5.1	3.4
75歳以上	106	33.0	40.6	6.6	2.8	17.0
年齢不詳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問19－１	問19で「１．そう思う」「２．どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。 あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をつけてください。（○はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・「東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館」が80.1％で最も高く、次いで「神社仏閣・文化財・史跡」（70.8％）となっている。
・前回調査と比較すると、「豊洲市場及び関連施設」が7.3ポイント増加、「祭り・イベント」が7.0ポイント増加、「オリンピック・パラリンピック開催競技場などのスポーツ施設」が4.9ポイント減少している。

図表Ⅳ－57　魅力的だと思う文化観光資源



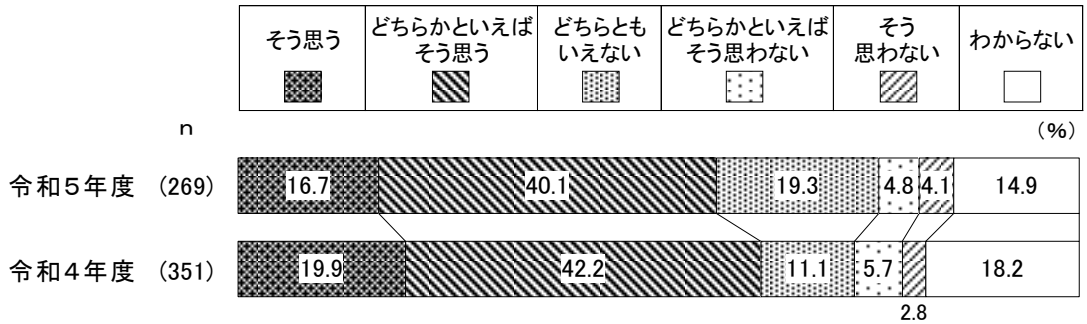
【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問20　中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が40.1％で最も高く、次いで「どちらともいえない」（19.3％）となっている。
・「そう思う」（16.7％）と「どちらかといえばそう思う」（40.1％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は56.8％となっている。
・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が5.3ポイント減少している。

図表Ⅳ－58　母子保健サービスが充実していると思う区民の割合



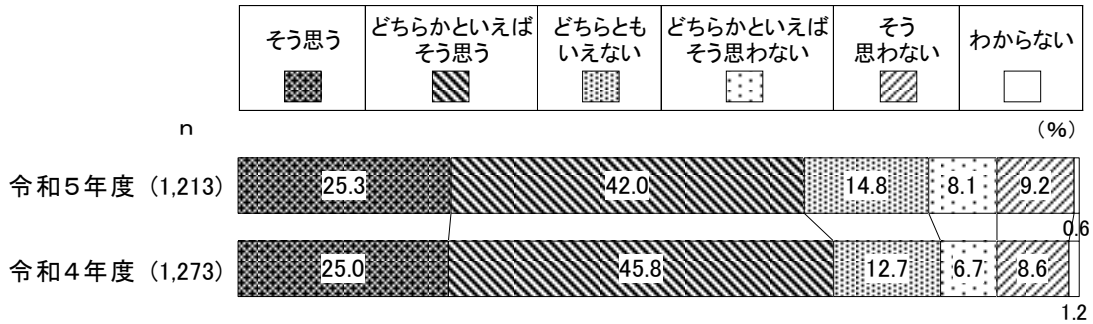
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問21　あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が42.0％で最も高く、次いで「そう思う」（25.3％）となっている。
・これらを合わせた『そう思う（計）』の割合は67.3％となっている。
・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が3.5ポイント減少している。

図表Ⅳ－59　自分が健康である認識



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、小松橋地区（81.9％）、白河地区（72.8％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－60　自分が健康である認識（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,213	25.3	42.0	14.8	8.1	9.2	0.6
白河	103	29.1	43.7	15.5	4.9	6.8	0.0
小松橋	94	25.5	56.4	10.6	4.3	3.2	0.0
富岡	82	22.0	37.8	22.0	12.2	6.1	0.0
東陽	106	23.6	42.5	15.1	8.5	9.4	0.9
豊洲	236	25.4	41.9	14.0	7.2	11.0	0.4
亀戸	145	29.0	37.2	16.6	9.7	6.9	0.7
大島	156	26.9	39.7	16.0	5.8	10.9	0.6
砂町	169	23.7	40.2	13.0	7.7	14.8	0.6
南砂	101	20.8	44.6	11.9	14.9	6.9	1.0
居住地区不詳	21	23.8	38.1	14.3	9.5	9.5	4.8

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（71.0%）の方が男性（64.0%）より7.0ポイント高くなっている。

・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～34歳、40～44歳、55～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～44歳、50～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－61　自分が健康である認識（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	492	24.6	39.4	16.7	8.7	10.0	0.6
18～19歳	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	29.4	58.8	0.0	5.9	5.9	0.0
25～29歳	25	36.0	40.0	4.0	8.0	8.0	4.0
30～34歳	26	50.0	30.8	7.7	7.7	3.8	0.0
35～39歳	38	34.2	28.9	13.2	15.8	5.3	2.6
40～44歳	36	27.8	50.0	8.3	5.6	8.3	0.0
45～49歳	49	16.3	44.9	24.5	6.1	8.2	0.0
50～54歳	59	30.5	30.5	25.4	8.5	5.1	0.0
55～59歳	39	23.1	43.6	12.8	10.3	10.3	0.0
60～64歳	35	17.1	60.0	11.4	5.7	5.7	0.0
65～69歳	42	14.3	40.5	19.0	11.9	14.3	0.0
70～74歳	48	12.5	31.3	29.2	10.4	16.7	0.0
75歳以上	72	20.8	34.7	16.7	8.3	18.1	1.4

＜女　性＞　(%)

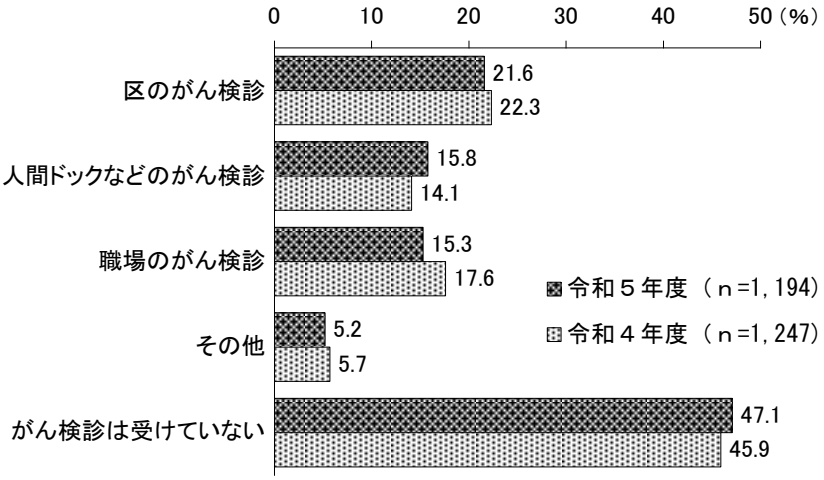
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	668	26.5	44.5	12.4	7.3	9.0	0.3
18～19歳	5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	19	31.6	26.3	21.1	10.5	5.3	5.3
25～29歳	29	31.0	48.3	6.9	13.8	0.0	0.0
30～34歳	49	36.7	44.9	6.1	10.2	2.0	0.0
35～39歳	40	27.5	52.5	10.0	5.0	5.0	0.0
40～44歳	56	25.0	62.5	3.6	0.0	8.9	0.0
45～49歳	78	23.1	44.9	12.8	10.3	9.0	0.0
50～54歳	73	27.4	52.1	8.2	8.2	4.1	0.0
55～59歳	53	26.4	47.2	13.2	1.9	9.4	1.9
60～64歳	44	25.0	36.4	25.0	6.8	6.8	0.0
65～69歳	48	25.0	43.8	16.7	4.2	10.4	0.0
70～74歳	61	36.1	44.3	9.8	3.3	6.6	0.0
75歳以上	111	17.1	32.4	17.1	11.7	21.6	0.0
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問22　あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・「がん検診は受けていない」が47.1％で最も高く、次いで「区のがん検診」（21.6％）となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－62　がん検診を受けた区民の割合



① 地区別

・地区別では、すべての地区で１位は「がん検診は受けていない」となっている。２位は、白河地区、東陽地区では「人間ドックなどのがん検診」、小松橋地区では「職場のがん検診」、それ以外の地区では「区のがん検診」となっている。

図表Ⅳ－63　がん検診を受けた区民の割合（地区別）

（%）

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全　体	1,194	21.6	15.3	15.8	5.2	47.1
白河	104	22.1	11.5	25.0	1.9	42.3
小松橋	91	14.3	16.5	11.0	5.5	56.0
富岡	83	16.9	14.5	12.0	8.4	55.4
東陽	105	23.8	20.0	24.8	4.8	33.3
豊洲	234	20.1	18.8	16.7	6.4	44.4
亀戸	144	22.9	15.3	11.1	3.5	50.0
大島	148	25.0	10.8	14.2	2.7	50.0
砂町	165	23.0	15.8	10.3	8.5	47.9
南砂	99	23.2	9.1	19.2	4.0	50.5
居住地区不詳	21	23.8	28.6	23.8	4.8	33.3

② 性年齢別

・男女別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合（ｎ－がん検診は受けていない／ｎ）は、女性（58.5%）の方が男性（45.9%）より12.6ポイント高くなっている。
・何らかのがん検診を受けた区民の内、男性では「人間ドックなどのがん検診」が16.5%で最も高く、女性では「区のがん検診」が25.3%で最も高くなっている。
・年齢別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合は、男性では40歳以上で男性全体を上回っている。女性では40～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－64　がん検診を受けた区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全　体	484	16.3	12.8	16.5	3.7	54.1
18～19歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	17	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
25～29歳	25	4.0	4.0	0.0	0.0	92.0
30～34歳	26	3.8	0.0	3.8	0.0	92.3
35～39歳	38	2.6	10.5	10.5	0.0	76.3
40～44歳	36	11.1	16.7	25.0	0.0	52.8
45～49歳	49	6.1	18.4	28.6	0.0	51.0
50～54歳	60	6.7	23.3	20.0	3.3	50.0
55～59歳	39	15.4	28.2	25.6	0.0	38.5
60～64歳	34	11.8	20.6	26.5	2.9	41.2
65～69歳	42	23.8	14.3	19.0	11.9	38.1
70～74歳	43	34.9	9.3	18.6	7.0	37.2
75歳以上	69	43.5	0.0	7.2	10.1	40.6

＜女　性＞　（%）

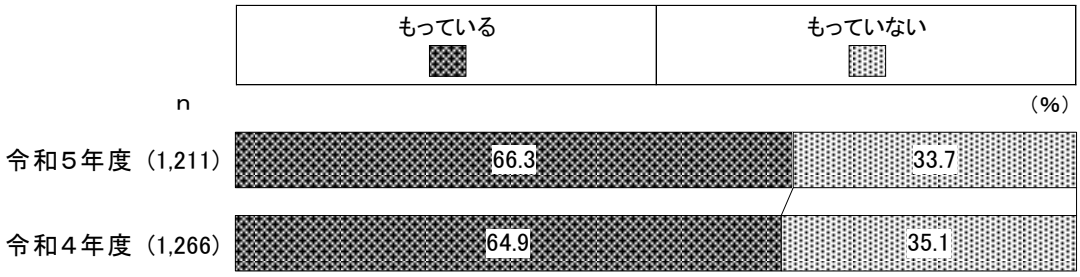
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全　体	660	25.3	17.7	16.1	5.9	41.5
18～19歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	19	5.3	0.0	0.0	0.0	94.7
25～29歳	29	13.8	3.4	0.0	3.4	79.3
30～34歳	49	14.3	26.5	8.2	4.1	51.0
35～39歳	40	10.0	17.5	22.5	2.5	47.5
40～44歳	56	30.4	28.6	32.1	3.6	23.2
45～49歳	78	21.8	41.0	25.6	2.6	24.4
50～54歳	73	17.8	26.0	27.4	6.8	26.0
55～59歳	52	30.8	17.3	17.3	5.8	38.5
60～64歳	45	26.7	26.7	15.6	2.2	35.6
65～69歳	48	33.3	10.4	16.7	14.6	37.5
70～74歳	60	31.7	5.0	10.0	6.7	48.3
75歳以上	104	39.4	0.0	4.8	10.6	46.2
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問23　あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つずつ）

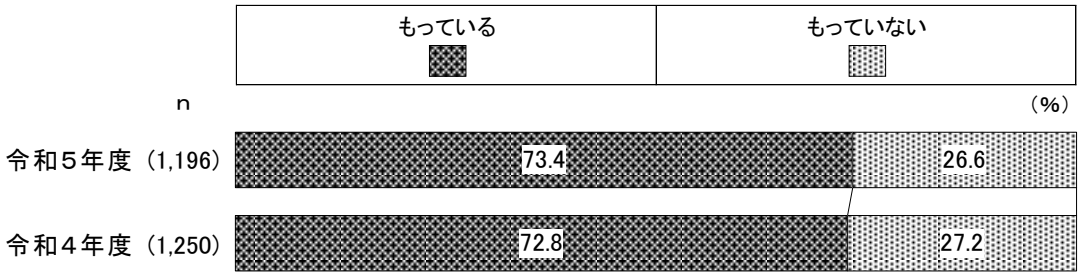
＜全体／経年比較＞

・「もっている」の割合でみると、“かかりつけ歯科医”が73.4％で最も高く、次いで“かかりつけ医”（66.3％）、“かかりつけ薬局”（58.1％）となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

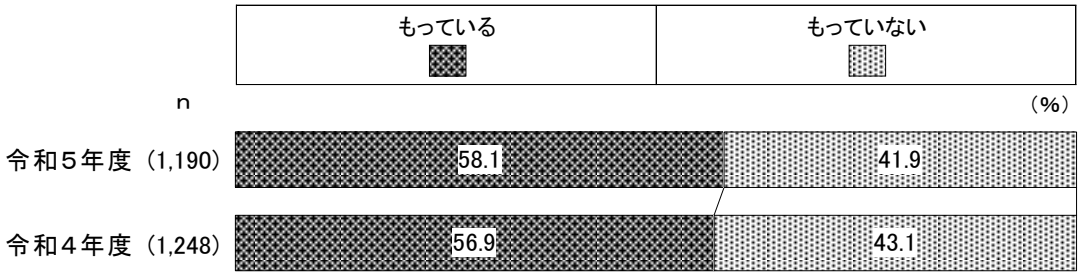
図表Ⅳ－65　かかりつけ医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－66　かかりつけ歯科医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－67　かかりつけ薬局を持っている区民の割合



① 地区別

・地区別でみると、“かかりつけ医”をもっている割合は、東陽地区（71.4%）が最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、富岡地区（77.5%）が最も高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、大島地区（65.2%）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－68　かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（地区別）

（%）

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全　体	1,211	66.3	33.7	1,196	73.4	26.6	1,190	58.1	41.9
白河	104	61.5	38.5	104	76.9	23.1	103	50.5	49.5
小松橋	94	70.2	29.8	93	66.7	33.3	94	57.4	42.6
富岡	83	63.9	36.1	80	77.5	22.5	79	50.6	49.4
東陽	105	71.4	28.6	102	73.5	26.5	102	63.7	36.3
豊洲	236	67.8	32.2	236	75.0	25.0	234	60.3	39.7
亀戸	146	58.2	41.8	142	69.0	31.0	141	52.5	47.5
大島	155	69.7	30.3	155	75.5	24.5	155	65.2	34.8
砂町	166	66.3	33.7	164	74.4	25.6	162	60.5	39.5
南砂	101	67.3	32.7	99	69.7	30.3	99	52.5	47.5
居住地区不詳	21	66.7	33.3	21	76.2	23.8	21	66.7	33.3

② 性年齢別

・男女別にみると、“かかりつけ医”をもっている割合は、女性（67.9%）の方が男性（62.8%）より5.1ポイント高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、女性（78.8%）の方が男性（65.6%）より13.2ポイント高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、女性（62.8%）の方が男性（49.9%）より12.9ポイント高くなっている。

・年齢別にみると、男性では“かかりつけ医”“かかりつけ歯科医”“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも75歳以上が最も高くなっている。女性では“かかりつけ医”“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも75歳以上が最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、70～74歳が最も高くなっている。

図表Ⅳ－69　かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全　体	495	62.8	37.2	486	65.6	34.4	481	49.9	50.1
18～19歳	6	50.0	50.0	6	33.3	66.7	6	50.0	50.0
20～24歳	17	52.9	47.1	17	41.2	58.8	17	47.1	52.9
25～29歳	25	24.0	76.0	25	36.0	64.0	25	16.0	84.0
30～34歳	26	34.6	65.4	26	53.8	46.2	26	34.6	65.4
35～39歳	38	39.5	60.5	38	57.9	42.1	38	36.8	63.2
40～44歳	36	52.8	47.2	36	66.7	33.3	36	38.9	61.1
45～49歳	49	51.0	49.0	49	61.2	38.8	49	44.9	55.1
50～54歳	59	49.2	50.8	58	56.9	43.1	57	28.1	71.9
55～59歳	39	69.2	30.8	39	69.2	30.8	39	48.7	51.3
60～64歳	35	65.7	34.3	34	64.7	35.3	34	52.9	47.1
65～69歳	42	78.6	21.4	41	75.6	24.4	41	65.9	34.1
70～74歳	47	91.5	8.5	47	83.0	17.0	47	74.5	25.5
75歳以上	76	92.1	7.9	70	84.3	15.7	66	77.3	22.7

＜女　性＞　（%）

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全　体	664	67.9	32.1	661	78.8	21.2	658	62.8	37.2
18～19歳	5	20.0	80.0	5	40.0	60.0	5	40.0	60.0
20～24歳	19	52.6	47.4	19	42.1	57.9	19	26.3	73.7
25～29歳	29	48.3	51.7	29	69.0	31.0	29	51.7	48.3
30～34歳	49	40.8	59.2	49	63.3	36.7	49	46.9	53.1
35～39歳	40	52.5	47.5	40	82.5	17.5	40	57.5	42.5
40～44歳	56	50.0	50.0	56	75.0	25.0	56	50.0	50.0
45～49歳	78	62.8	37.2	78	78.2	21.8	78	55.1	44.9
50～54歳	72	63.9	36.1	72	81.9	18.1	71	62.0	38.0
55～59歳	52	80.8	19.2	53	79.2	20.8	53	66.0	34.0
60～64歳	44	72.7	27.3	45	86.7	13.3	44	61.4	38.6
65～69歳	48	72.9	27.1	47	83.0	17.0	47	59.6	40.4
70～74歳	61	88.5	11.5	59	89.8	10.2	59	83.1	16.9
75歳以上	109	89.9	10.1	108	85.2	14.8	107	85.0	15.0
年齢不詳	2	50.0	50.0	1	0.0	100.0	1	0.0	100.0

【感染症対策と生活衛生の確保】

問24　あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つずつ）

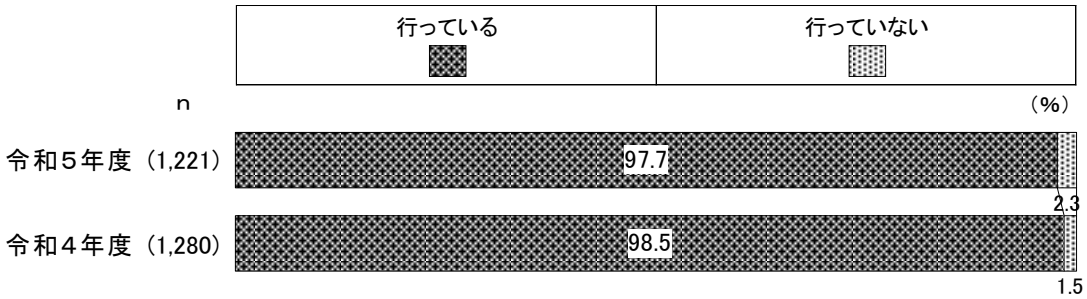
※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

＜全体／経年比較＞

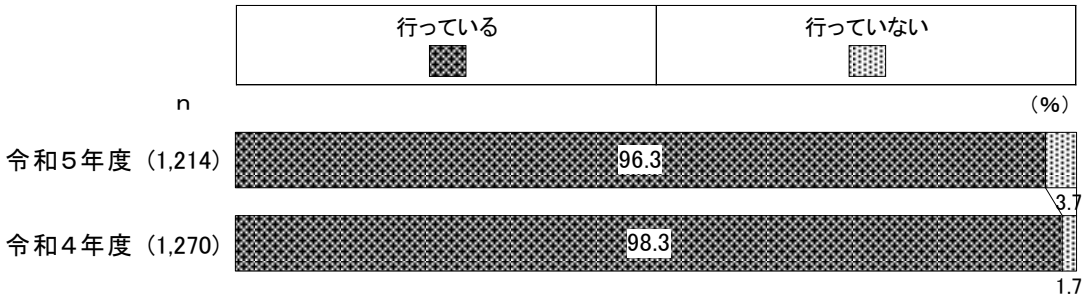
・「行っている」の割合でみると、“手洗い”が97.7%、“咳エチケット”が96.3%となっている。

・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－70　手洗いの励行状況



図表Ⅳ－71　咳エチケットの励行状況



① 地区別

・地区別でみると、“手洗い”を行っている割合は、富岡地区（100.0%）が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合でも、富岡地区（100.0%）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－72　手洗い、咳エチケットの励行状況（地区別）

（%）

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全　体	1,221	97.7	2.3	1,214	96.3	3.7
白河	106	95.3	4.7	106	95.3	4.7
小松橋	94	98.9	1.1	94	95.7	4.3
富岡	83	100.0	0.0	83	100.0	0.0
東陽	106	96.2	3.8	105	98.1	1.9
豊洲	237	98.3	1.7	236	96.2	3.8
亀戸	146	97.3	2.7	145	97.2	2.8
大島	157	98.1	1.9	156	96.2	3.8
砂町	170	98.8	1.2	167	94.0	6.0
南砂	101	95.0	5.0	101	96.0	4.0
居住地区不詳	21	100.0	0.0	21	95.2	4.8

② 性年齢別

・男女別にみると、“手洗い”を行っている割合に、特に大きな違いはみられない。“咳エチケット”を行っている割合は、女性（98.8%）の方が男性（92.9%）より5.9ポイント高くなっている。

・年齢別にみると、男性では“手洗い”を行っている割合は、18～19歳、35～39歳、65～69歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、30～34歳が最も高くなっている。女性では“手洗い”を行っている割合は、18～19歳、25～29歳、40～44歳、55～74歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～19歳、25～34歳、45～49歳、55～64歳が最も高くなっている。

図表Ⅳ－73　手洗い、咳エチケットの励行状況（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全　体	497	96.2	3.8	492	92.9	7.1
18～19歳	6	100.0	0.0	6	66.7	33.3
20～24歳	17	88.2	11.8	17	82.4	17.6
25～29歳	25	96.0	4.0	24	95.8	4.2
30～34歳	26	96.2	3.8	26	100.0	0.0
35～39歳	38	100.0	0.0	38	92.1	7.9
40～44歳	36	97.2	2.8	36	97.2	2.8
45～49歳	49	98.0	2.0	49	93.9	6.1
50～54歳	60	95.0	5.0	60	93.3	6.7
55～59歳	39	92.3	7.7	39	92.3	7.7
60～64歳	35	97.1	2.9	35	94.3	5.7
65～69歳	42	100.0	0.0	41	92.7	7.3
70～74歳	48	93.8	6.3	48	93.8	6.3
75歳以上	76	96.1	3.9	73	90.4	9.6

＜女　性＞　(%)

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全　体	670	98.8	1.2	669	98.8	1.2
18～19歳	5	100.0	0.0	5	100.0	0.0
20～24歳	19	94.7	5.3	19	94.7	5.3
25～29歳	29	100.0	0.0	29	100.0	0.0
30～34歳	49	98.0	2.0	49	100.0	0.0
35～39歳	40	97.5	2.5	40	97.5	2.5
40～44歳	56	100.0	0.0	56	98.2	1.8
45～49歳	78	98.7	1.3	78	100.0	0.0
50～54歳	73	97.3	2.7	73	97.3	2.7
55～59歳	53	100.0	0.0	53	100.0	0.0
60～64歳	45	100.0	0.0	45	100.0	0.0
65～69歳	48	100.0	0.0	48	97.9	2.1
70～74歳	62	100.0	0.0	62	98.4	1.6
75歳以上	111	98.2	1.8	110	99.1	0.9
年齢不詳	2	100.0	0.0	2	100.0	0.0

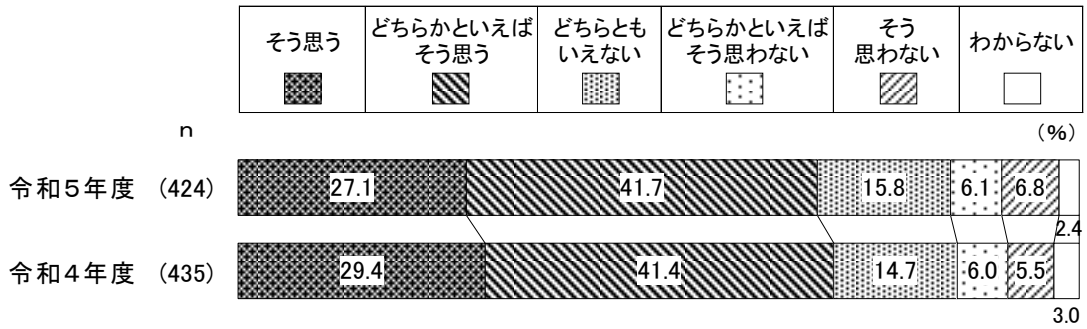
【高齢者支援と活躍の推進】

問25　65歳以上の方におたずねします。
あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が41.7％で最も高く、次いで「そう思う」（27.1％）となっている。
・これらを合わせた『そう思う（計）』の割合は68.8％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－74　生きがいや幸せを感じる生活を送ることができている認識

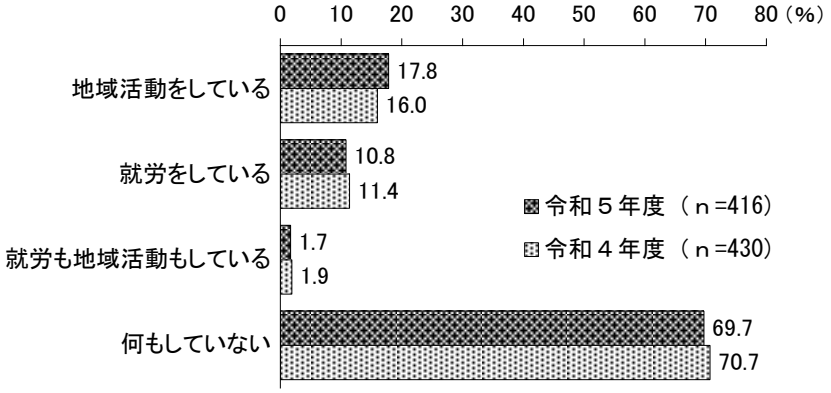


問26　65歳以上の方におたずねします。
あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・「何もしていない」が69.7％で最も高く、次いで「地域活動をしている」（17.8％）となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－75　地域活動や就労を行っている 65 歳以上の区民の割合

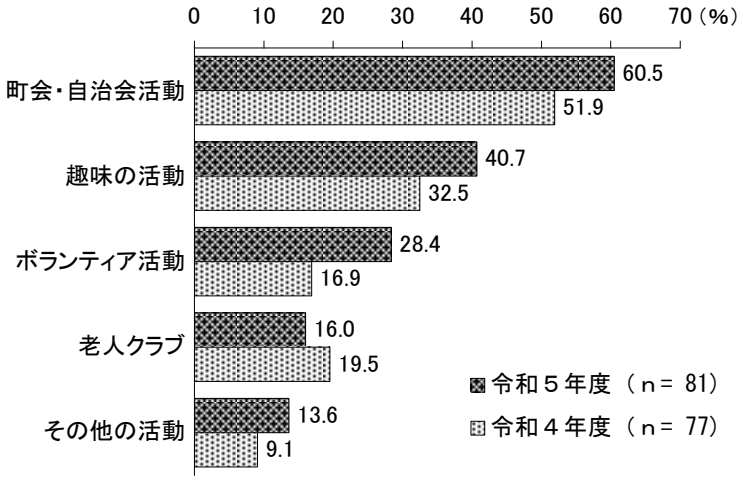


問26－１　問26で「２．地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。
具体的な活動内容について、あてはまるものを選び〇印をおつけください。
（〇はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・「町会・自治会活動」が60.5％で最も高く、次いで「趣味の活動」（40.7％）となっている。
・前回調査と比較すると、「ボランティア活動」が11.5ポイント増加、「町会・自治会活動」が8.6ポイント増加、「趣味の活動」が8.2ポイント増加している。

図表Ⅳ－76　具体的な活動

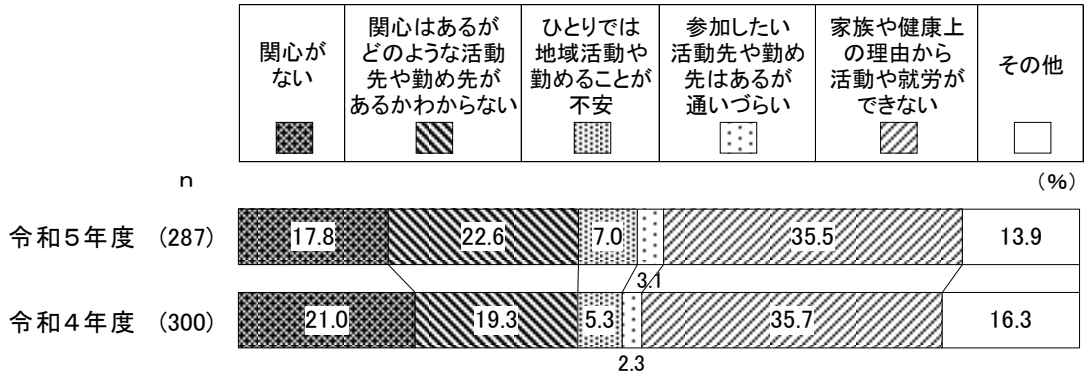


問26－２　問26で「３．何もしていない」を選んだ方におたずねします。
地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が35.5％で最も高く、次いで「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」（22.6％）、「関心がない」（17.8％）となっている。
・前回調査と比較すると、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」が3.3ポイント増加、「関心がない」が3.2ポイント減少している。

図表Ⅳ－77　地域活動や就労を行っていない理由

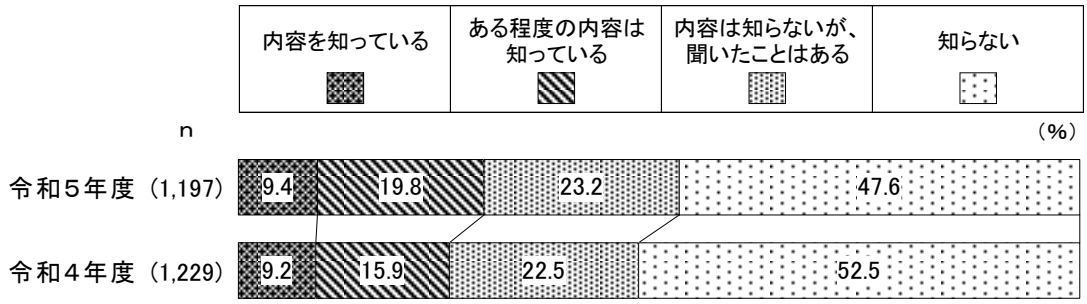


問27　地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「知らない」が47.6%で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」（23.2%）となっている。
・「内容を知っている」（9.4%）と「ある程度の内容は知っている」（19.8%）を合わせた『内容を知っている（計）』の割合は29.2%となっている。
・前回調査と比較すると、『内容を知っている（計）』が4.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－78　地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度



① 地区別

・地区別では、『内容を知っている（計）』の割合は、大島地区（40.0%）、亀戸地区（32.9%）、砂町地区（30.6%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－79　地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（地区別）

（%）

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全　体	1,197	9.4	19.8	23.2	47.6
白河	104	7.7	20.2	22.1	50.0
小松橋	91	7.7	13.2	26.4	52.7
富岡	84	7.1	19.0	17.9	56.0
東陽	103	12.6	13.6	26.2	47.6
豊洲	230	7.0	18.7	24.3	50.0
亀戸	143	9.1	23.8	23.1	44.1
大島	155	16.1	23.9	18.7	41.3
砂町	167	12.6	18.0	24.6	44.9
南砂	100	3.0	23.0	24.0	50.0
居住地区不詳	20	0.0	35.0	30.0	35.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、女性（34.4%）の方が男性（21.3%）より13.1ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、男性では18～19歳、55～59歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では50歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－80　地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全　体	485	5.8	15.5	23.9	54.8
18～19歳	6	0.0	50.0	33.3	16.7
20～24歳	17	0.0	0.0	23.5	76.5
25～29歳	25	4.0	4.0	12.0	80.0
30～34歳	23	4.3	13.0	13.0	69.6
35～39歳	37	2.7	5.4	32.4	59.5
40～44歳	35	2.9	8.6	20.0	68.6
45～49歳	45	6.7	6.7	17.8	68.9
50～54歳	59	3.4	10.2	18.6	67.8
55～59歳	38	5.3	23.7	26.3	44.7
60～64歳	33	0.0	18.2	21.2	60.6
65～69歳	40	2.5	17.5	27.5	52.5
70～74歳	48	10.4	18.8	27.1	43.8
75歳以上	79	13.9	29.1	31.6	25.3

＜女　性＞　(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全　体	660	12.0	22.4	22.7	42.9
18～19歳	5	0.0	20.0	0.0	80.0
20～24歳	19	5.3	10.5	10.5	73.7
25～29歳	28	0.0	0.0	17.9	82.1
30～34歳	47	6.4	6.4	12.8	74.5
35～39歳	40	7.5	5.0	15.0	72.5
40～44歳	53	1.9	9.4	34.0	54.7
45～49歳	72	2.8	13.9	29.2	54.2
50～54歳	72	13.9	26.4	22.2	37.5
55～59歳	52	17.3	21.2	19.2	42.3
60～64歳	44	15.9	34.1	25.0	25.0
65～69歳	48	14.6	35.4	31.3	18.8
70～74歳	61	19.7	34.4	21.3	24.6
75歳以上	117	20.5	35.0	23.1	21.4
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	50.0

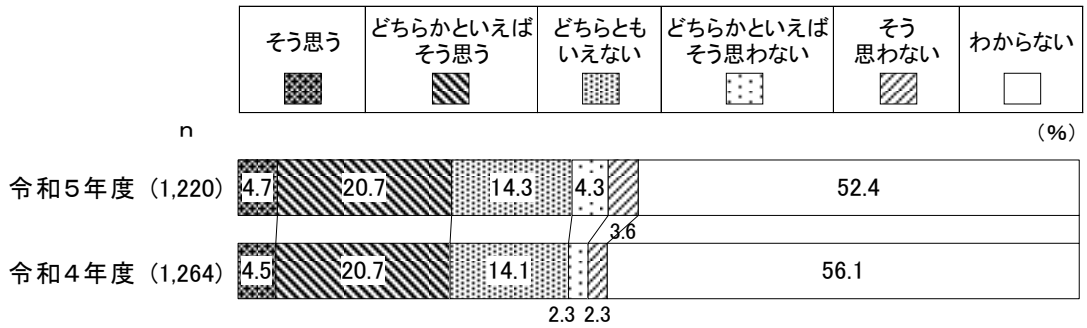
【障害者支援と共生社会の実現】

問28　江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。
（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「わからない」が52.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（20.7％）となっている。
・「そう思う」（4.7％）と「どちらかといえばそう思う」（20.7％）を合わせた『そう思う（計）』の割合は25.4％となっている。
・前回調査と比較すると、「わからない」が3.7ポイント減少している。

図表Ⅳ－81　障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、小松橋地区（32.0％）、砂町地区（26.5％）、大島地区（26.1％）、白河地区（25.7％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－82　障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,220	4.7	20.7	14.3	4.3	3.6	52.4
白河	105	1.9	23.8	10.5	1.9	4.8	57.1
小松橋	94	4.3	27.7	12.8	1.1	2.1	52.1
富岡	86	9.3	11.6	12.8	5.8	2.3	58.1
東陽	105	2.9	21.9	12.4	4.8	3.8	54.3
豊洲	238	2.9	21.4	13.4	4.6	5.9	51.7
亀戸	145	5.5	17.2	15.9	4.1	1.4	55.9
大島	157	5.7	20.4	12.1	6.4	4.5	51.0
砂町	170	6.5	20.0	18.2	3.5	3.5	48.2
南砂	101	4.0	20.8	18.8	5.9	2.0	48.5
居住地区不詳	19	5.3	31.6	15.8	5.3	0.0	42.1

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～34歳、40～44歳、55～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、45～54歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－83　障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	500	4.4	20.6	14.8	5.6	4.0	50.6
18～19歳	6	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3
20～24歳	17	0.0	35.3	11.8	0.0	5.9	47.1
25～29歳	25	4.0	20.0	12.0	4.0	8.0	52.0
30～34歳	26	3.8	26.9	19.2	11.5	0.0	38.5
35～39歳	38	5.3	18.4	7.9	5.3	10.5	52.6
40～44歳	36	2.8	25.0	8.3	2.8	2.8	58.3
45～49歳	49	6.1	10.2	16.3	6.1	6.1	55.1
50～54歳	60	3.3	16.7	15.0	6.7	8.3	50.0
55～59歳	39	0.0	30.8	25.6	0.0	0.0	43.6
60～64歳	35	2.9	20.0	17.1	11.4	5.7	42.9
65～69歳	41	7.3	14.6	19.5	2.4	0.0	56.1
70～74歳	49	2.0	18.4	16.3	4.1	0.0	59.2
75歳以上	79	7.6	21.5	11.4	8.9	2.5	48.1

＜女　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	670	4.8	21.6	13.7	3.4	2.8	53.6
18～19歳	5	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0
20～24歳	19	10.5	15.8	10.5	0.0	0.0	63.2
25～29歳	29	3.4	20.7	17.2	3.4	0.0	55.2
30～34歳	48	2.1	14.6	4.2	4.2	0.0	75.0
35～39歳	40	0.0	12.5	12.5	2.5	5.0	67.5
40～44歳	56	3.6	21.4	12.5	7.1	3.6	51.8
45～49歳	77	2.6	28.6	13.0	2.6	3.9	49.4
50～54歳	75	5.3	30.7	14.7	1.3	2.7	45.3
55～59歳	52	3.8	15.4	11.5	3.8	0.0	65.4
60～64歳	45	4.4	17.8	17.8	2.2	8.9	48.9
65～69歳	47	8.5	17.0	21.3	4.3	2.1	46.8
70～74歳	61	6.6	24.6	9.8	4.9	4.9	49.2
75歳以上	114	7.0	21.9	16.7	3.5	1.8	49.1
年齢不詳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

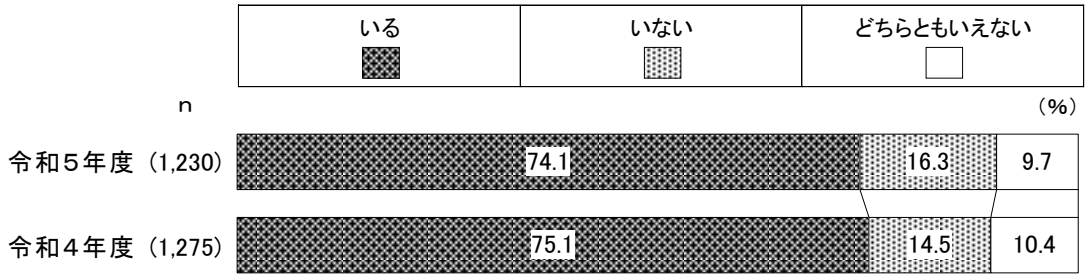
【地域福祉と生活支援の充実】

問29　日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「いる」が74.1%で、「いない」（16.3%）を上回っている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－84　身近に相談相手がいる区民の割合



① 地区別

・地区別では、「いる」の割合は、白河地区（80.4%）、東陽地区（79.6%）、砂町地区（78.3%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－85　身近に相談相手がいる区民の割合（地区別）

（%）

	n	いる	いない	どちらともいえない
全　体	1,230	74.1	16.3	9.7
白河	107	80.4	14.0	5.6
小松橋	94	70.2	18.1	11.7
富岡	85	63.5	25.9	10.6
東陽	103	79.6	12.6	7.8
豊洲	239	72.0	19.2	8.8
亀戸	146	73.3	14.4	12.3
大島	159	73.6	17.0	9.4
砂町	175	78.3	12.6	9.1
南砂	102	71.6	14.7	13.7
居住地区不詳	20	85.0	10.0	5.0

② 性年齢別

・男女別にみると、「いる」の割合は、女性（83.1%）の方が男性（63.9%）より19.2ポイント高くなっている。

・年齢別にみると、「いる」の割合は、男性では18～19歳、25～39歳、45～49歳、65～74歳で男性全体を上回っている。女性では20～39歳、55～59歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－86　身近に相談相手がいる区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	いる	いない	どちらともいえない
全　体	502	63.9	22.5	13.5
18～19歳	6	100.0	0.0	0.0
20～24歳	17	52.9	29.4	17.6
25～29歳	25	68.0	4.0	28.0
30～34歳	26	69.2	11.5	19.2
35～39歳	38	76.3	10.5	13.2
40～44歳	36	61.1	22.2	16.7
45～49歳	49	67.3	20.4	12.2
50～54歳	60	60.0	23.3	16.7
55～59歳	39	61.5	23.1	15.4
60～64歳	35	51.4	37.1	11.4
65～69歳	41	68.3	24.4	7.3
70～74歳	49	67.3	24.5	8.2
75歳以上	81	59.3	29.6	11.1

＜女　性＞　(%)

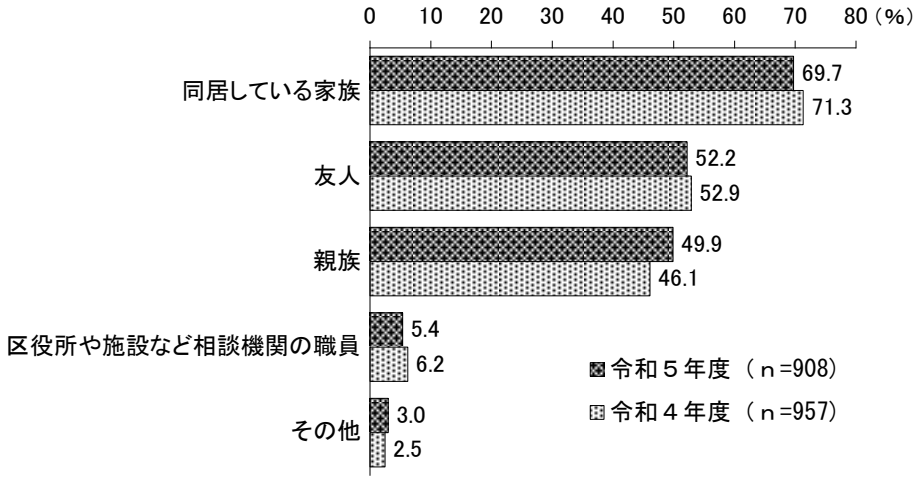
	n	いる	いない	どちらともいえない
全　体	676	83.1	10.5	6.4
18～19歳	5	80.0	20.0	0.0
20～24歳	19	94.7	5.3	0.0
25～29歳	29	86.2	3.4	10.3
30～34歳	49	89.8	8.2	2.0
35～39歳	40	87.5	10.0	2.5
40～44歳	56	76.8	12.5	10.7
45～49歳	77	79.2	11.7	9.1
50～54歳	75	81.3	12.0	6.7
55～59歳	53	88.7	5.7	5.7
60～64歳	45	82.2	13.3	4.4
65～69歳	47	87.2	8.5	4.3
70～74歳	61	82.0	14.8	3.3
75歳以上	118	80.5	10.2	9.3
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0

問29－１　問29で「１．いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。（○はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・「同居している家族」が69.7％で最も高く、次いで「友人」（52.2％）、「親族」（49.9％）となっている。
・前回調査と比較すると、「親族」が3.8ポイント増加している。

図表Ⅳ－87　具体的な相談相手



① 地区別

・地区別では、すべての地区で１位は「同居している家族」となっている。

図表Ⅳ－88　具体的な相談相手（地区別）

（%）

	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全　体	908	69.7	49.9	52.2	5.4	3.0
白河	86	64.0	40.7	46.5	5.8	3.5
小松橋	66	74.2	39.4	50.0	3.0	1.5
富岡	54	66.7	57.4	55.6	5.6	0.0
東陽	82	67.1	53.7	54.9	4.9	3.7
豊洲	172	71.5	50.6	50.0	7.0	4.7
亀戸	106	68.9	50.9	48.1	2.8	3.8
大島	117	70.9	49.6	58.1	7.7	2.6
砂町	135	72.6	51.9	49.6	6.7	3.7
南砂	73	67.1	56.2	63.0	2.7	0.0
居住地区不詳	17	70.6	41.2	47.1	0.0	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、男女ともに「同居している家族」が１位となっており、男性（73.4%）の方が女性（69.0%）より4.4ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、男性では18～19歳、25～74歳で「同居している家族」が同率を含め１位となっている。女性では18～59歳、65～74歳で「同居している家族」が同率を含め１位となっている。

図表Ⅳ－89　具体的な相談相手（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全　体	319	73.4	43.3	39.2	4.4	3.8
18～19歳	6	66.7	0.0	66.7	16.7	0.0
20～24歳	9	66.7	22.2	88.9	11.1	0.0
25～29歳	17	70.6	29.4	64.7	5.9	11.8
30～34歳	18	72.2	33.3	50.0	0.0	0.0
35～39歳	29	89.7	62.1	48.3	6.9	0.0
40～44歳	22	63.6	59.1	31.8	0.0	0.0
45～49歳	33	72.7	45.5	33.3	6.1	9.1
50～54歳	35	82.9	31.4	37.1	0.0	2.9
55～59歳	24	83.3	41.7	41.7	0.0	0.0
60～64歳	18	77.8	61.1	50.0	5.6	0.0
65～69歳	28	89.3	35.7	35.7	3.6	0.0
70～74歳	32	68.8	34.4	25.0	3.1	9.4
75歳以上	48	52.1	54.2	22.9	8.3	6.3

＜女　性＞　(%)

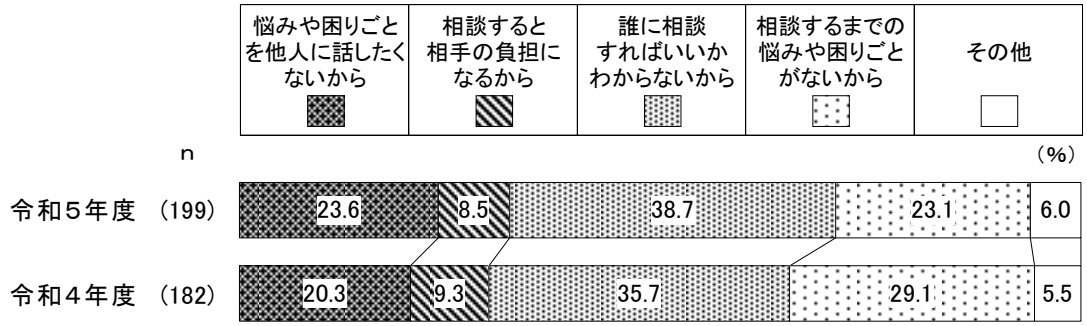
	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全　体	561	69.0	53.7	59.4	6.2	2.5
18～19歳	4	100.0	0.0	75.0	0.0	0.0
20～24歳	18	66.7	33.3	50.0	0.0	5.6
25～29歳	25	64.0	32.0	64.0	4.0	0.0
30～34歳	44	79.5	52.3	68.2	6.8	2.3
35～39歳	35	77.1	77.1	62.9	2.9	0.0
40～44歳	43	83.7	46.5	65.1	11.6	0.0
45～49歳	61	73.8	67.2	72.1	1.6	4.9
50～54歳	61	78.7	42.6	67.2	4.9	3.3
55～59歳	47	70.2	59.6	57.4	4.3	4.3
60～64歳	37	64.9	54.1	67.6	10.8	5.4
65～69歳	41	63.4	56.1	53.7	4.9	0.0
70～74歳	50	62.0	56.0	62.0	10.0	0.0
75歳以上	94	52.1	54.3	37.2	8.5	3.2
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問29－２　問29で「２．いない」と答えた方におたずねします。
あなたが相談相手がいないと感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「誰に相談すればいいかわからないから」が38.7％で最も高く、次いで「悩みや困りごとを他人に話したくないから」（23.6％）となっている。
・前回調査と比較すると、「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が6.0ポイント減少している。

図表Ⅳ－90　相談相手がいない理由



① 地区別

・地区別では、「誰に相談すればいいかわからないから」の割合は、白河地区（66.7％）、富岡地区（45.5％）、豊洲地区（41.3％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－91　相談相手がいない理由（地区別）

（%）

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全　体	199	23.6	8.5	38.7	23.1	6.0
白河	15	6.7	6.7	66.7	13.3	6.7
小松橋	17	11.8	11.8	29.4	47.1	0.0
富岡	22	31.8	9.1	45.5	9.1	4.5
東陽	13	23.1	7.7	38.5	23.1	7.7
豊洲	46	19.6	8.7	41.3	26.1	4.3
亀戸	20	45.0	0.0	30.0	15.0	10.0
大島	27	22.2	14.8	29.6	25.9	7.4
砂町	22	22.7	13.6	36.4	18.2	9.1
南砂	15	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
居住地区不詳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

② 性年齢別

・男女別にみると、男女ともに「誰に相談すればいいかわからないから」が１位となっている。
・年齢別にみると、男性では20～29歳、35～39歳、45～69歳、75歳以上で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め１位となっている。女性では20～24歳、30～54歳、60～64歳、75歳以上で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め１位となっている。

図表Ⅳ－92　相談相手がいない理由（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全　体	112	25.0	8.0	39.3	24.1	3.6
18～19歳	0	－	－	－	－	－
20～24歳	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
25～29歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
30～34歳	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
35～39歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
40～44歳	8	37.5	12.5	12.5	37.5	0.0
45～49歳	10	20.0	10.0	60.0	10.0	0.0
50～54歳	14	21.4	14.3	28.6	28.6	7.1
55～59歳	9	22.2	0.0	44.4	11.1	22.2
60～64歳	13	38.5	0.0	46.2	15.4	0.0
65～69歳	10	20.0	20.0	50.0	10.0	0.0
70～74歳	11	27.3	0.0	27.3	45.5	0.0
75歳以上	24	16.7	8.3	37.5	33.3	4.2

＜女　性＞　（%）

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全　体	71	21.1	11.3	36.6	22.5	8.5
18～19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
25～29歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
30～34歳	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
35～39歳	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
40～44歳	7	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3
45～49歳	9	33.3	11.1	55.6	0.0	0.0
50～54歳	9	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1
55～59歳	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
60～64歳	6	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7
65～69歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
70～74歳	9	22.2	0.0	22.2	44.4	11.1
75歳以上	12	8.3	16.7	33.3	33.3	8.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

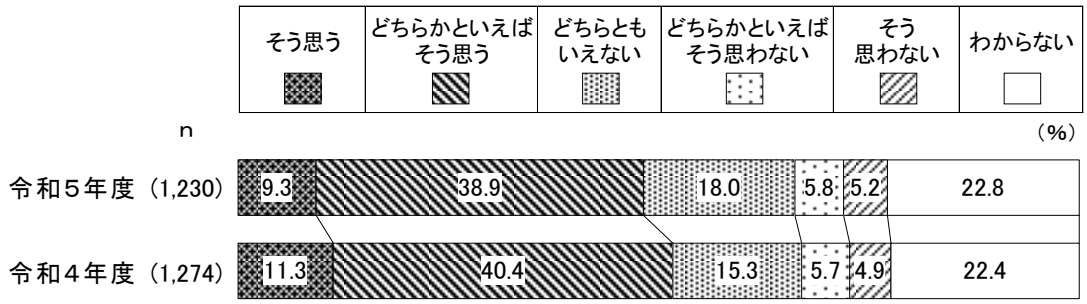
【計画的なまちづくりの推進】

問30　江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が38.9%で最も高く、次いで「わからない」（22.8%）となっている。
・「そう思う」（9.3%）と「どちらかといえばそう思う」（38.9%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は48.2%となっている。
・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が3.5ポイント減少している。

図表Ⅳ－93　地域の特色を活かしたまちづくりへの評価



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、豊洲地区（55.5%）、小松橋地区（53.2%）、富岡地区（52.9%）、白河地区（51.8%）、砂町地区（50.8%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－94　地域の特色を活かしたまちづくりへの評価（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,230	9.3	38.9	18.0	5.8	5.2	22.8
白河	108	3.7	48.1	14.8	6.5	0.9	25.9
小松橋	94	11.7	41.5	19.1	3.2	3.2	21.3
富岡	85	12.9	40.0	15.3	4.7	7.1	20.0
東陽	104	10.6	34.6	14.4	4.8	7.7	27.9
豊洲	238	8.4	47.1	17.2	5.0	5.5	16.8
亀戸	147	9.5	34.0	10.9	6.8	8.8	29.9
大島	159	6.9	28.9	25.8	9.4	5.0	23.9
砂町	175	13.1	37.7	16.6	5.1	4.0	23.4
南砂	100	6.0	36.0	27.0	5.0	5.0	21.0
居住地区不詳	20	15.0	40.0	25.0	5.0	0.0	15.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（51.4%）の方が男性（46.7%）より4.7ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－95　地域の特色を活かしたまちづくりへの評価（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	502	10.0	36.7	19.7	7.2	6.4	20.1
18～19歳	6	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	33.3
20～24歳	17	17.6	41.2	5.9	0.0	11.8	23.5
25～29歳	25	8.0	48.0	16.0	8.0	0.0	20.0
30～34歳	26	19.2	23.1	23.1	11.5	0.0	23.1
35～39歳	38	13.2	42.1	13.2	7.9	5.3	18.4
40～44歳	36	16.7	38.9	11.1	0.0	5.6	27.8
45～49歳	49	12.2	36.7	26.5	8.2	4.1	12.2
50～54歳	60	3.3	48.3	20.0	10.0	8.3	10.0
55～59歳	39	7.7	51.3	15.4	5.1	2.6	17.9
60～64歳	35	5.7	14.3	31.4	20.0	8.6	20.0
65～69歳	41	2.4	39.0	14.6	0.0	14.6	29.3
70～74歳	49	6.1	32.7	22.4	10.2	10.2	18.4
75歳以上	81	14.8	27.2	23.5	4.9	4.9	24.7

＜女　性＞　(%)

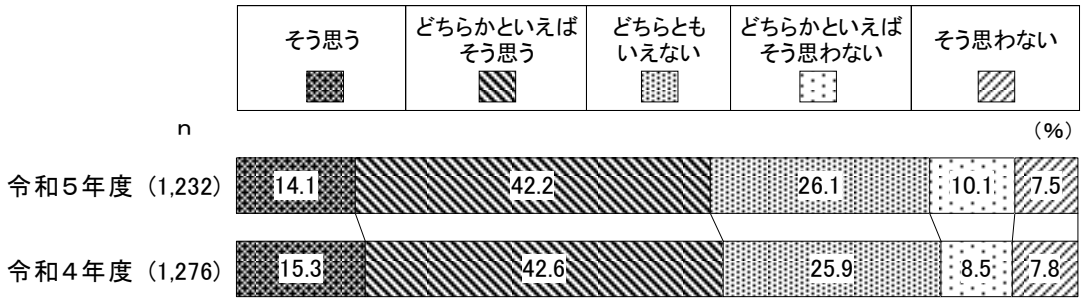
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	675	8.9	42.5	15.6	4.9	4.1	24.0
18～19歳	5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	19	15.8	52.6	0.0	5.3	5.3	21.1
25～29歳	29	20.7	44.8	10.3	3.4	0.0	20.7
30～34歳	49	12.2	42.9	8.2	6.1	8.2	22.4
35～39歳	40	5.0	50.0	20.0	0.0	5.0	20.0
40～44歳	56	8.9	42.9	14.3	5.4	3.6	25.0
45～49歳	78	3.8	52.6	19.2	2.6	2.6	19.2
50～54歳	75	10.7	45.3	13.3	5.3	2.7	22.7
55～59歳	53	5.7	47.2	13.2	13.2	1.9	18.9
60～64歳	45	4.4	42.2	22.2	4.4	2.2	24.4
65～69歳	48	4.2	39.6	22.9	6.3	0.0	27.1
70～74歳	59	6.8	35.6	6.8	8.5	8.5	33.9
75歳以上	118	11.0	33.1	20.3	1.7	6.8	27.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問31　あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が42.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（26.1%）となっている。
・「そう思う」（14.1%）と「どちらかといえばそう思う」（42.2%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は56.3%となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－96　江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、小松橋地区（67.1%）、豊洲地区（66.4%）、白河地区（62.9%）、東陽地区（60.0%）、富岡地区（56.4%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－97　江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	1,232	14.1	42.2	26.1	10.1	7.5
白河	108	12.0	50.9	23.1	9.3	4.6
小松橋	94	16.0	51.1	20.2	8.5	4.3
富岡	85	17.6	38.8	20.0	14.1	9.4
東陽	105	11.4	48.6	21.0	11.4	7.6
豊洲	238	19.3	47.1	19.7	6.7	7.1
亀戸	146	8.2	41.1	32.2	8.2	10.3
大島	159	10.7	28.9	38.4	12.6	9.4
砂町	176	15.3	39.2	27.3	10.2	8.0
南砂	101	12.9	39.6	27.7	12.9	6.9
居住地区不詳	20	20.0	30.0	35.0	15.0	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（59.6%）の方が男性（54.7%）より4.9ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～49歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、50～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－98　江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	502	13.5	41.2	26.5	10.0	8.8
18～19歳	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
20～24歳	17	17.6	52.9	17.6	0.0	11.8
25～29歳	25	24.0	36.0	12.0	16.0	12.0
30～34歳	26	30.8	26.9	30.8	7.7	3.8
35～39歳	38	15.8	47.4	13.2	18.4	5.3
40～44歳	36	11.1	50.0	27.8	5.6	5.6
45～49歳	49	18.4	44.9	18.4	12.2	6.1
50～54歳	60	5.0	48.3	28.3	13.3	5.0
55～59歳	39	17.9	38.5	23.1	12.8	7.7
60～64歳	35	8.6	31.4	37.1	8.6	14.3
65～69歳	41	2.4	48.8	31.7	4.9	12.2
70～74歳	49	10.2	34.7	34.7	8.2	12.2
75歳以上	81	13.6	37.0	29.6	8.6	11.1

＜女　性＞　(%)

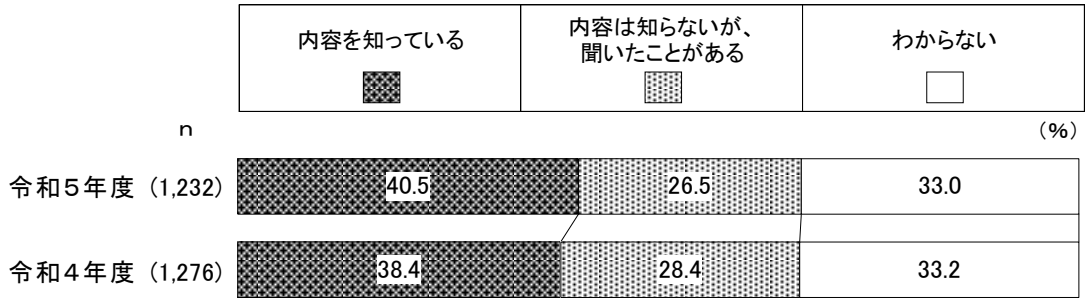
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	677	15.1	44.5	24.2	10.0	6.2
18～19歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	19	31.6	52.6	5.3	10.5	0.0
25～29歳	29	31.0	55.2	6.9	6.9	0.0
30～34歳	49	28.6	38.8	10.2	16.3	6.1
35～39歳	40	17.5	42.5	25.0	7.5	7.5
40～44歳	56	19.6	44.6	17.9	7.1	10.7
45～49歳	78	6.4	44.9	34.6	11.5	2.6
50～54歳	74	23.0	52.7	20.3	1.4	2.7
55～59歳	53	9.4	43.4	30.2	13.2	3.8
60～64歳	45	2.2	48.9	26.7	15.6	6.7
65～69歳	48	6.3	37.5	29.2	20.8	6.3
70～74歳	61	8.2	44.3	21.3	11.5	14.8
75歳以上	118	14.4	40.7	30.5	6.8	7.6
年齢不詳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問32　あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「内容を知っている」が40.5%で最も高く、次いで「わからない」（33.0%）、「内容は知らないが、聞いたことがある」（26.5%）となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－99　「ユニバーサルデザイン」の認知状況



① 地区別

・地区別では、「内容を知っている」の割合は、小松橋地区（47.9%）、富岡地区（47.7%）、豊洲地区（47.7%）、東陽地区（41.0%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－100　「ユニバーサルデザイン」の認知状況（地区別）

（%）

	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全　体	1,232	40.5	26.5	33.0
白河	108	38.0	31.5	30.6
小松橋	94	47.9	21.3	30.9
富岡	86	47.7	23.3	29.1
東陽	105	41.0	27.6	31.4
豊洲	239	47.7	25.1	27.2
亀戸	145	39.3	26.9	33.8
大島	158	30.4	31.0	38.6
砂町	174	37.4	23.6	39.1
南砂	102	38.2	25.5	36.3
居住地区不詳	21	28.6	38.1	33.3

② 性年齢別

・男女別にみると、「内容を知っている」の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、「内容を知っている」の割合は、男性では18～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－101　「ユニバーサルデザイン」の認知状況（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全　体	501	40.9	23.6	35.5
18～19歳	6	100.0	0.0	0.0
20～24歳	17	58.8	23.5	17.6
25～29歳	25	60.0	12.0	28.0
30～34歳	26	76.9	23.1	0.0
35～39歳	38	42.1	18.4	39.5
40～44歳	36	44.4	22.2	33.3
45～49歳	49	51.0	16.3	32.7
50～54歳	60	53.3	25.0	21.7
55～59歳	39	35.9	35.9	28.2
60～64歳	35	48.6	25.7	25.7
65～69歳	41	34.1	24.4	41.5
70～74歳	48	22.9	22.9	54.2
75歳以上	81	11.1	28.4	60.5

＜女　性＞　(%)

	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全　体	676	41.6	27.4	31.1
18～19歳	5	80.0	20.0	0.0
20～24歳	19	68.4	21.1	10.5
25～29歳	29	86.2	10.3	3.4
30～34歳	49	63.3	20.4	16.3
35～39歳	40	55.0	20.0	25.0
40～44歳	56	53.6	17.9	28.6
45～49歳	78	55.1	23.1	21.8
50～54歳	75	46.7	30.7	22.7
55～59歳	53	39.6	22.6	37.7
60～64歳	45	35.6	28.9	35.6
65～69歳	48	31.3	33.3	35.4
70～74歳	60	23.3	41.7	35.0
75歳以上	117	9.4	35.9	54.7
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0

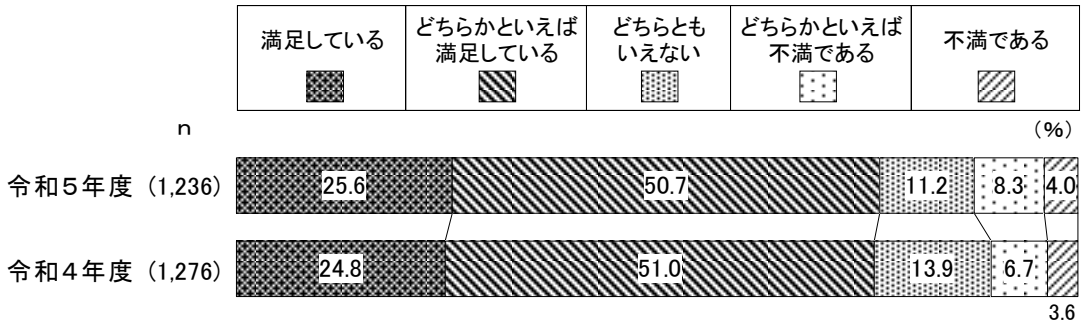
【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問33　あなたは、今のお住まい周辺の環境について満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえば満足している」が50.7％で最も高く、次いで「満足している」（25.6％）となっている。
・これらを合わせた『満足している（計）』の割合は76.3％となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－102　住宅の周辺環境への満足度



① 地区別

・地区別では、『満足している（計）』の割合は、白河地区（84.2％）、小松橋地区（81.9％）、富岡地区（80.2％）、南砂地区（78.5％）、豊洲地区（77.8％）、東陽地区（77.1％）、亀戸地区（76.9％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－103　住宅の周辺環境への満足度（地区別）

（%）

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全　体	1,236	25.6	50.7	11.2	8.3	4.0
白河	108	29.6	54.6	9.3	4.6	1.9
小松橋	94	26.6	55.3	13.8	2.1	2.1
富岡	86	31.4	48.8	7.0	5.8	7.0
東陽	105	27.6	49.5	9.5	10.5	2.9
豊洲	239	27.6	50.2	8.4	10.0	3.8
亀戸	147	24.5	52.4	7.5	9.5	6.1
大島	159	28.9	40.3	13.2	11.3	6.3
砂町	176	19.3	49.4	19.9	8.0	3.4
南砂	102	16.7	61.8	11.8	7.8	2.0
居住地区不詳	20	25.0	55.0	5.0	10.0	5.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『満足している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、45～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－104　住宅の周辺環境への満足度（性年齢別）

＜男　性＞

（%）

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全　体	502	25.9	51.0	11.6	6.6	5.0
18～19歳	6	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	47.1	41.2	0.0	5.9	5.9
25～29歳	25	20.0	52.0	4.0	12.0	12.0
30～34歳	26	42.3	42.3	7.7	7.7	0.0
35～39歳	38	36.8	52.6	0.0	7.9	2.6
40～44歳	36	33.3	47.2	11.1	2.8	5.6
45～49歳	49	18.4	59.2	14.3	6.1	2.0
50～54歳	60	25.0	53.3	15.0	6.7	0.0
55～59歳	39	15.4	59.0	10.3	10.3	5.1
60～64歳	35	14.3	60.0	11.4	11.4	2.9
65～69歳	41	24.4	46.3	14.6	2.4	12.2
70～74歳	49	20.4	44.9	16.3	10.2	8.2
75歳以上	81	28.4	46.9	16.0	2.5	6.2

＜女　性＞

（%）

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全　体	680	26.0	50.3	10.9	9.7	3.1
18～19歳	5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
20～24歳	19	36.8	42.1	0.0	21.1	0.0
25～29歳	29	48.3	34.5	10.3	3.4	3.4
30～34歳	49	34.7	44.9	2.0	12.2	6.1
35～39歳	40	20.0	57.5	7.5	10.0	5.0
40～44歳	56	26.8	44.6	12.5	8.9	7.1
45～49歳	78	21.8	57.7	12.8	6.4	1.3
50～54歳	75	24.0	64.0	6.7	4.0	1.3
55～59歳	53	28.3	43.4	7.5	15.1	5.7
60～64歳	45	24.4	44.4	15.6	15.6	0.0
65～69歳	48	16.7	58.3	6.3	14.6	4.2
70～74歳	62	25.8	48.4	12.9	11.3	1.6
75歳以上	119	24.4	48.7	17.6	6.7	2.5
年齢不詳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

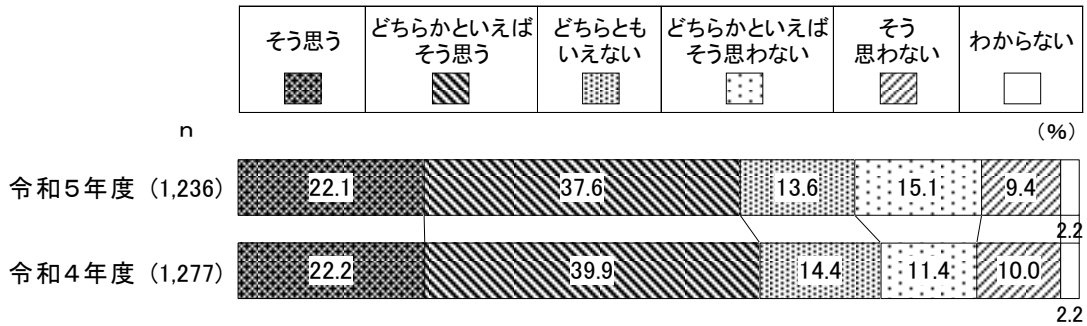
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問34　あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が37.6％で最も高く、次いで「そう思う」（22.1％）となっている。
・これらを合わせた『そう思う（計）』の割合は59.7％となっている。
・前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」が3.7ポイント増加している。

図表Ⅳ－105　公共交通による移動の利便性



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、富岡地区（76.8％）、白河地区（75.0％）、小松橋地区（68.1％）、東陽地区（66.7％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－106　公共交通による移動の利便性（地区別）

（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,236	22.1	37.6	13.6	15.1	9.4	2.2
白河	108	30.6	44.4	10.2	11.1	2.8	0.9
小松橋	94	25.5	42.6	11.7	9.6	9.6	1.1
富岡	86	22.1	54.7	5.8	7.0	9.3	1.2
東陽	105	28.6	38.1	11.4	10.5	8.6	2.9
豊洲	239	19.2	33.1	18.8	18.0	10.5	0.4
亀戸	147	19.0	33.3	10.9	21.8	10.9	4.1
大島	159	20.1	38.4	15.7	14.5	8.8	2.5
砂町	176	24.4	33.5	13.1	15.3	10.2	3.4
南砂	102	15.7	34.3	15.7	19.6	10.8	3.9
居住地区不詳	20	10.0	35.0	20.0	20.0	15.0	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～34歳、55～59歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～39歳、50～59歳、65～69歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－107　公共交通による移動の利便性（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	502	24.3	36.7	13.7	13.3	10.6	1.4
18～19歳	6	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
20～24歳	17	29.4	35.3	11.8	5.9	17.6	0.0
25～29歳	25	12.0	32.0	12.0	28.0	12.0	4.0
30～34歳	26	23.1	38.5	11.5	7.7	19.2	0.0
35～39歳	38	10.5	39.5	18.4	15.8	15.8	0.0
40～44歳	36	33.3	22.2	16.7	19.4	8.3	0.0
45～49歳	49	24.5	22.4	16.3	28.6	8.2	0.0
50～54歳	60	16.7	36.7	10.0	20.0	16.7	0.0
55～59歳	39	25.6	43.6	7.7	12.8	10.3	0.0
60～64歳	35	17.1	40.0	22.9	14.3	5.7	0.0
65～69歳	41	14.6	51.2	12.2	4.9	14.6	2.4
70～74歳	49	28.6	42.9	20.4	6.1	2.0	0.0
75歳以上	81	39.5	35.8	8.6	2.5	7.4	6.2

＜女　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	680	20.0	38.7	13.8	16.6	8.4	2.5
18～19歳	5	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	19	42.1	26.3	0.0	26.3	0.0	5.3
25～29歳	29	24.1	41.4	3.4	17.2	10.3	3.4
30～34歳	49	20.4	30.6	12.2	26.5	10.2	0.0
35～39歳	40	17.5	42.5	7.5	22.5	10.0	0.0
40～44歳	56	12.5	28.6	19.6	21.4	17.9	0.0
45～49歳	78	10.3	46.2	16.7	19.2	5.1	2.6
50～54歳	75	26.7	38.7	10.7	17.3	4.0	2.7
55～59歳	53	22.6	41.5	15.1	13.2	5.7	1.9
60～64歳	45	6.7	48.9	17.8	20.0	4.4	2.2
65～69歳	48	12.5	47.9	18.8	10.4	8.3	2.1
70～74歳	62	25.8	32.3	14.5	14.5	11.3	1.6
75歳以上	119	26.1	36.1	13.4	8.4	10.1	5.9
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

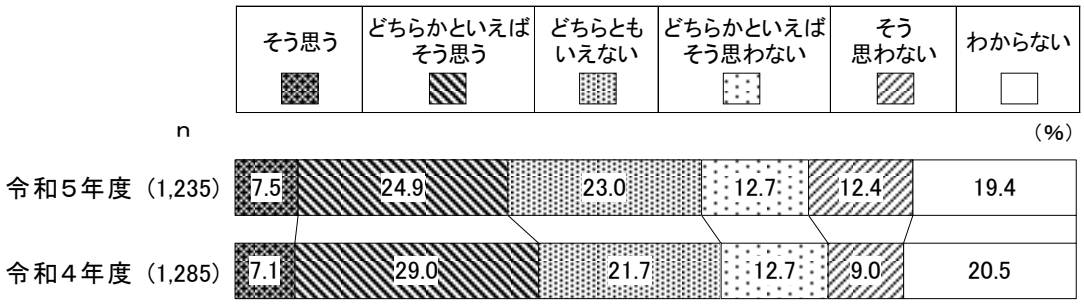
【災害に強い都市の形成】

問35　江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が24.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.0%)となっている。
・「そう思う」(7.5%) と「どちらかといえばそう思う」(24.9%) を合わせた『そう思う（計)』の割合は32.4%となっている。
・前回調査と比較すると、『そう思う（計)』が3.7ポイント減少している。

図表Ⅳ－108　災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計)』の割合は、白河地区（40.8%)、小松橋地区（37.2%)、豊洲地区（36.4%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－109　災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合（地区別）

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	1,235	7.5	24.9	23.0	12.7	12.4	19.4
白河	108	6.5	34.3	20.4	8.3	7.4	23.1
小松橋	94	8.5	28.7	24.5	6.4	9.6	22.3
富岡	84	8.3	22.6	20.2	16.7	8.3	23.8
東陽	106	7.5	19.8	18.9	17.0	16.0	20.8
豊洲	239	6.7	29.7	22.6	10.0	10.0	20.9
亀戸	147	7.5	21.1	19.0	15.0	19.0	18.4
大島	158	5.1	23.4	25.9	13.9	12.7	19.0
砂町	177	9.6	22.6	24.9	11.9	14.7	16.4
南砂	102	8.8	20.6	27.5	16.7	12.7	13.7
居住地区不詳	20	10.0	20.0	35.0	20.0	5.0	10.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、45～49歳、55～59歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～44歳、50～54歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－110　災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合（性年齢別）

＜男　性＞　（%）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	501	9.0	23.2	24.2	12.2	14.4	17.2
18～19歳	6	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7
20～24歳	17	5.9	23.5	11.8	17.6	5.9	35.3
25～29歳	25	8.0	12.0	12.0	24.0	24.0	20.0
30～34歳	26	3.8	23.1	19.2	15.4	19.2	19.2
35～39歳	38	2.6	28.9	26.3	21.1	10.5	10.5
40～44歳	36	16.7	13.9	22.2	8.3	16.7	22.2
45～49歳	49	10.2	30.6	20.4	14.3	8.2	16.3
50～54歳	60	8.3	13.3	33.3	11.7	20.0	13.3
55～59歳	39	10.3	33.3	20.5	7.7	12.8	15.4
60～64歳	35	2.9	22.9	34.3	11.4	14.3	14.3
65～69歳	42	4.8	26.2	26.2	9.5	16.7	16.7
70～74歳	48	10.4	31.3	29.2	4.2	16.7	8.3
75歳以上	80	13.8	20.0	21.3	12.5	8.8	23.8

＜女　性＞　（%）

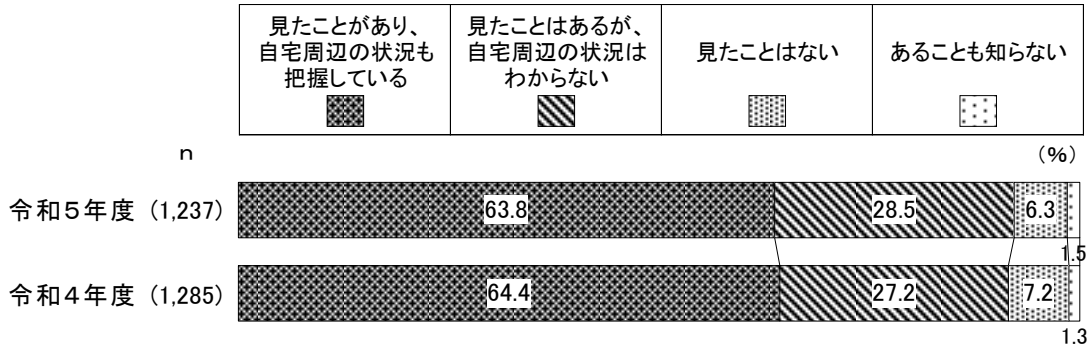
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全　体	680	6.2	26.9	22.5	12.5	10.9	21.0
18～19歳	5	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	19	15.8	15.8	10.5	15.8	21.1	21.1
25～29歳	29	0.0	27.6	24.1	10.3	10.3	27.6
30～34歳	49	6.1	18.4	10.2	12.2	16.3	36.7
35～39歳	40	7.5	7.5	20.0	15.0	25.0	25.0
40～44歳	56	5.4	30.4	17.9	16.1	17.9	12.5
45～49歳	78	2.6	24.4	25.6	12.8	14.1	20.5
50～54歳	75	4.0	34.7	18.7	20.0	5.3	17.3
55～59歳	53	3.8	24.5	22.6	13.2	11.3	24.5
60～64歳	45	2.2	28.9	26.7	8.9	6.7	26.7
65～69歳	48	6.3	20.8	39.6	12.5	0.0	20.8
70～74歳	62	6.5	29.0	25.8	17.7	4.8	16.1
75歳以上	119	11.8	35.3	21.0	4.2	10.1	17.6
年齢不詳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問36　あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」が63.8％で最も高く、次いで「見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない」（28.5％）となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－111　江東区のハザードマップの認知度



① 地区別

・地区別では、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、砂町地区（67.8％）、豊洲地区（66.9％）、南砂地区（66.7％）、亀戸地区（63.9％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－112　江東区のハザードマップの認知度（地区別）

（%）

	n	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
全　体	1,237	63.8	28.5	6.3	1.5
白河	108	61.1	25.9	10.2	2.8
小松橋	94	60.6	28.7	9.6	1.1
富岡	86	55.8	32.6	10.5	1.2
東陽	106	62.3	28.3	7.5	1.9
豊洲	239	66.9	25.9	6.3	0.8
亀戸	147	63.9	30.6	4.8	0.7
大島	158	59.5	34.2	3.8	2.5
砂町	177	67.8	26.6	4.5	1.1
南砂	102	66.7	26.5	4.9	2.0
居住地区不詳	20	80.0	20.0	0.0	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合に、特に大きな違いはみられない。
・年齢別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性では18～19歳、30～54歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では35～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－113　江東区のハザードマップの認知度（性年齢別）

＜男　性＞　(%)

	n	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
全　体	502	65.9	25.5	7.0	1.6
18～19歳	6	83.3	0.0	16.7	0.0
20～24歳	17	35.3	41.2	11.8	11.8
25～29歳	25	48.0	36.0	12.0	4.0
30～34歳	26	80.8	15.4	3.8	0.0
35～39歳	38	76.3	21.1	2.6	0.0
40～44歳	36	77.8	13.9	8.3	0.0
45～49歳	49	75.5	18.4	6.1	0.0
50～54歳	60	71.7	23.3	3.3	1.7
55～59歳	39	59.0	41.0	0.0	0.0
60～64歳	35	57.1	28.6	14.3	0.0
65～69歳	42	71.4	26.2	0.0	2.4
70～74歳	49	61.2	30.6	8.2	0.0
75歳以上	80	58.8	25.0	12.5	3.8

＜女　性＞　(%)

	n	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
全　体	681	63.0	29.8	5.7	1.5
18～19歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0
20～24歳	19	47.4	47.4	5.3	0.0
25～29歳	29	34.5	48.3	10.3	6.9
30～34歳	49	57.1	32.7	10.2	0.0
35～39歳	40	72.5	25.0	2.5	0.0
40～44歳	56	66.1	28.6	5.4	0.0
45～49歳	78	73.1	20.5	6.4	0.0
50～54歳	75	77.3	17.3	4.0	1.3
55～59歳	53	73.6	22.6	3.8	0.0
60～64歳	45	64.4	31.1	4.4	0.0
65～69歳	48	58.3	37.5	4.2	0.0
70～74歳	62	62.9	33.9	3.2	0.0
75歳以上	120	53.3	33.3	7.5	5.8
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0

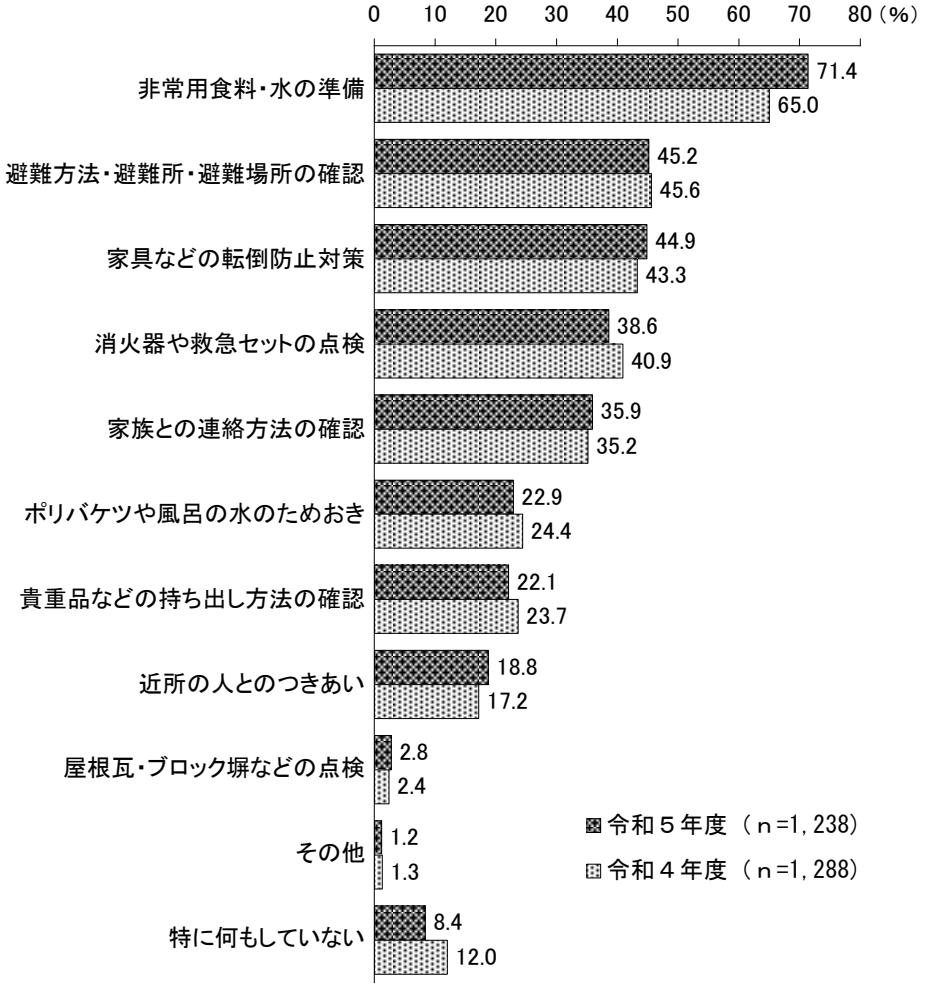
【地域防災力の強化】

問37　あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

＜全体／経年比較＞

・「非常用食料・水の準備」が71.4％で最も高く、次いで「避難方法・避難所・避難場所の確認」（45.2％）となっている。
・前回調査と比較すると、「非常用食料・水の準備」が6.4ポイント増加、「特に何もしていない」が3.6ポイント減少している。

図表Ⅳ－114　自宅における防災対策の実施状況



① 地区別

・地区別では、すべての地区で１位は「非常用食料・水の準備」となっている。２位は、白河地区、小松橋地区、東陽地区、亀戸地区、大島地区では「避難方法・避難所・避難場所の確認」、富岡地区、豊洲地区、砂町地区、南砂地区では「家具などの転倒防止対策」となっている。

図表Ⅳ－115　自宅における防災対策の実施状況（地区別）

（%）

	n	家具などの転倒防止対策	屋根瓦・ブロック塀などの点検	消火器や救急セットの点検	非常用食料・水の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	貴重品などの持ち出し方法の確認	家族との連絡方法の確認	ポリバケツや風呂の水のためおき	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全　体	1,238	44.9	2.8	38.6	71.4	45.2	22.1	35.9	22.9	18.8	1.2	8.4
白河	108	39.8	2.8	37.0	74.1	48.1	24.1	38.0	20.4	25.9	0.0	8.3
小松橋	94	35.1	2.1	29.8	67.0	39.4	21.3	28.7	19.1	20.2	3.2	14.9
富岡	86	48.8	2.3	33.7	65.1	44.2	17.4	38.4	19.8	20.9	2.3	10.5
東陽	106	40.6	0.0	30.2	67.0	48.1	24.5	45.3	18.9	15.1	0.9	11.3
豊洲	239	49.8	0.8	47.7	77.0	47.3	20.9	36.8	20.9	13.4	1.3	5.4
亀戸	147	46.3	4.8	40.8	67.3	47.6	26.5	36.1	24.5	14.3	0.7	9.5
大島	158	43.0	1.3	36.7	75.3	45.6	19.6	34.2	27.2	19.6	0.6	7.6
砂町	177	46.3	6.8	39.5	71.2	44.1	23.2	35.0	23.7	20.9	2.3	8.5
南砂	102	52.0	2.0	41.2	70.6	41.2	20.6	30.4	30.4	25.5	0.0	4.9
居住地区不詳	21	23.8	14.3	23.8	66.7	33.3	19.0	38.1	23.8	23.8	0.0	4.8

② 性年齢別

・男女別にみると、男女ともに「非常用食料・水の準備」が１位となっており、女性（74.7%）の方が男性（67.3%）より7.4ポイント高くなっている。

・年齢別にみると、男女ともにすべての年齢で「非常用食料・水の準備」が１位となっている。

図表Ⅳ－116　自宅における防災対策の実施状況（性年齢別）

＜男　性＞

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	屋根瓦・ブロック塀などの点検	消火器や救急セットの点検	非常用食料・水の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	貴重品などの持ち出し方法の確認	家族との連絡方法の確認	ポリバケツや風呂の水のためおき	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全　体	502	41.4	1.6	37.5	67.3	50.0	24.3	37.3	17.5	15.1	1.0	10.6
18～19歳	6	66.7	0.0	66.7	100.0	83.3	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20～24歳	17	47.1	0.0	17.6	70.6	41.2	17.6	47.1	5.9	0.0	0.0	11.8
25～29歳	25	20.0	0.0	24.0	60.0	52.0	20.0	28.0	12.0	4.0	0.0	24.0
30～34歳	26	19.2	0.0	34.6	84.6	50.0	26.9	38.5	7.7	7.7	0.0	0.0
35～39歳	38	28.9	0.0	28.9	65.8	52.6	10.5	42.1	7.9	10.5	0.0	10.5
40～44歳	36	41.7	5.6	27.8	69.4	41.7	27.8	30.6	8.3	13.9	0.0	13.9
45～49歳	49	53.1	0.0	34.7	73.5	71.4	14.3	40.8	18.4	22.4	0.0	4.1
50～54歳	60	40.0	1.7	41.7	68.3	43.3	23.3	38.3	16.7	6.7	1.7	11.7
55～59歳	39	53.8	2.6	56.4	66.7	41.0	28.2	43.6	20.5	17.9	2.6	7.7
60～64歳	35	40.0	0.0	48.6	57.1	40.0	22.9	37.1	17.1	11.4	0.0	17.1
65～69歳	42	38.1	4.8	40.5	69.0	66.7	28.6	35.7	23.8	26.2	4.8	7.1
70～74歳	49	40.8	2.0	40.8	67.3	46.9	30.6	40.8	22.4	22.4	0.0	10.2
75歳以上	80	48.8	1.3	33.8	60.0	45.0	30.0	30.0	26.3	18.8	1.3	12.5

＜女　性＞

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	屋根瓦・ブロック塀などの点検	消火器や救急セットの点検	非常用食料・水の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	貴重品などの持ち出し方法の確認	家族との連絡方法の確認	ポリバケツや風呂の水のためおき	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全　体	681	48.3	3.1	40.1	74.7	43.2	20.4	35.7	26.1	22.0	1.3	6.8
18～19歳	5	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	19	36.8	5.3	26.3	78.9	42.1	15.8	31.6	10.5	15.8	0.0	0.0
25～29歳	29	44.8	0.0	13.8	65.5	37.9	17.2	31.0	0.0	6.9	3.4	13.8
30～34歳	49	26.5	0.0	22.4	73.5	28.6	16.3	16.3	12.2	8.2	2.0	18.4
35～39歳	40	52.5	2.5	30.0	62.5	42.5	12.5	35.0	12.5	15.0	2.5	10.0
40～44歳	56	51.8	1.8	37.5	80.4	46.4	19.6	30.4	7.1	17.9	1.8	5.4
45～49歳	78	51.3	0.0	38.5	79.5	47.4	21.8	37.2	21.8	16.7	0.0	7.7
50～54歳	75	49.3	2.7	44.0	77.3	50.7	18.7	46.7	22.7	24.0	2.7	5.3
55～59歳	53	50.9	3.8	41.5	69.8	45.3	13.2	28.3	30.2	20.8	0.0	1.9
60～64歳	45	46.7	2.2	44.4	80.0	42.2	8.9	31.1	35.6	13.3	2.2	6.7
65～69歳	48	39.6	0.0	52.1	77.1	60.4	27.1	52.1	39.6	27.1	0.0	4.2
70～74歳	62	54.8	8.1	58.1	80.6	41.9	30.6	35.5	43.5	38.7	1.6	4.8
75歳以上	120	55.0	6.7	44.2	70.8	36.7	27.5	39.2	40.0	32.5	0.8	5.0
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

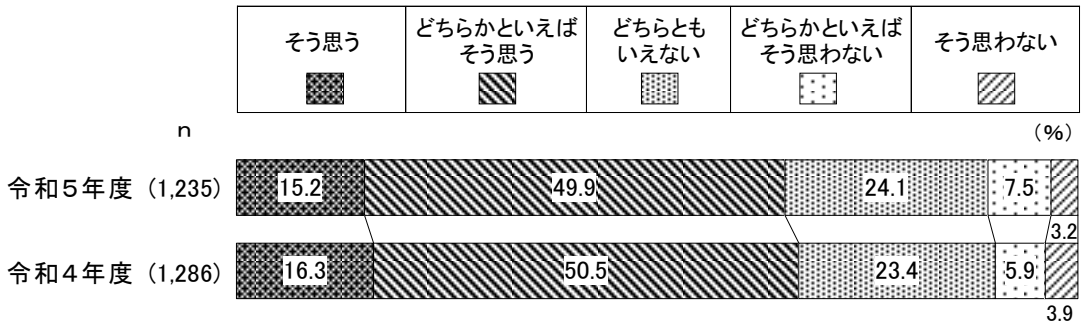
【犯罪のないまちづくり】

問38　あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

＜全体／経年比較＞

・「どちらかといえばそう思う」が49.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.1%)となっている。
・「そう思う」(15.2%) と「どちらかといえばそう思う」(49.9%) を合わせた『そう思う（計)』の割合は65.1%となっている。
・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－117　江東区の治安の良さ



① 地区別

・地区別では、『そう思う（計)』の割合は、白河地区（78.7%)、富岡地区（73.2%)、小松橋地区（72.3%)、豊洲地区（72.0%)、東陽地区（71.7%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－118　江東区の治安の良さ（地区別）

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	1,235	15.2	49.9	24.1	7.5	3.2
白河	108	22.2	56.5	18.5	2.8	0.0
小松橋	94	14.9	57.4	21.3	6.4	0.0
富岡	86	20.9	52.3	17.4	7.0	2.3
東陽	106	13.2	58.5	18.9	4.7	4.7
豊洲	239	18.4	53.6	19.2	5.4	3.3
亀戸	147	8.8	43.5	27.2	12.2	8.2
大島	157	10.8	42.0	35.0	8.3	3.8
砂町	176	13.6	44.9	29.0	9.1	3.4
南砂	102	15.7	44.1	28.4	10.8	1.0
居住地区不詳	20	20.0	60.0	10.0	10.0	0.0

② 性年齢別

・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（69.5%）の方が女性（62.5%）より7.0ポイント高くなっている。
・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～44歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、50～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－119　江東区の治安の良さ（性年齢別）

＜男　性＞

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	502	18.3	51.2	20.9	6.4	3.2
18～19歳	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
20～24歳	17	52.9	35.3	11.8	0.0	0.0
25～29歳	25	20.0	56.0	8.0	8.0	8.0
30～34歳	26	30.8	38.5	15.4	11.5	3.8
35～39歳	38	15.8	60.5	18.4	5.3	0.0
40～44歳	36	19.4	63.9	11.1	2.8	2.8
45～49歳	49	20.4	46.9	20.4	12.2	0.0
50～54歳	60	20.0	38.3	23.3	11.7	6.7
55～59歳	39	20.5	48.7	23.1	0.0	7.7
60～64歳	35	0.0	54.3	34.3	11.4	0.0
65～69歳	42	14.3	52.4	23.8	2.4	7.1
70～74歳	49	8.2	59.2	24.5	6.1	2.0
75歳以上	80	18.8	53.8	22.5	3.8	1.3

＜女　性＞

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全　体	679	13.3	49.2	25.9	8.2	3.4
18～19歳	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	19	31.6	31.6	5.3	15.8	15.8
25～29歳	29	27.6	37.9	27.6	3.4	3.4
30～34歳	49	28.6	38.8	18.4	14.3	0.0
35～39歳	40	20.0	52.5	12.5	10.0	5.0
40～44歳	56	7.1	53.6	25.0	12.5	1.8
45～49歳	78	7.7	53.8	25.6	10.3	2.6
50～54歳	75	13.3	58.7	17.3	6.7	4.0
55～59歳	52	9.6	55.8	21.2	11.5	1.9
60～64歳	45	6.7	48.9	31.1	6.7	6.7
65～69歳	48	8.3	43.8	37.5	10.4	0.0
70～74歳	62	14.5	53.2	22.6	6.5	3.2
75歳以上	119	9.2	44.5	39.5	2.5	4.2
年齢不詳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

資料：調査票の見本

令和５年度

江東区長期計画区民アンケート

調 査 票

令和6年2月7日(水)までにご回答をお願いいたします

URL: https://logoform.jp/form/Pwvm/420748

認証ID　： k0000ans5

認証キー　： kotoku54

※パスワードは、計8文字になります。

二次元コード

ご回答にあたってのお願い

- 封筒のあて名のご本人さまがご回答してください。
  ただし、あて名のご本人さまが記入・入力困難な場合、ご家族の方がご本人さまの考えを尊重してご回答いただいても構いません。
- 調査項目は全部で38問になります。問１より順番に回答してください。
- 質問によっては、あてはまる答えの番号を１つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ**番号に〇をおつけください**。
- 回答は≪**オンライン**≫または≪**郵送**≫のいずれかの方法で行うことができます。

〔本アンケートに関する問い合わせ先〕
担 当 ： 江東区 政策経営部 企画課 企画担当
電 話 ： 03-3647-9168　／　Eメール ： kikaku@city.koto.lg.jp

江東区観光キャラクター
コトミちゃん

Ⅰ．はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

Ｆ１からＦ６まで、それぞれあなたにあてはまる番号に○をつけてください。

F1. 性　別	１．男　性　　２．女　性　　３．その他　　４．回答しない
F2. 年　齢	１．18～19 歳　２．20～24 歳　３．25～29 歳　４．30～34 歳 ５．35～39 歳　６．40～44 歳　７．45～49 歳　８．50～54 歳 ９．55～59 歳　10．60～64 歳　11．65～69 歳　12．70～74 歳 13．75 歳以上
F3. ご職業	１．会社員・団体職員　２．商工自営業　３．公務員 ４．会社役員・団体役員　５．パート・アルバイト　６．学生 ７．無職（専業主婦・主夫含む）　８．その他（　　）

F4. ご自宅（居住地区）	地区名	該当する町丁名
	１．白河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
	２．小松橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
	３．富岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
	４．東陽	木場、東陽、南砂２丁目(1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂１丁目１番、海の森
	５．豊洲（西）	豊洲、東雲、有明、青海
	６．豊洲（東）	塩浜、枝川、辰巳、潮見
	７．亀戸	亀戸
	８．大島	大島
	９．砂町	北砂、南砂１丁目・５丁目、南砂２丁目(24 番～34 番)、東砂１丁目～５丁目
	１０．南砂	東砂６丁目～８丁目、南砂２丁目(1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)、南砂３・４・６・７丁目、新砂１丁目（1 番を除く）、新砂２・３丁目、新木場、夢の島、若洲

F5. 世帯の構成	１．ひとり暮らし ３．二世代世帯（あなたの世代と親） ５．三世代世帯	２．夫婦だけ ４．二世代世帯（あなたの世代とこども） ６．その他（　　）
	F5-1　右記に該当する家族が同居されている場合は、あてはまる番号に○をつけてください	１．同居している家族に中学校卒業前のこどもがいる ２．同居している家族に 65 歳以上の高齢者がいる ３．どちらとも同居していない (65 歳以上のひとり暮らしの方を含む)
F6. 住宅の形態	１．一戸建持ち家 ３．一戸建借家 ５．賃貸アパート ７．同居・間借り・住み込み	２．分譲マンション（公団・公社*含む） ４．賃貸マンション（公団・公社*含む） ６．社宅・公務員宿舎・社員寮など ８．その他（　　）

＊公団とは「ＵＲ都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団)」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指します。

Ⅱ．次に、あなたの身近な生活環境等についておうかがいします。

【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問１　あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．満足している	２．どちらかといえば満足している
３．どちらともいえない	４．どちらかといえば不満である
５．不満である	６．わからない

【地球温暖化対策と環境保全】

問２　あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

１．環境を意識した行動を日常生活の中で行っている
２．外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している
３．節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている
４．電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている
５．使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している
６．ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している
７．ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみ　など）をしている
８．びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している
９．買い物にはマイバッグを持参している
10．環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている
11．環境を守る地域活動に参加している
12．特に何もしていない

【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問３　中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう感じる	２．どちらかといえばそう感じる
３．どちらかといえばそう感じない	４．そう感じない
５．わからない	

問３－１　問３で「３．どちらかといえばそう感じない」「４．そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

（　　）

問４　中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらかといえばそう思わない	４．そう思わない
５．わからない	

問４－１　問４で「３．どちらかといえばそう思わない」「４．そう思わない」を選んだ方におたずねします。
必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

（　　）

問５　こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．しつけであっても体罰はすべきではない
２．しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない
３．しつけのためなら、体罰は必要である
４．わからない

【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問６　江東区では、一人一人を大切にした教育が行われていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問７　あなたは、行政や地域の活動（こども 110 番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問８　江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

「青少年」とは、中・高生～35 歳未満の青年期の者［子供・若者白書（内閣府）］。
なお、事業によっては 40 歳未満の者。

【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問９　あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

問 10　あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問 11　町会・自治会、NPO、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．よく参加している
２．ときどき参加している
３．参加したことはあるが、今はほとんど参加していない
４．まったく参加したことはない

問 12　江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問 13　江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

問 14　あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

問 15　あなたは、「ドメスティックバイオレンス(DV=配偶者等からの暴力)」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

「１．知っている」を選んだ方は問 15－1 へ、「２．知らない」を選んだ方は問 16 へお進みください。

１．知っている	２．知らない → 問 16 へ

問 15－1　問 15 で「１．知っている」を選んだ方におたずねします。
相談できると知っていた窓口(機関）を次の中から、あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇はいくつでも）

１．江東区女性のなやみと DV ホットライン(配偶者暴力相談支援センター)
２．福祉事務所（保護第一課、保護第二課）
３．警察署
４．警視庁総合相談センター
５．東京都女性相談センター
６．東京ウィメンズプラザ
７．その他（具体的に：　　）

【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問 16　あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

【学習講座や地域の集まりの例】
①趣味（茶道・生け花・囲碁・将棋など)、②教養（英会話など)、③芸術、④文化、⑤教室（料理など）

１．よく参加している
２．ときどき参加している
３．参加したことはあるが、今はほとんど参加していない
４．まったく参加したことがない

問 17　あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう感じる	２．どちらかといえば感じる
３．どちらかといえば感じない	４．そう感じない
５．わからない	

【スポーツを楽しめる環境の充実】

問 18　あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．週 1 日	２．週 2 日
３．週 3 日以上週 6 日以下	４．毎日
５．スポーツ・運動をしない	

「スポーツ・運動」には、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も含む。

【文化・歴史の継承と観光振興】

問 19　あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う
２．どちらかといえばそう思う

３．どちらかといえばそう思わない
４．そう思わない
５．わからない

→ 「３.」「４.」「５.」を選んだ方は問 20 へお進みください

問 19－1　<u>問 19 で「１．そう思う」「２．どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。</u>
あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び〇印をつけてください。<u>（〇はいくつでも）</u>

１．神社仏閣・文化財・史跡
２．郷土料理（深川めし）やご当地グルメなどの食文化
３．江戸切子、木場の角乗などの伝統工芸・民俗芸能
４．祭り・イベント
５．キッザニア東京、チームラボ、スモールワールズ TOKYO などの娯楽施設
６．東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館
７．オリンピック・パラリンピック開催競技場などのスポーツ施設
８．キャンプ・バーベキューなどアウトドアが体験できる公園・施設
９．河川運河、東京湾、遊歩道、親水公園などの水辺環境
10．ゲートブリッジ、永代橋、夢の大橋などの橋
11．豊洲市場及び関連施設
12．その他（具体的に：　　）

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問 20 中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問 21 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

問 22 あなたは、この 1 年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

１．区のがん検診	２．職場のがん検診
３．人間ドックなどのがん検診	４．その他（具体的に：　　）
５．がん検診は受けていない	

問 23 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つずつ）

①かかりつけ医	１．もっている	２．もっていない
②かかりつけ歯科医	１．もっている	２．もっていない
③かかりつけ薬局	１．もっている	２．もっていない

【感染症対策と生活衛生の確保】

問 24 あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つずつ）

※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

①手洗い	１．行っている	２．行っていない
②咳エチケット	１．行っている	２．行っていない

【高齢者支援と活躍の推進】

問 25　65 歳以上の方におたずねします。
あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

問 26　65 歳以上の方におたずねします。
あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

「２．地域活動をしている」を選んだ方は問 26－1 へ、「３．何もしていない」を選んだ方は問 26－2 へお進みください。

１．就労をしている
２．地域活動をしている
３．何もしていない

問 26－1　問 26 で「２．地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。
具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
（○はいくつでも）

１．ボランティア活動	２．町会・自治会活動
３．老人クラブ	４．趣味の活動
５．その他の活動	

問 26－2　問 26 で「３．何もしていない」を選んだ方におたずねします。
地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．関心がない
２．関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない
３．ひとりでは地域活動や勤めることが不安
４．参加したい活動先や勤め先はあるが通いづらい
５．家族や健康上の理由から活動や就労ができない
６．その他（　　）

問 27　地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．内容を知っている	２．ある程度の内容は知っている
３．内容は知らないが、聞いたことはある	４．知らない

【障害者支援と共生社会の実現】

問 28　江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

【地域福祉と生活支援の充実】

問 29　日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．いる
２．いない
３．どちらともいえない

問 29－1　問 29 で「１．いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。（○はいくつでも）

１．同居している家族
２．親族
３．友人
４．区役所や施設など相談機関の職員
５．その他（　　）

問 29－2　問 29 で「２．いない」と答えた方におたずねします。
あなたが相談相手がいないと感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．悩みや困りごとを他人に話したくないから
２．相談すると相手の負担になるから
３．誰に相談すればいいかわからないから
４．相談するまでの悩みや困りごとがないから
５．その他（　　）

【計画的なまちづくりの推進】

問 30　江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

問 31　あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	

問 32　あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．内容を知っている	２．内容は知らないが、聞いたことがある
３．わからない	

「ユニバーサルデザイン」とは、万人のための設計思想であり、年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、できるだけ多くの人が自立して安全、快適、安心に暮らせる生活環境をデザインすること。

【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問 33　あなたは、今のお住まい周辺の環境について満足していますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．満足している	２．どちらかといえば満足している
３．どちらともいえない	４．どちらかといえば不満である
５．不満である	

【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問 34　あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。（〇は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

【災害に強い都市の形成】

問 35　江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	６．わからない

問 36　あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している
２．見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない
３．見たことはない
４．あることも知らない

【地域防災力の強化】

問 37　あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

１．家具などの転倒防止対策	２．屋根瓦・ブロック塀などの点検
３．消火器や救急セットの点検	４．非常用食料・水の準備
５．避難方法・避難所・避難場所の確認	６．貴重品などの持ち出し方法の確認
７．家族との連絡方法の確認	８．ポリバケツや風呂の水のためおき
９．近所の人とのつきあい	10．その他（具体的に：　　）
11．特に何もしていない	

【犯罪のないまちづくり】

問 38　あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は１つ）

１．そう思う	２．どちらかといえばそう思う
３．どちらともいえない	４．どちらかといえばそう思わない
５．そう思わない	

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

以下のいずれかの方法で、**令和６年2月７日(水)までに**、返信してください。

❑ 郵送によりご回答いただける場合
同封した返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手不要）。
返信用封筒にご住所やお名前を記載する必要はございません。

❑ オンラインによりご回答いただける場合
別紙「**区民アンケートのお願い**」に記載されている方法で回答ページにアクセスのうえ、手順に沿って回答してください。

令和５年度　江東区長期計画区民アンケート調査報告書

令和６年３月　印刷物登録番号（　５　）１１３号

編集発行　　江東区政策経営部企画課
東京都江東区東陽４－１１－２８
電話（３６４７）９１１１（大代表）